

平成29年度
夏期スクーリングの手引

- 第1期 7月29日(土)・7月30日(日)
- 第2期 8月 2日(水)～8月 4日(金)
- 第3期 8月 5日(土)～8月 7日(月)
- 第4期 8月 9日(水)～8月11日(金)
- 第5期 8月12日(土)～8月14日(月)
- 第6期 8月16日(水)～8月18日(金)

スクーリング受講手続日程

①	受講申込開始日 (ポータルサイト)	6/18(木)
②	履修登録締切日 併用レポート提出締切日(必着) 受講申込締切日	6/21(水) <u>ポータルサイト【24:00まで】</u> <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
③	受講資格審査 通知予定日	7/ 7(金) ※受講届提出者のみ通知郵送します。
④	振込用紙発送予定日	7/ 7(金) 発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。
⑤	受講辞退手続締切日	7/14(金) <u>窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】</u> <u>郵送の場合【必着】</u>
⑥	受講料納入期限	7/24(月) <u>銀行窓口にて【厳守】</u>
⑦	結果通知予定	9月中旬 ポータルサイトにも掲載します。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングの受講を希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

【所定単位とスクーリングについてお知らせ】

所定単位とは、その科目を修得するために必要な単位数のことです。

スクーリングでは、開講単位数を1単位又は2単位で開講しています。そのため、多くの講座は、所定単位の半分の開講単位数になります。したがって、**スクーリングのみを受講する場合は**、スクーリングで1回受講・合格しても1科目分の修得単位としては認められないため、所定単位を充足したことにはならず、**成績証明書、教員免許状申請用学力に関する証明書等に記載されません。**

大部分の科目において『学修要覧』にある科目の所定単位とスクーリングでの開講単位は異なります。所定単位と各スクーリングでの開講単位を十分確認してください。

【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65 名	5 名
演 習 講 座	30 名	5 名
上記以外の講座	100 名	10 名

〔調整方法等〕

- 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同時期に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 超過人数の状況により新たに講座を増設し、受講者を分割して開講する場合があります。
- 上記①・②の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 受講許可講座以外の講座の受講は認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目次

I	開講日程・会場		VII	受講準備	
1	開講日程及び会場	2	1	使用教材の入手	136
II	講座の選定		2	「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行	138
1	受講講座の選定	7	3	通学定期券の購入手続	138
2	「教職に関する科目」における新・旧科目について	8	4	「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）	139
3	「開講講座表」の見方	9	VIII	受講及び試験	
III	開講講座表・講座内容（シラバス）		1	講座の受講	142
	各期の開講講座表と講座内容（シラバス）		2	試験の受験	142
	・開講講座一覧表	10	3	スクーリング結果の確認	143
	・第1期	14	IX	受講期間中の学生生活	
	・第2期	18	1	受講にあたっての諸注意	144
	・第3期	40	2	スクーリング期間中の滞在先届	145
	・第4期	60	3	「千代田区生活環境条例」について	145
	・第5期	80	4	緊急時の避難行動の指示について	145
	・第6期	102	X	オープン受講	147
IV	講座の申込方法		XI	各種用紙	
1	受講手続の流れ	122		「為替」送付時の注意事項	150
2	履修登録をする	123		履修届	151
3	講座を申し込む	126		夏期スクーリング受講届	153
4	受講講座の変更・追加	130		「博物館実習Ⅰ」受講届	155
V	申込講座の許可と不許可			オープン受講届 通信教育部（在學生用）	157
1	受講資格審査結果通知を確認する	131		オープン受講届 社会人等（卒業生用）	159
2	講座振り分け及び受講不許可について	132		スクーリング受講講座変更届	161
3	許可講座を辞退する	133		夏期スクーリング受講申込辞退願	163
VI	受講料の納入			教材配本申請書	165
1	受講料	134		教材購入用紙（丸沼書店用）	167
2	振込用紙発送予定日	134		教材購入願（通信教育教材用）	169
3	納入期限	134		通学定期乗車券発行控	171
4	納入方法	134		学割証交付願	173
				証明書交付願	175
				滞在先届	177
				休暇依頼状（勸奨状）申込書	179
			付録		
			1	交通案内・校舎案内	181

I 開講日程・会場

1 開講日程及び会場

① 開講日程

夏期スクーリングは、「3日間集中講義型」で行われます。(第1期を除く)

第1期～第6期の全6期で開講し、最多で合計6講座まで受講できます。

第1期 7月29日(土)・7月30日(日)

第2期 8月2日(水)～8月4日(金)

第3期 8月5日(土)～8月7日(月)

第4期 8月9日(水)～8月11日(金)

第5期 8月12日(土)～8月14日(月)

第6期 8月16日(水)～8月18日(金)

授業時間各日9:00～17:30(時間内に昼休みを設けます)

		第1期				第2期			第3期				第4期			第5期				第6期		
		7月		7月	8月																	
		29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
授 業 時 間	9:00 ～ 17:30	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目			授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目		授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目	授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目		授 業 1 日 目	授 業 2 日 目	授 業 3 日 目
			試 験					試 験			試 験				試 験			試 験				試 験

② 会 場

(1) 授業校舎

授業は主として日本大学法学部校舎で行います。ただし、「保健体育講義Ⅰ」、「体育実技Ⅰ・Ⅱ」、「博物館実習Ⅰ」は文理学部校舎、「教職実践演習②」は通信教育部校舎(市ヶ谷キャンパス)で行います。

【講義科目・演習科目】

名 称	日本大学法学部
所 在 地	東京都千代田区三崎町2-3-1
交 通 案 内	水道橋駅から徒歩5分 神保町駅から徒歩7分

※授業講堂は本学通信教育部ポータルサイトにて事前にお知らせします。

(2) 文理学部で開講する講座(上記の授業校舎と異なる場所で開講する講座)

ア「保健体育講義Ⅰ」(第1期)について

a 開講日程

7月29日(土)・7月30日(日) 10:00～16:30

※他の科目と開講日程及び時間が異なりますので、留意してください。

b 受講会場

日本大学文理学部3号館 4階 3407 講堂(予定)

c 「保健体育講義Ⅰ」受講上の注意事項

・平成29年度春期教育実習受講者は、「教職実践演習①(事後指導含む)」と日程が重複するため、受講できません。

イ 「体育実技Ⅰ・Ⅱ」(第2期)について**a 開講日程**

8月2日(水)～4日(金) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部百周年記念館(後掲「案内図」参照)

c 持参物

- ・運動できる服装(トレーニングウェア等)
- ・室内運動靴
- ・健康保険証
- ・筆記用具
- ・夏期スクーリングの手引
- ・スクーリング受講資格審査結果通知書

d 集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口

※授業開始の15分前から受付を開始します。

※遅くとも授業開始の5分前には受付を済ませた後、運動のできる服装に着替え、時間厳守で受講会場に集合してください。

※更衣室の使用はできますが、ロッカーの使用及び更衣室に荷物を置いておくことはできませんので、荷物を持って会場に集合してください。

e 受講について

体育実技は卒業必修科目となっていますが、疾病その他身体に関する理由で体育実技への参加が困難であると思われる方は、受講申込前(「受講届」提出前)に教務課に連絡してください(TEL 03-5275-8911)。

f 「体育実技」受講上の注意事項

- ・ジーンズや普段着での受講はできません。
- ・更衣室は、総合体育館にあります。
- ・貴重品は、各自で管理してください。
- ・文理学部周辺は住宅街で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できないため、食事はなるべく持参することをお勧めします。

ウ 「博物館実習Ⅰ」(第2期)について

「博物館実習Ⅰ」は、他の講座と異なり文理学部校舎で受講します。また、以下の受講条件等を確認の上、申し込んでください。

a 開講日程

8月2日(水)～4日(金) 9:00～17:30

b 受講会場

日本大学文理学部1号館1階「学芸員課程実習室」

※「学芸員課程実習室」の場所は受講許可通知時に案内します。

c 受講条件(対象者)

- 1 3学年以上で、受講申込の時点で「生涯学習論」、「博物館概論」、「博物館経営論」及び「博物館資料論」の4科目をすでに修得済みであること。
- 2 これまで「博物館実習Ⅰ」を受講していないこと。

d 受講申込

- 1 巻末の「[博物館実習Ⅰ] 受講届」にて申し込んでください。
巻末の「夏期スクーリング受講届」及びポータルサイトからは申し込みできません。
- 2 別途、履修登録が必要です。
- 3 表紙記載の事務期限までに上記手続を行ってください。

e 受講許可

- 1 受講申込者のうち、前述の「c 受講条件」を充足しているか審査します。
- 2 受講許可者には、「博物館実習Ⅰ」専用の「受講許可通知書兼納金票」を送付します。

※受講定員は20名です。受講許可者数が受講定員を超えた場合は、別の開講期に増設して開講する予定です。

なお、増設して開講する場合、講座は大学側で指定します。あらかじめご了承ください。

f 受講料の納入

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

【受講料】20,000円（スクーリング受講料10,000円、諸経費10,000円）

※他の講座と金額が異なりますので、注意してください。

【納入期限】7月24日（月）

※納入期限までに納入がない場合は、受講辞退とみなします。

【納入方法】

受講希望者は、以下のいずれかの方法で、納入期限までに受講料を納入してください。

- 1 窓口で手続きを行う場合
納金票と共に会計課窓口にて現金で納入してください。
- 2 郵送で手続きを行う場合
 - ① 定額小為替又は普通為替で納入する場合
納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。
 - ② 現金で納入する場合
納金票と共に現金書留にて会計課宛に郵送してください。
その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。

g 注意事項

- 1 当日は、動きやすい服装で受講してください。
- 2 講義内容の詳細は、シラバスを参照してください。
- 3 第2期に他の講座の受講申込がある場合、「博物館実習Ⅰ」は受講できません。ご注意ください。

〈文理学部案内図〉

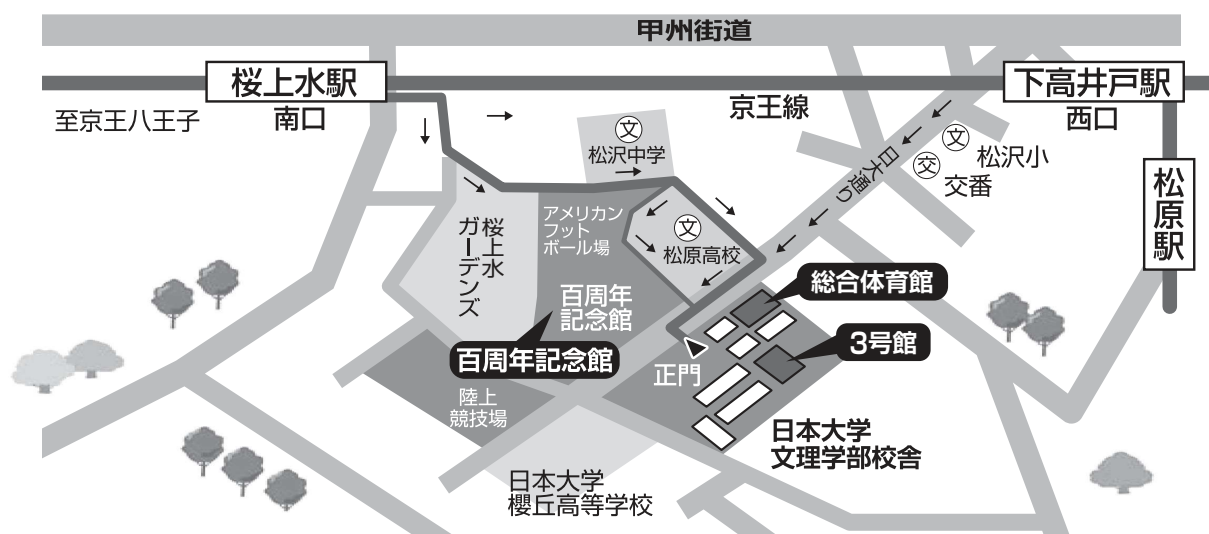
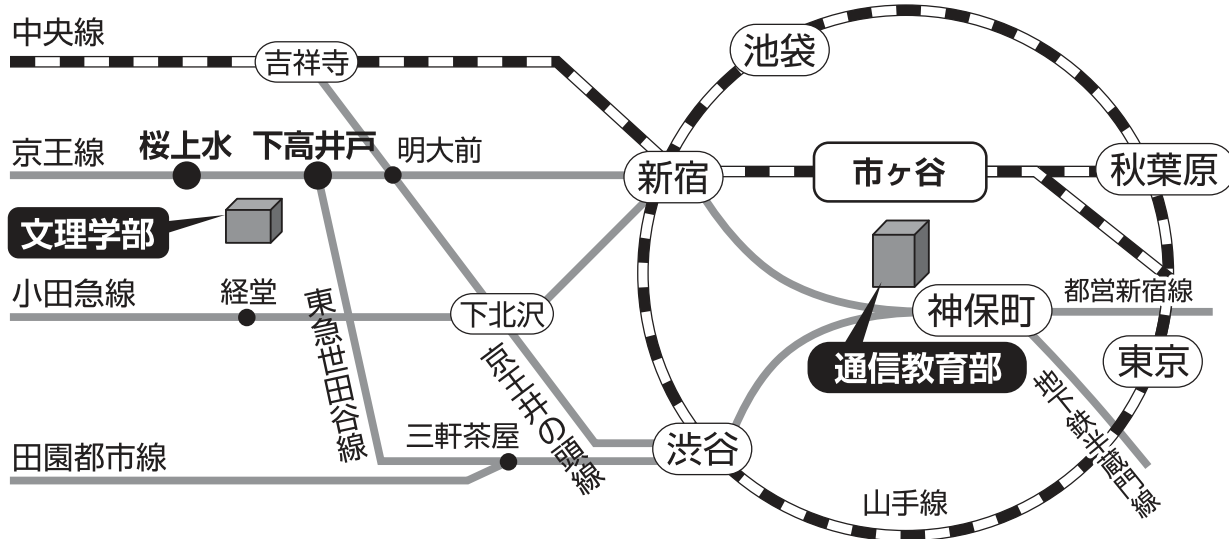
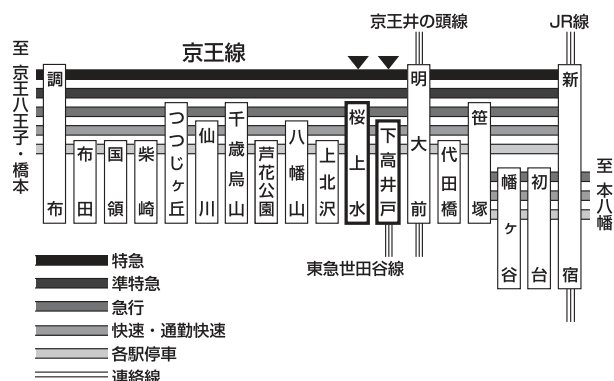
住 所

東京都世田谷区桜上水 3-25-40

交通案内

京王線下高井戸駅あるいは桜上水駅下車

徒歩約 10 分



平成 29 年度教職実践演習②（8 月 12 日，13 日開講）の受講申込みについて

1 教職実践演習とは

教職実践演習とは，平成 20 年の教育職員免許法施行規則の一部改正に伴い，平成 25 年度から開講となったもので，教職課程の他の授業科目の履修や，教職課程外での様々な活動を通じて，教員として最小限必要な資質能力が形成されたかを最終的に確認するものであり，いわば全学年を通じた教職課程の「学びの軌跡の集大成」として位置づけられるものです。

2 開講日程及び会場

- ① 開講日程：平成 29 年 8 月 12 日（土），13 日（日）※2 日間とも出席が必要です。
- ② 会 場：日本大学通信教育部校舎（市ヶ谷キャンパス）

3 受講対象者

以下①・②の両方に該当する者。

- ① 対象となる入学年度・入学学年

入学年度	入学形態			
平成 22 年度	1 学年入学			
平成 23 年度	//	2 学年編(再)入学		
平成 24 年度	//	//	3 学年編(再)入学	
平成 25 年度以降	//	//	//	4 学年編(再)入学

- ② 「教職に関する科目」第 5 欄「総合演習」に該当する科目（※）を未修得。

【受講が不要な者】

平成 20 年の教育職員免許法施行規則の改正前の旧課程適用者で，既に「教職に関する科目」の，第 5 欄「総合演習」に該当する科目（※）を本学もしくは出身大学で修得済みである者。

※本学では，平成 24 年度までに開講していた「教職課題演習」及び「教職総合演習」。

4 受 講 料

【受講料】10,000 円（スクーリング受講料）

【納入期限】7 月 24 日（月）（銀行窓口 当日事務取扱時間まで）

教職実践演習②専用の「振込用紙」にて上記納入期限までに納入してください。

5 受講手続

「教職実践演習②」は，巻末の「受講届」では申し込みできません。手続き方法の詳細をポータルサイトに掲載していますので，そちらを参照の上，手続きしてください。

また，夏期スクーリング第 5 期の他の科目と重複して申し込むことはできません。

1 受講講座の選定

① 受講講座を選ぶ

夏期スクーリングでは、3日間の集中講義を、各期につき、1講座（最大6講座）申込むことができます。各自、入学時に配布された『学修要覧』やコース履修者は『コース履修の手引』を参照し、自分が履修しなければならない科目を把握し、学修計画を立てた上で受講申込みをしてください。

② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みしてください。

(1) 配当学年による受講制限

ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

(2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

なお、科目履修生は「スクーリング併用試験方式」での申込み・受講はできませんので注意してください。

(3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。以下のような講座が該当します。

過去に受講し、合格した科目（充当科目）と同一担当講師の科目（充当科目）で授業内容も同一である講座の受講

次のa～cのすべてに該当する講座は申込みできません。

- a 科目名（充当科目名）が同じである（「講座名」ではなく、「科目名（充当科目名）」です）。
- b 担当講師が同一である。
- c 講義内容が全く同一である。

※講義内容を参照し、授業計画等が全く同一の場合は申込みできません。

(4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があります、この場合、大学側で受講の調整を行います。

調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。

そのため、必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

平成 23 年度に下表の「教職に関する科目」4 科目については、科目名称が変更となり、平成 23 年度 1 学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道德教育の研究	T21300	道德教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生		入学年度	入学形態
		平成 23 年度	1 学年入学生
		平成 24 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 25 年度	1 学年入学生 2 学年編入・再入学生 3 学年編入・再入学生 科目履修生
		平成 26 年度以降	全入学生

3 「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座可否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

開講講座表・講座内容（シラバス）

開講講座一覽表

[illegible]

第2期 8／2(水)～8／4(金)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COB1	英語 A	小田井 勝彦
COB2	英語 B	寒河江 融
COB3	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉 明子
COB4	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則
COB5	刑法Ⅰ	船山 泰範
COB6	民法Ⅲ	清水 恵介
COB7	行政学	山田 光矢
COB8	国文学講義Ⅰ(上代)	梶川 信行
COB9	国語音声学	田中 ゆかり
COBA	文章表現法	木村 一
COBB	イギリス文学史Ⅱ	岩城 久哲
COBC	英作文Ⅰ	ダレル ハーディ
COBD	スピーチコミュニケーションⅠ	パトリック マッコイ
COBE	英語学演習 A	佐藤 健児
COBF	英米文学演習 A	石川 勝
COBG	科学哲学	江川 晃
COBH	西洋史概論／西洋史概説	馬淵 彰
COBJ	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	古川 隆久
COBK	経済学説史／経済学史	高橋 宏幸
COBL	経済開発論	辻 忠博
COBM	労働経済論	木暮 雅夫
COBN	商法	鬼頭 俊泰
COBP	商業政策	新島 裕基
COBQ	発達と学習	野村 康治
COBR	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	関屋 雄一
COBS	教育相談／教育カウンセリング論	植松 紀子
	博物館実習Ⅰ	折茂 克哉

第3期 8/5(土)～8/7(月)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COC1	哲学	小山 英一
COC2	英語 C	桶田 由衣
COC3	英語基礎	上島 美佳
COC4	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭 克夫
COC5	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子
COC6	民法Ⅰ	益井 公司
COC7	商法Ⅲ	中村 良
COC8	政治学原論	吉野 篤
COC9	国文学史Ⅰ	近藤 健史
COCA	国文学講義Ⅵ(現代)	紅野 謙介
COCB	英語音声学	森 晴代
COCC	英語学概説	秋葉 倫史
COCD	西洋古典	大住 有里子
COCE	スピーチコミュニケーションⅡ	タレル ハーディ
COCF	英米文学演習 B	原 公章
COCG	哲学演習 A	長谷川 武雄
COCH	日本史入門	鈴木 哲
COCJ	西洋史特講Ⅱ	高草木 邦人
COCK	経済学概論	続橋 孝行
COCL	経済政策／経済政策総論	周藤 利一
COCM	財政学／財政学総論	野田 裕康
COCN	保険総論	岡田 太
COCP	マーケティング	雨宮 史卓
COCQ	現代教職論	羽田 積男
COCR	教育の方法・技術論	池田 有里子
COCS	社会科・公民科教育法Ⅱ	壽福 隆人
COCT	かな書法	山本 まり子
COCU	博物館経営論	中野 照男

第4期 8/9(水)～8/11(金)		
講座コード	開講講座名	担当講師名
COD1	英語 D	今滝 暢子
COD2	英語 E	山下 登子
COD3	英語Ⅴ	新井 英夫
COD4	憲法	名雪 健二
COD5	民法Ⅴ	矢田 尚子
COD6	行政法Ⅱ	西原 雄二
COD7	西洋政治史	渡邊 容一郎
COD8	国文法	阿久澤 忠
COD9	国文学講義Ⅱ(中古)	笹生 美貴子
CODA	漢文学Ⅰ	本間 直人
CODB	英米文学概説	野口 肇
CODC	英作文Ⅱ	アレックス ブラウン
CODD	英語学演習 B	田中 竹史
CODE	英米文学演習 C	堤 裕美子
CODF	宗教学基礎講読	小林 紀由
CODG	倫理学特殊講義	金子 佳司
CODH	日本史概論／日本史概説	小形 利彦
CODJ	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	坂口 明
CODK	日本経済史	飯島 正義
CODL	情報概論 A	中村 典裕
CODM	経済地理学／経済地理	井村 博宣
CODN	国際金融論	谷川 孝美
CODP	教育制度論	長嶺 宏作
CODQ	特別活動論／特別活動の研究	今泉 朝雄
CODR	英語科教育法Ⅲ	市川 泰弘
CODS	文化人類学	服部 慶巨

第5期 8／12(土)～8／14(月)		
講 座 コード	開講講座名	担当講師名
COE1	歴史学	下川 雅弘
COE2	英語 F	天野 暁子
COE3	英語 G	アレックス ブラウン
COE4	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	志田 慎
COE5	商法Ⅰ	小菅 成一
COE6	法哲学	高須 則行
COE7	国際政治学／国際政治論／国際政治学概論	大八木 時広
COE8	国文学概論	武藤 純子
COE9	国文学講義Ⅳ（近世）	佐藤 至子
COEA	国文学演習 A	藤平 泉
COEB	英文法	山岡 洋
COEC	アメリカ文学史	北原 安治
COED	英米文学特殊講義	新井 英夫
COEE	英語学演習 C	小澤 賢司
COEF	英米文学演習 D	榎本 義子
COEG	倫理学基礎講読	関谷 雄磨
COEH	東洋思想史Ⅱ	梅川 純代
COEJ	哲学演習 B	吉岡 司郎
COEK	古文書学	中村 順昭
COEL	考古学演習Ⅰ・Ⅱ	西野 吉論
COEM	情報概論 B	一島 力男
COEN	貿易論	岡田 直己
COEP	交通論	針谷 莊司
COEQ	会計学	林 徳順
COER	国語科教育法Ⅲ	野澤 拓夫
COES	英語科教育法Ⅳ	岡田 善明
COET	生徒指導・進路指導論	宇内 一文
	教職実践演習②	

第6期 8／16(水)～8／18(金)		
講 座 コード	開講講座名	担当講師名
COF1	法学	高須 則行
COF2	政治学	関根 二三夫
COF3	英語 H	浦部 尚志
COF4	英語 J	八木 茂那子
COF5	知的財産権法	大滝 均
COF6	刑事訴訟法	南部 篤
COF7	日本政治史	石川 徳幸
COF8	国語学演習Ⅰ～Ⅲ	鈴木 功眞
COF9	国文学演習 B	長谷川 正江
COFA	イギリス文学史Ⅰ	鈴木 ふさ子
COFB	英語学特殊講義	佐藤 健児
COFC	英語学演習 D	真野 一雄
COFD	英米文学演習 E	佐藤 秀一
COFE	哲学概論	齋藤 隆
COFF	日本思想史Ⅰ	島田 健太郎
COFG	哲学特殊講義	江川 晃
COFH	西洋史入門	後藤 秀和
COFJ	日本史特講Ⅰ	小川 雄
COFK	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高綱 博文
COFL	国際経済論	陸 亦群
COFM	租税論	鵜藤 俊英
COFN	中小企業論	小林 世治
COFP	教育原論／教育の思想	北野 秋男
COFQ	英語科教育法Ⅰ	佐藤 恵一
COFR	地誌学／地誌学概論／地理学概論(地誌を含む)	羽田 麻美
COFS	博物館情報・メディア論	品川 欣也

MEMO

[illegible]

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第 1 期

日 程		授 業 時 間	備 考
7 月 29 日	土	10:00～16:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを 設けます。
7 月 30 日	日		

※以下の第 1 期開講の講座から 1 講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0A1	保健体育講義Ⅰ	高橋 正則	1	H10100	保健体育講義Ⅰ	×	1 年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
	教職実践演習① (事後指導含む)								

※平成 29 年度春期教育実習受講者は、「教職実践演習①（事後指導含む）」と日程が重複するため、「保健体育講義Ⅰ」は受講できません。

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆健康・体力の維持増進について考える

〔保健体育講義Ⅰ〕

担当者：高橋 正則

◆**学修到達目標** 生涯を通じて最も大切な健康とは何か、また、健康・体力の維持増進のために何が必要かについて、基本的な知識を身につけます。この授業では、それらの知識が実際に自らの生活習慣に結びつくための基礎づくりをねらいとしています。

◆**授業方法** 講義形式の授業ですが、資料はパワーポイントによってスクリーンに示しながら、それに沿って授業を進めます。また、必要な場合には、配布資料を準備する予定です。授業の最後に、講義内容からレポートや課題を出す場合があります。

◆**準備学修** 新聞やテレビなどのマスコミを通して、健康・体力に関する情報に日頃から注目するよう心がけてください。

◆授業計画

1日目	午前：ガイダンス（スケジュール、受講時の注意等） コミュニケーションスキル、体力の定義を理解する 午後：体力トレーニングとトレーナビリティー、効果的な運動学習とは （講義の順番等に変更する場合があります）
2日目	午前：メンタルヘルスをチェックする、オリンピズムとは何か？ 午後：スポーツ・体育の歴史、まとめおよび試験 （講義の順番等に変更する場合があります）

◆**教科書** 使用しない（授業時、必要に応じて資料を配布します）

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよびレポート・試験結果によって総合的に評価します。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第2期

日	程	授 業 時 間	備 考
8月 2日	水	各 日 9:00～17:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを設けます。
8月 3日	木		
8月 4日	金		

※以下の第2期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0B1	英 語 A	小田井 勝彦	1	C10100	英 語 I		1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 Ⅱ				
				C10300	英 語 Ⅲ		2 年		
				C10400	英 語 Ⅳ				
C0B2	英 語 B	寒河江 融	1	C10100	英 語 I		1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 Ⅱ				
				C10300	英 語 Ⅲ		2 年		
				C10400	英 語 Ⅳ				
C0B3	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉 明子	1	F10100	中 国 語 I		1 年	・ Ⅰ、Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				F10200	中 国 語 Ⅱ				
C0B4	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則	1	J101S0	体 育 実 技 I	×	1 年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
				J102S0	体 育 実 技 Ⅱ				
C0B5	刑 法 Ⅰ	船山 泰範	2	K20300	刑 法 Ⅰ		条件参照	・ 法律学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
C0B6	民 法 Ⅲ	清水 恵介	2	K30200	民 法 Ⅲ		2 年		
C0B7	行 政 学	山田 光矢	2	L30100	行 政 学		2 年		
C0B8	国文学講義Ⅰ(上代)	梶川 信行	2	M30500	国文学講義Ⅰ(上代)		2 年		
C0B9	国 語 音 声 学	田中 ゆかり	2	M31400	国 語 音 声 学		2 年		
C0BA	文 章 表 現 法	木村 一	2	M31900	文 章 表 現 法		2 年		×
C0BB	イギリス文学史Ⅱ	岩城 久哲	2	N30100	イギリス文学史Ⅱ		2 年		
C0BC	英 作 文 Ⅰ	ダレル ハーディ	2	N30400	英 作 文 Ⅰ	×	2 年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0BD	スピーチコミュニケーションⅠ	パトリック マッコイ	1	N30900	スピーチコミュニケーションⅠ		2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0BE	英語学演習 A	佐藤 健児	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
				N402S0	英語学演習Ⅱ				
				N403S0	英語学演習Ⅲ				
C0BF	英米文学演習 A	石川 勝	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
C0BG	科 学 哲 学	江川 晃	2	P31300	科 学 哲 学		2年		
C0BH	西洋史概論／ 西洋史概説	馬淵 彰	2	K32400	西 洋 史 概 論		2年	・法学部のみ申込可。	
				Q30400	西 洋 史 概 説		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
C0BJ	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	古川 隆久	1	Q401S0	日 本 史 演 習 Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q402S0	日 本 史 演 習 Ⅱ				
C0BK	経済学説史／ 経済学史	高橋 宏幸	2	L31300	経 済 学 説 史		2年	・法学部のみ申込可。	
				R30100	経 済 学 史		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
C0BL	経 済 開 発 論	辻 忠博	2	R31400	経 済 開 発 論		2年		
C0BM	労 働 経 済 論	木暮 雅夫	2	R32200	労 働 経 済 論		2年		×
C0BN	商 法	鬼頭 俊泰	2	S30200	商 法		2年		
C0BP	商 業 政 策	新島 裕基	2	S31000	商 業 政 策		2年		
C0BQ	発 達 と 学 習	野村 康治	2	T10500	発 達 と 学 習	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0BR	社 会 科 ・ 地理歴史科教育法Ⅰ	関屋 雄一	2	T20500	社 会 科 ・ 地理歴史科教育法Ⅰ	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0BS	教 育 相 談 教育カウンセリング論	植松 紀子	2	T30600	教 育 相 談	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×
				T30700	教育カウンセリング論				
	博 物 館 実 習 Ⅰ	折茂 克哉	1	Y301S0	博 物 館 実 習 Ⅰ	×	3年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆**学修到達目標** 2016年のアメリカ合衆国大統領選挙民主党指名候補、ヒラリー・クリントンが有権者に支援を求めて発信した電子メールを扱った下記の教科書を使い、アメリカ社会、国際社会について考察しながら、生きた英語表現を修得することを目指します。

◆**授業方法** 教科書の内容順に、Word Check(1)、Email 本文読解、The Gist of Things、Word Check(2)、Writing Drill に取り組んでいただきます。学生を指名し、問題の解答または和訳していただきます。(Listening Practice は除く)

◆**準備学修** Email 本文は日本語に訳して下さい。その他の問題は答えを考えてきて下さい。(Listening Practice は除く)

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	ガイダンス（授業の進め方、成績評価についてなど） UNIT 1 “I Want to Be a Champion” / UNIT 2 “I’m Ready” UNIT 3 “The Next President” / UNIT 4 “We Must Keep Fighting for Equal Pay” UNIT 5 “Not Doing So Was a Mistake” UNIT 6 “She Doesn’t Do Things for the Title, the Pay, or the Accolades”
2 日目	UNIT 7 “I Hope” UNIT 8 “I Want to Say This” UNIT 9 “She’s a Changemaker” UNIT 10 “I Promise” UNIT 11 “America’s Diversity” UNIT 12 “I Have No Intention”
3 日目	UNIT 13 “I Know How Hard the Job of President Can Be” UNIT 14 “So Let’s Put Our Foot on the Pedal” UNIT 15 “DONALD TRUMP IS GOING TO BE PRESIDENT” テスト

◆**教科書** 丸沼『ヒラリー・クリントンはそこが言いたかった』 竹村日出夫ほか 東京堂出版 2017
2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 試験 70%, 平常点（発表、出席状況など） 30% ※毎回出席することを前提としています。

◆英語で小説を楽しむ

〔英語 B〕

担当者：寒河江 融

◆**学修到達目標** 英語の小説というと非常に難解なもの、という印象を持つと思われますが、中学・高校で学んだ知識と辞書があれば、大体のものは読むことができます。本授業では、わかりやすい文章の超短編 SF 小説を、文法事項をおさらいしながら、読んでいきます。そして、辞書があれば英文が読める事を実感してもらい、英文を読む自信をつけてもらう事を目標とします。

◆**授業方法** 一文一文一人ずつ読んでいってもらいます。その訳について丁寧に解説を加えていきます。情景描写や心理描写などの、英文ならではの面白さも説明します。訳を発表する際、間違えることは問題ないです。わからないところを見つけるのも学習の一つです。なぜそのような意味になるのかをしっかりと説明します。また、テキストについている問題を通して、文法知識の定着をも目標とします。

◆**準備学修** 最初の段階では誰が当たるのかはわかりません。1日目の目標である3作品には、少なくとも目を通し、自分がいつ当たっても良いようにしておいて下さい。間違えるのは構いませんが、わからない単語は必ず調べておくこと。時間が短いので、なるべくスムーズに授業が流れるように準備してください。作品のリズムもあるので、頑張って準備してください。当てられて、何も答えられないことの無いように。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	教科書のガイダンス。後、UNIT 1～UNIT 6, Daisies, Sentence, Pattern の3作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため) 基本文法と受動態、強調表現などを説明します。
2日目	UNIT 7～UNIT 12, Solipsist, Preposterous, Reconciliation の3作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため) 基本文法と接続詞や関係詞などの説明をします。
3日目	UNIT 13, UNIT 14, Answer, 他1作品(未定)の2作品を読み進めます。日本語訳を参考にしても構いませんが、極力自力で訳すように。発表の際は直訳が望ましいです。(文法構造理解のため) 基本文法の説明、及び解釈としての文明機械の恐ろしさを楽しみます。 試験。

◆**教科書** 丸沼『超短編 SF で楽しく学ぶ読解・英作文 / Let's Enjoy SF Short-Shorts』 Fredric Brown 著 / 高本孝子・池園宏編注 開文社出版 1,836 円(税込)(送料 300 円)

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(発表など)・テストにより総合的に評価します。毎回出席することを前提とします。

◆**学修到達目標** 漢字の意味がわかることは大きな強みでもあります。初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し、漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。日付・時刻・買い物といった数字の訓練を通じて反応のスピードアップも図ります。

◆**授業方法** 日本語の連想のない状態で、本文についてシートを用いた単語の音声導入を行い、場面と音声から自力で内容をつかんでいく訓練を行います。普通に出席していれば、スクーリング中に発音記号の疑問点は解消するでしょう。初日に学習方法を示すので、二日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習を続けてください。

◆**準備学修** 音声による認識と練習が主眼の授業ですので、教科書についてはあえて「予習せずに」臨み、指示通りの復習を必ず行ってください。教材音声に手軽に親しめる環境を作っておいてください。（付属 CD をプレイヤーに取り込む、出版社の HP にアクセスするなど）

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	スクーリング中の基本作業の確認 発音の導入と発声訓練（声調・母音・子音・音節） 疑問文・動詞述語文 プリントを用いて発音記号を徹底的にマスターする。 漢字に頼らず場面を把握する訓練を始める。 翌日の小テストにむけて漢字・発音記号の練習法を確立する。
2日目	有・是・助動詞 数字 初日に引き続き漢字に頼らぬ本文導入を行い、語彙を増やす。 文字を見ず音声から把握する訓練を行い、数字をマスターする。
3日目	形容詞述語文・数字練習 教場試験 ・本文のディクテーションテスト ・置き換え練習のリスニングテスト ・文法確認

◆**教科書** 丸沼『音読中国語』 相原茂・蘇紅 朝日出版社 2,484円（税込）（送料 300円）

◆**参考書** WEB上に様々なトレーニング用コンテンツをUPします。講習中にこの音声を用いた復習が必要になります。発音記号学習時に、鉛筆と同じ太さに書ける赤・青・黄のペンがあると便利です。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します。試験は、リスニングが中心となります。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な発想が必要ですが、指示通りに取り組みれば、難しいものではありません。

◆運動・スポーツに親しむ

〔体育実技Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：高橋 正則

◆**学修到達目標** 高齢社会を迎え、健康・体力の維持増進の必要性はますます重要になってきています。この授業では、運動・スポーツの実践を通して、その楽しさや重要性を認識し、適度な運動習慣を日常生活習慣に取り込んでいくための基盤づくりをねらいとしています。

◆**授業方法** 原則として天候に左右されない体育館での授業とし、小グループで色々な運動やスポーツ（卓球やバドミントンなどのネット型競技を中心に）を体験しますが、年齢相応、体力相応の参加の仕方を理解します。また、体力測定を通して、体力の現状を自覚し、その維持増進についての認識を高めます。

◆**準備学修** 1日20分以上の連続歩行と、軽い柔軟運動の実施を心がけてください。

◆授業計画

1日目	ガイダンス（施設の使用法および注意事項等）、グループ分け、準備運動、レクリエーション、体力測定（握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び等）、自己評価、体力の維持増進についての解説 班別スポーツ種目の展開（1）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 （施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
2日目	班別スポーツ種目の展開（2）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別スポーツ種目の展開（3）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 （施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
3日目	班別スポーツ種目の展開（4）卓球・バドミントン・ミニテニス・バレーボール等 班別対抗ソフトバレーボール大会 （施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）

◆**教科書** 使用しない

◆**参考書** 使用しない

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価します。

◆刑法をいかに学ぶか

〔刑法Ⅰ〕

担当者：船山 泰範

◆**学修到達目標** 刑法は本来、市民（国民）のためにある。ところが、なかなかそのように理解されない。それはなぜか。共に考えよう。

◆**授業方法** 講義を中心とするが、質問の時間を適宜設けるので、遠慮なく質問し、疑問を解消してほしい。

◆**準備学修** 教科書ならびに参考書を予習して臨んでほしい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1 なぜ刑法を学ぶのか 2 刑事裁判は何のために 3 刑事公判の進め方 4 刑法のしくみ 5 犯罪が成立するとき
2日目	6 刑罰は何のために 7 人間を研究する刑事法 8 社会を支配する「世間」 9 生活の中の刑法規範 10 答案の作成技術
3日目	11 振り込め詐欺は共犯 12 不当な起訴をされたら 13 事実をどう認定するか 14 市民参加が刑事司法を変える

◆**教科書** 丸沼『刑法を学ぶための道案内』 船山泰範 法学書院 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 丸沼『刑法の礎・総論』 船山泰範 法律文化社 2,808円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 試験（80%）、平常点（20%）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆債権法総論

〔民法Ⅲ〕

担当者：清水 恵介

◆**学修到達目標** 民法・財産法の全体を把握する上で要となる債権法総論。具体的には、民法第3編「債権」のうち、第1章の「総則」に規定された第399条から第520条までの条文を対象とする法領域中の各制度を理解させる。

◆**授業方法** 実務や学界の動向、最新判例、債権関係法の改正内容なども視野に入れつつ講義を行う。

◆**準備学修** 授業の理解を助ける上で、各回の授業範囲に対応する教科書の該当箇所を事前に読んでおくこと。

◆**履修条件** 六法を必ず持参すること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	債権法総論序説、債権の目的、債権の効力
2日目	責任財産の保全、多数当事者の債権関係
3日目	債権譲渡・債務引受、債権の消滅

◆**教科書** **通材**『民法Ⅲ K30200』通信教育教材（教材コード000354）2,650円（送料込）

◆**参考書** 指定しない

◆**成績評価基準** 授業内容を踏まえて出題される設問を解答させ、その内容により理解度をはかり、評価する。
試験（100%）。毎回出席することを前提として評価する。

◆国家の役割の変化と行政の特質を知る

〔行政学〕

担当者：山田 光矢

◆**学修到達目標** 人類社会の発展と変質がもたらした、国家や地方公共団体の役割の変化と、それに対して私たちがどのように対応すべきなのかを、ロストの「take offの原理」を手がかりに、国家のその時代ごとの役割の変質と、国家の実態を考え、現在の国家や地方公共団体の役割や現状を分析し、行（財）政改革のあるべき方向性に対する受講生自身の考え方を説明できるようにする。

◆**授業方法** 講義形式で行います。受講生の興味や問題意識を勘案して講義を進めていくので、質問にはきちんと答えてください。また質問などがある場合には積極的に発言してください。可能な限り相互の意見交換の中で講義を進め、受講生の理解を深めていきたいので、積極的な講義への参加を求めながら進めていきます。

◆**準備学修** 日本の政権交代と、政府が実施してきた行政改革の目標や方向性を考え、今後の日本の行（財）政改革の望ましい方向性や、実施すべき方向性などについて考えてもらいますので、可能な限り新聞等を読んで、日本の行政の現状や問題点、さらに受講生各自の考える望ましい改革の方向性などを考えてきてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①行政の定義：三権分立論と五権分立論、憲政と行政、政治と行政他 ②国家の役割の変化：「take offの原理」、小さな政府と大きな政府他 ③国家と行政：官房学・警察学・シュタイン行政学、アメリカ建国と行政 ④公務員制度改革とアメリカ：ジャクソニアンデモクラシー、アメリカ行政学他
2日目	①行政改革の理論と実際：合理モデル、満足モデル、インクリメンタリズム他 ②統治機構と行政：大統領制、議院内閣制、フランス型大統領制他 ③官僚制Ⅰ：官僚制の特徴、官僚制の機能と逆機能、欲求五段階、現代組織論他 ④官僚制Ⅱ：スタッフとライン、独任制と合議制、行政（独立規制）委員会、NPO他
3日目	①日本の行政Ⅰ：明治維新と行政制度、内閣制度、大日本国憲法と行政制度 ②日本の行政Ⅱ：日本国憲法と行政組織、橋本改革、小泉政権とその後 ③行政学と行政改革：講義のまとめと質疑応答 ④試験

◆**教科書** **当日資料配付** 必要に応じて配布します

◆**参考書** **丸沼**『政治学』山田光矢 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 試験を60%程度、小テストやリアクションペーパー等を20%程度、出席や受講態度等を20%程度として、総合的に判断して評価します。自主的にレポートを提出した場合には内容に応じて加点します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆『万葉集』と東アジア 〔国文学講義Ⅰ（上代）〕

担当者：梶川 信行

◆**学修到達目標** 『万葉集』は仮名のない時代の作品です。すべて漢字で書かれています。作者や作歌事情を記す題詞・左注は漢文体で、歌は正訓字のほか、一字一音の形でも記されています。この時代は唐を中心として漢字文化圏が形成されていましたが、現代で言えば、英語とローマ字で書かれているようなものです。8世紀の歌の世界で、どのようにグローバル化が進行していたか。その実態を、万葉歌を通して具体的に考えてみることを目的とします。

◆**授業方法** プロジェクターを使って、スクリーンにさまざまな画像（写真・地図・各事項のまとめなど）を映し出しつつ講義を進めます。時折、受講生全員に意見を求めますが、それを平常点とし、試験の点数に加点します。受身で受講するのではなく、どんどん質問すること。

◆**準備学修** このテーマに関して、一般書で参考文献となるものはありません。中国よりも朝鮮半島の国々との関わりが中心になりますが、私の書いた論文以外、先行研究もあまりありません。講義の中で、できるだけわかりやすく説明しますので、『万葉集』に関する基礎的な知識をつけておいて下さい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	総論『万葉集』と東アジア 平城京と畿内における渡来系氏族の人々
2日目	大宰府における渡来系氏族の人たちとその歌々について 越中における渡来系氏族の人たちとその歌々について
3日目	東国とその他の地域 試験

◆**教科書** 丸沼『萬葉集』 鶴久・森山隆 おうふう 2,052円（税込）（送料350円）
二十巻全部が収録されているもので、かつ原文のあるものならば、指定のテキストでなくても構いません。

◆**参考書**『万葉集と新羅』 梶川信行 翰林書房
必ずしも購入する必要はありません。図書館等で利用して下さい。

◆**成績評価基準** 試験。それに平常点を加味します。
試験は自筆ノートのみ持ち込み可とするので、できるだけ丁寧にノートを取っておいて下さい。

◆日本語音声の基礎を学ぶ 〔国語音声学〕

担当者：田中 ゆかり

◆**学修到達目標** 日本語の音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションについて概説する。音声学の基礎的な考え方について学習し、日本語音声・音韻・リズム・アクセント・イントネーションの具体的な記述と考察が、受講者各自可能な段階に到ることを目標とする。

◆**授業方法** 教科書・教場における配布資料を用いた講義形式を中心とするが、視聴覚教材なども用いた発音・聞き取り・国際音声記号などの書き取りの練習も行う。また、具体的な事例から、規制を発見する課題なども適宜行う。

◆**準備学修** 事前に教科書に一通り目を通しておくことを薦める。

◆**履修条件** 国語学概論の履修を済ませていることが望ましい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. ガイダンス 2. 拡大50音図・音素記号・音声記号（IPA） 3. 発音器官 4. 母音
2日目	5. 子音 6. 異音 条件異音 自由異音
3日目	7. リズム：拍・音節・フット 8. アクセント 9. 教場試験と解説

◆**教科書** 通材『国語音声学 M31400』 通信教育教材（教材コード000266）1,400円（送料込）

◆**参考書** 教科書末尾掲載の参考文献参照。授業内でも随時紹介する。

◆**成績評価基準** 教場試験80％・平常点・出席20％ ※全日程出席が試験受験資格

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆伝わっているのか・伝えられるのか

〔文章表現法〕

オープン受講：不可 担当者：木村 一

◆**学修到達目標** 自分の言いたいことが伝わらない。あるいは、自分が伝えようとしていることが誤解されてしまう。そのような事案事項に私たちはどのように対処していくべきなのか。デジタル全盛の現代において、利便性のみが優先され、その裏側で犠牲になってしまっている正確性に気づこう。本講座では、伝えるための必要最低限のルールを学びます。それにより、今までうまく伝わらなかったことが伝わりやすくなります。

◆**授業方法** 基本的には講義形式ですが、受講者全員に文章を実際に書いて、何らかの表現をしてもらいます。こちらから何らかの課題を課し、時間を定め、文章で表現してもらいます。また、「書く」（表現する側）だけではなく、他人の表現にも積極的に触れてもらいます。そのために「伝えるための知識」学び、身につけてもらいます。各自、積極的にノートをとること。

◆**準備学修** 新聞・テレビ・インターネットなどの、いわゆる〈メディア〉で積極的に〈世の中〉と関わっておくこと。その際、自分自身と〈メディア〉とはどのような関係にあるのか、ということ意識しておくこと。また、指定したテキストの内容を大まかに把握しておくこと。さらに、テキスト内の専門用語について事前に調査し、その意味内容を把握しておくこと。そして、毎回の授業内容を復習し、次回の授業内容につなげる努力をすること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・導入、何をどう進めるのか。必要事項の確認と準備。諸注意。 ① 準備段階としての文章表現 「伝える」／「伝える」とはどういうことなのか 「分かってほしい」のに「分かってくれない」現実と要因
2日目	② 表現力／発想力のために 抽象的なものごとの表現のために 抽象表現の功罪 「伝わらないこと」の根底にあるもの 「伝えようとする」努力とは
3日目	③ 具体的実践と実際 自分が言いたいことが「伝わらない」のは、相手が悪い？ 〈世界〉と関わるということ ・試験

◆**教科書** **通材**『文章表現法 M31900』 通信教育教材（教材コード 000534）2,750 円（送料込）
※学修指導書付き

◆**参考書** ・各自用意するもの（必須）
①辞書（電子辞書が便利・携帯端末不可）
②原稿用紙（400 字詰、縦書、用紙の大きさは自由）
③ホッチキス（新たに購入する場合は、百円ショップのものでよい）
当日資料配付 必要に応じて当日プリントを配布する

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、提出物・試験（70%）・添削対応（20%）・受講状況（10%）で総合的に判断する。

◆英文学史の基本が理解できる。同時にアメリカ文学も理解できている。〔イギリス文学史Ⅱ〕

担当者：岩城 久哲

◆**学修到達目標** 近現代の英文学史の基本が理解でき、それに関して、自分でプレゼンができる。同時に、アメリカ文学についても理解できている。

◆**授業方法** 配布する資料プリントの記述を中心にしながら、DVDなども取り込み、進めていく。ときに英文などを読んでもらい、内容について説明を求める。

◆**準備学修** 英文学史の基本的な流れを理解しておく。付随的にアメリカ文学も理解しておく。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・近現代以前を眺望する（中世とチョーサー、ルネサンスとシェクスピア、理性と良識の時代のスウィフト、デフォー） ・オースティンとスコット ・ディキンズ、サッカレーとハーディー
2日目	・ヴィクトリア時代 ブロンテ、G エリオット、V ウルフ コンラッド、H ジェームズ
3日目	・20世紀 TS エリオット、ジョイス DH ローレンス、G オーウェル、G グリーン

◆**教科書** 〔当日資料配付〕教材プリントなど。

◆**参考書** 前もって、英文学の流れを理解しておく。

◆**成績評価基準** 教務課の定める出席条件を前提とし、授業への積極的な参加度（30%）、コメントシート・レポート（40%）、小テスト（30%）とする。

desdetriana-hi@docomo.ne.jp

◆ English Composition 1

〔英作文Ⅰ〕

担当者：ダレル ハーディ

◆**学修到達目標** The course objectives are as follows:

1. To define academic writing and become familiar with pre-writing activities.
2. To review and practice writing effective topic, supporting, and concluding sentences.
3. To learn important language factors to make paragraphs more coherent and cohesive.
4. To practice and improve edition and revision skills.

◆**授業方法** In this course we will emphasize academic writing skills and focus on how to write an "academic" paragraph. We will begin with practicing pre-writing activities to generate ideas for writing. Next, we will look at the components of a paragraph, topic sentence, supporting sentences, and concluding sentence, in detail. Once we have covered the main components, we will study language factors which are important for paragraph coherence and cohesion. Finally, we will discuss what to look for when editing.

◆**準備学修** No preparation or prerequisites are required. However, students should have a good understanding of basic sentence structure.

◆**履修条件** Students are required to attend all three days, submit an "academic" paragraph, and write a final test.

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	Orientation; Introduction to academic writing; Part 1 - Getting ready to write: what is a paragraph? The structure of a paragraph, generating ideas for writing - brainstorming, writing a topic sentence, choosing supporting points, and making an outline. Part 2 - Writing a paragraph: supporting ideas with details, organizing supporting sentences, writing a concluding sentence, and choosing a title.
2日目	Part 3 - Writing a coherent paragraph: coherence, using conjunctions, using transitional expressions, avoiding run-on sentences and sentence fragments. Complete first draft of paragraph.
3日目	Part 4 - Editing a paragraph: academic writing style, edition a paragraph, and peer editing of paragraph. Submit final draft of paragraph and final examination.

◆**教科書** Handouts will be provided.

◆**参考書** A good dictionary may be helpful.

◆**成績評価基準** "Academic" paragraph = 40%; Final test = 40%; Participation = 20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ Speech Communication 1

〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

担当者：バトリック マッコイ

◆学修到達目標 Since this is a speech communication class, I expect you to try your best to speak English at all times (part of your grade will be based on participation)

There are no prerequisites for this class, so I expect there will be a mixture of students with a variety of language ability in English. For students who have had little experience studying English communication, this class may seem quite difficult – please try your best. For students who have studied English communication or have lived abroad, this course may seem rather easy; however, I expect you to do your best and help other students. Your grade for the speaking test will be based on your effort to communicate using the Language covered in this course. Your grade will NOT be based on your overall language ability.

◆授業方法 1. To use English for communication with a focus on fluency.

2. To review basic language to talk about general themes.

3. To reduce student apprehension towards communicating in English.

◆準備学修 なし

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	<i>Orientation; Clarifying Language, introducing your partner (Getting To Know You); Find Someone Who... Values Topics discussion. Talking About Routines.</i>
2日目	<i>Famous Firsts; Talking About Appearance and Personality.</i>
3日目	<i>1st Part: Preparation for presentations of topics from previous lessons./Students give presentations of their selected topics. 2nd Part: Preparation for Tests; Written and Oral Tests.</i>

◆教科書 No text-handouts provided by instructor.

◆参考書 なし

◆成績評価基準 Class participation: 60% Written test: 20% Speaking test: 20%

◆英語の未来表現を洗い直す

〔英語学演習 A〕

オープン受講：不可 担当者：佐藤 健児

◆学修到達目標 G. N. Leech の *Meaning and the English Verb* の精読を通して、英語の未来表現の世界を探索します。

専門的な英文を読みこなす力を養成するとともに、個々の未来表現の微妙な意味の違いを理解し、説明できるようになること、それを本演習の目標とします。

◆授業方法 輪読形式で教科書を読み進めていきます。指名された学生には、教科書の音読と和訳をしてもらい、その後、教員が内容の確認、解説をしていきます。

◆準備学修 Chapter 4 “The Expression of Future Time” の §98 (p.61) から読み進めていきます。予習をする際には、辞書や教科書の「研究課題」、参考書に挙げた文献等を参照しながら、丁寧に（語彙や文法の知識に基づいて）英文を「精読」するよう心がけてください。なお、必ず「和訳」をしてから授業に臨むこと。

◆履修条件 平成 29 年度東京スクーリング（5月期）第 1 期「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	テンス・アスペクト・モダリティについて学びます（プリント）。 §98 から §101 まで読み進めます。
2日目	§103 から §107 まで読み進めます（§102 は扱いません）。
3日目	§108 から時間の許す限り読み進めます（ただし、§110～111, 113 は扱いません）。 試験。

◆教科書 丸沼『Meaning and the English Verb [Third Edition]』 Geoffrey Leech 著 澤田治美注釈
ひつじ書房 2,592 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『英文法解説 一改訂三版一』 江川泰一郎著 金子書房 1,836 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書 丸沼『ことばの意味と使用 一日英語のダイナミズム』 澤田治美・高見健編 ひつじ書房
3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準 予習状況・授業への取り組み（発表等）・試験等により総合的に評価します。予習をしていない場合は、大幅に減点します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆行間を読む

〔英米文学演習 A〕

担当者：石川 勝

◆学修到達目標 英米の短編小説を精読する事によって、作品の解釈の仕方を学ぶ事を目標とする。一番重要なのは文章に書かれていない行間を読み解く事である。

◆授業方法 作品を全約した上で解釈を行う。授業中はアトランダムに指名し約してもらう。準備していない場合は単位を認めない。

◆準備学修 Anderson, Hemingway, Joyce の作品をスクーリングが始まる前に全約しておく事。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	Anderson と Hemingway の作品を読む。
2 日目	Joyce の作品を読む。
3 日目	作品の解釈

◆教科書 丸沼『英米ミニ短編集』 成美堂 1,404 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書 なし

◆成績評価基準 皆出席と予習を前提条件とし最後に作品の解釈を書いてもらい評価を決める。

◆科学哲学の誕生・発展を知る

〔科学哲学〕

担当者：江川 晃

◆学修到達目標 「科学とは何か」という問いに答えるには、歴史的・哲学的・社会的観点からのアプローチが必要である。科学の成立は、近代ヨーロッパに生じた「科学革命」と呼ばれる歴史的出来事である。そこで、科学の誕生・発展を明らかにするために、科学革命のプロセスをたどる「科学史」の知見を得ることを目標とする。

◆授業方法 講義、小レポート、発表、討論しながら、ダイナミックに行こう。

◆準備学修 教科書の第1部を熟読すること。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	ガイダンス「科学哲学とは何か」 1 章 「科学」という言葉 2 章 アリストテレス的自然観古代ギリシャのセントラル・ドグマ 討論
2 日目	3 章 科学革命1 コペルニクス 円の魔力 ケプラー 4 章 科学革命2 ガリレオ 天と地の統一 ニュートン 討論
3 日目	5 章 科学革命3 デカルト 心身問題と「心の哲学」 討論 試験

◆教科書 丸沼『科学哲学への招待』 野家啓一著 ちくま学芸文庫 筑摩書房 2015 年
1,188 円（税込）（送料 215 円）

〔当日資料配付〕

◆参考書 なし

◆成績評価基準 平常点・課題（50%） 試験（50%）、毎回出席を前提として評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆西洋史での時代区分の問題

〔西洋史概論／西洋史概説〕

担当者：馬淵 彰

◆**学修到達目標** 「三時代区分問題」と関連づけながら、ルネサンスや宗教改革、自然科学革命に関わる代表的な人物や事件、思想、文化などを理解した上で、過去の世界を理解しようとする際にどのような問題が生じるか意識し、政治、社会、宗教、文化などにわたる幅広いヨーロッパの歴史像を自ら探究する力を養う。

◆**授業方法** 講義が中心だが、授業中に受講者に発言や小レポートの提出を求めることもある。具体的なイメージを受講者が持てるよう、ビデオや絵画、写真などを用いる予定である。

◆**準備学修** 教科書『西洋史概説 624／西洋史概論 628』の第5章までを読んでおくこと。ルネサンス、宗教改革、科学革命について百科事典や専門書、概説書を読み、代表的な人物、出来事、思想などを前もって学んでおくと、講義の内容が理解しやすくなる。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・ガイダンス ・西洋史とは何か ・西洋史における時代区分法（古代・中世・近代） 「西洋」とは何を指すのか、「西洋史」とはどの地域の歴史なのか、西洋史を語る上で用いられている「古代」「中世」「近代」という三時代区分法がどのように生まれたのか、といった基礎的な事柄を把握する。
2日目	・三時代区分再考 ＊注意：講義の時間配分の関係で、「ルネサンス」については1日目から講義を開始。 「ルネサンス」、「宗教改革」、「自然科学革命」のそれぞれの価値観に基づいて「中世」と「近代」とに時代を区分する方法がある。それら大まかな内容を理解した後、各時代区分法の歴史研究上の問題点を探る。
3日目	・三時代区分の問題点のまとめ ・西洋における歴史研究の発展（「近代歴史学」の誕生） ・試験 三時代区分にどのような問題が潜んでいるか整理し、「近代歴史学」がそれらの問題にどのように取り組んできたか学ぶ。

◆**教科書** 使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

◆**参考書** **通材**『西洋史概論 K32400／西洋史概説 Q30400』 通信教育教材（教材コード 000147）
2,250円（送料込）
丸沼『世界史とヨーロッパ：ヘロドトスからウォーラーステインまで』 岡崎勝世著 講談社現代新書
864円（税込）（送料 215円）
上記の本は、講義を受ける前の良いウォーミングアップとなる。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、授業中の課題、試験などを総合評価する。

◆昭和戦中期の日記を読む

〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：古川 隆久

◆**学修到達目標** 清沢洌（1890～1945）は、大正～昭和戦中期に活躍したジャーナリスト、外交評論家。太平洋戦争開始後に評論活動を禁じられた清沢は、克明で明晰な日記をつけ、戦後『暗黒日記』として出版された。この日記を、他の史料（新聞、雑誌、公文書、AV史料等）と突き合わせて読解することを通して日本近現代史の研究法を学ぶ。

◆**授業方法** 短期集中の演習のため、受講者に対して、あらかじめ担当教員から報告分担部分及び準備（調査およびレジュメの作成）方法の指示をするので、指示に従い準備の上、授業で口頭報告をしてもらう。授業では、各受講者の報告をうけて質疑討論を行い、教員が補足説明するという形で進める。

◆**準備学修** 清沢洌『暗黒日記』を必ず通読しておくこと。参考書にも目を通して、清沢の人物像や昭和戦中期の歴史に関する土地勘もつけておくことが望ましい。受講者確定後、担当教員から分担と調査のポイントや調査方法を指示するので、それに従って報告準備（レジュメ作成を含む）をすること。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	清沢洌『暗黒日記』の1942年12月から1943年8月までを読解する。戦時統制が次第に厳しくなっていく時期である。当時の政治制度、言論統制の仕組みを確認した上で、当時の雑誌、新聞、公文書、AV史料等と日記の記事を突き合わせ、史料批判を実際にやってみることとする。
2日目	清沢洌『暗黒日記』の1943年9月から1944年7月までを読解する。1944年7月はサイパン失陥により東条英機内閣が退陣した時期にあたる。当時の雑誌、新聞、公文書、AV史料等と日記の記事を突き合わせ、史料批判を実際にやってみることとする。
3日目	清沢洌『暗黒日記』の1944年8月から清沢の死によって日記が終わる1945年5月までを読解する。この時期は戦局の悪化により本土空襲が始まる時期である。当時の雑誌、新聞、公文書、AV史料等と日記の記事を突き合わせ、史料批判を実際にやってみることとする。

◆**教科書** 『暗黒日記』 清沢洌
古本のみ。出版社不問だが、岩波文庫版は抜粋なので不可。文庫版は必ず3冊揃で。「日本の古本屋」サイトかアマゾン（200～4000円）。電子書籍（響林社文庫180円）可。主要公共図書館にもあり。

◆**参考書** 『清沢洌』 北岡伸一 中公新書
公共図書館で借りること。増補版が望ましいが初版でも可。古本でも購入可（300～1500円程度）。
[丸沼]『ポツダム宣言と軍国日本』 古川隆久 吉川弘文館 2013年 2,808円（税込）（送料300円）
主要公共図書館にもあり。

◆**成績評価基準** 報告50%、質疑討論の参加度50%。報告の評価基準は、レジュメを適切な内容や分量で見やすくまとめられたか、制限時間内に適切に報告できたか、質問に適切に回答できたかなど。毎回出席を前提として評価する。

◆**学修到達目標** 本講義では、各時代の経済学がどのような時代背景でどのような思想をもった経済学者によってどのように構築、展開されたのかを学習し、その基本的内容や展開過程について説明できるようになること、そして各時代の経済学や現代経済学の土台となる思想や考え方に目を向け、経済学が時代的制約性を有していること、様々な価値判断に立脚して組み立てられていることを考察できるようになることを到達目標とします。

◆**授業方法** 本講義は、基本的には、板書やその解説を中心に進めます。補助資料としてプリントを使用することもあります。本講義は、専門科目ですので、「経済学」と「経済史」についての基礎知識をすでに習得していることを前提として講義を進めます。準備学修をしたうえで、毎回講義に出席し、しっかりとノートをとることが重要です。

◆**準備学修** 授業計画を確認し、教科書の該当する箇所を予め読んでおいてください。また、毎回の授業の前に、前回の講義内容について、教科書やノートなどで必ず復習を行ってください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1) ガイダンスおよびイントロダクション：本講義における目標、方法、講義内容の概説等 2) 経済学史とはどのような学問分野か：経済学史の学習目的、捉え方、研究方法等 3) 重商主義の概説：各国の重商主義、重商主義の目的、基本政策等 4) イギリス重商主義：その時代背景、政策体系、重商主義の経済理論と経済思想
2日目	1) フランス重商主義：その時代背景、コルベール主義の政策体系、フランス重商主義の帰結 2) フランス重農主義①：その時代背景、フランソワ・ケネーとその哲学的基礎、ケネーの経済理論 3) フランス重農主義②：ケネーと経済表、ケネーの経済政策論、ケネーの経済理論の経済学的意義 4) アダム・スミスの経済学①：アダム・スミスの人物像、時代背景、国富の方法、分業論
3日目	1) アダム・スミスの経済学②：交換論、価値論、自然価格・市場価格論 2) アダム・スミスの経済学③：分配論、資本蓄積論、投資の自然的順序、経済発展論 3) リカードとマルサスの経済学説①：マルサスの人口論、リカードとマルサスの論争 4) リカードとマルサスの経済学説②：リカードとマルサスの経済学の特質 5) 単位認定試験

◆**教科書** **通材**『経済学説史 L31300／経済学史 R30100』通信教育教材（教材コード000160）
2,200円（送料込）

◆**参考書** 『経済学の歩み』山口正春、川村哲章、高橋宏幸著 三恵社
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
丸沼『入門経済思想史 世俗の思想家たち』ロバート・ハイルブローナー著 ちくま学芸文庫
1,620円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、単位認定試験（最終試験）100%で評価します。

◆発展途上国の貧困の原因と対策を考える

〔経済開発論〕

担当者：辻 忠博

◆学修到達目標 ・ 発展途上国の特徴について説明できる（知識）。

- ・ 発展途上国が抱える経済発展に関する諸問題を説明できる（知識）。
- ・ 開発問題への適切な対策を自ら考えることができる（技能）。
- ・ 発展途上国を巡る動向に関心を持つことができる（態度）。

◆授業方法 ・ 講義内容に則したプリント及び参考書に沿って主に講義形式で授業する。

- ・ パワーポイントを使用してスクリーンに要点を示しながら授業を進める。
- ・ 講義内容の理解を促すため、適宜、ビデオやYouTubeなどを視聴する。

◆準備学修 ・ 講義の概要と流れを把握するため、プリントと参考書をあらかじめ読んでおくこと。また、質問事項をノートにまとめておくのも良い。

- ・ 経済学の専門用語（弾力性、生産関数など）や国際経済論の基礎理論（比較優位理論など）についてあらかじめ勉強しておくこと、講義内容の理解に役立つ。
- ・ 新聞やテレビなどで取り上げられる発展途上国関連の情報に常に注意を払っておくこと。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	経済開発の考え方と発展途上国の特徴、経済発展と人口政策 ※そもそも経済開発は何を目標とするのか、発展途上国とはどのような諸国のことを指すのかについてまず学ぶ。その上で、世界の人口はどのように増え、今後どのようなようになるのか、人口の増加は途上国にとってどのような意味があるのかについて理解を深めて、問題点を浮き彫りにして、その対策を考える。
2日目	経済発展と都市政策 ※途上国が抱える人口問題を都市化と結びつけて、途上国経済にとって都市はどのような役割を担っているのかについて深く考える。途上国における都市化の状態はどのようなものであり、いかに推移してきたか、その結果として途上国の都市ではどのような問題が発生しているのか、都市化の原因はどこにあるのかについて学び、その対策について考える。
3日目	経済発展と農村開発政策 ※途上国の貧困問題の根源は農村にあること、さらに、都市の諸問題も基本的には農村の貧困に端を発していることを学ぶ。途上国における農村の実態はいかなるものか、農村における諸問題とはいかなるものか、なぜ農村は貧困に陥ったのかについて理解を深め、その対策について考える。なお、授業の進捗状況に応じて、講義で取り扱うテーマに変更が生じる場合がある。

◆教科書 〔当日資料配付〕 講義の要点をまとめたプリントを配布する

◆参考書 〔丸〕『経済開発のエッセンス』 辻忠博 創成社 2,268円（税込）（送料300円）

〔通〕『経済開発論 R31400』 通信教育教材（教材コード000350）1,750円（送料込）

◆成績評価基準 リアクションペーパー（10%×2回）、レポート（20%）、筆記試験（参照可）（60%）で評価。詳細は講義1日目に説明する。

◆日本的な雇用、賃金、労働のあり方を学ぶ

〔労働経済論〕

オープン受講：不可 担当者：木暮 雅夫

◆**学修到達目標** 労働経済論を理解するために、必要な日本の労働のあり方を賃金と雇用の面から解明します。そのため、労働市場における取引関係を本質と現象の面から解き明かし、基本的な労働市場の理解をした上で、日本の賃金制度と雇用制度の特殊性、および問題点を明らかにしてゆきます。

◆**授業方法** パワーポイント（PPT）を利用した授業（配布資料あり）を中心に講義を進めていきます。短期集中授業なので、講義のポイントを理解することに重点を置き、対話形式も取り入れ、一緒に考えていく授業を心掛けます。前半と後半の授業終了時には、講義の理解度を計るテストを行ないます。

◆**準備学修** 参考書である『よくわかる社会政策（第2版）』のⅠ章とⅢ章を読んでおいてください。授業時にも持参するとおわかりやすいと思います。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	労働経済論の基礎知識として、労働市場における資本と労働の取引関係を賃金と雇用の関係として理解します。その上で、賃金の理論的考察の視点を紹介し、賃金の実態分析と制度的特徴を日本の賃金制度を例に紹介します。とりわけ、内部労働市場を念頭に、年功賃金、職能給、職務給といった賃金制度を理解し、外部労働市場における賃金決定制度へと進みます。
2日目	前回に引き続き、日本における賃金の決定制度について理解し、賃金決定が経済的な原理だけでなく、制度的な決定要因により決定されていることを学びます。 2日目の後半から、第2部の雇用制度について講義します。日本の雇用制度として有名な「終身雇用」ですが、一般にこの終身雇用の理解は必ずしも正確ではありません。日本の雇用制度の特徴を正確に理解することを目指します。
3日目	最終日は、第2部の続きで、日本の雇用制度とその課題について議論を進めます。雇用と失業、および雇用形態の問題を整理して理解するように努めます。日本における格差問題の原因とも言える雇用格差の問題にメスを入れ、日本の労働者によりよい環境でやりがいをもって働いてもらうにはどうしたらよいかを考えます。

◆**教科書** なし

◆**参考書** **教材**『労働経済論 R32200』通信教育教材（教材コード 000500）3,300円（送料込）
〈この教材は市販の『よくわかる社会政策 雇用と社会保障（第2版）』石畑良太郎・牧野富夫編著（ミネルヴァ書房）と同一です〉

◆**成績評価基準** 前半（1日目～2日目）と後半（2日目～3日目）の終わりに筆記試験を行います。また、各日の授業の合い間を見て、講義内容に関する簡単なクイズを出したり、小テストを行います。それらを総合して評価します。

◆会社法の全体像を把握しましょう 〔商法〕

担当者：鬼頭 俊泰

◆**学修到達目標** この講義は商法の中から、「会社」について規定している会社法を解説します。日常生活を送る中で、会社とは多くの接点を持っているにも関わらず、実はよく会社の法的ルールを知らない、という人がほとんどであると思います。そこで、この講義は、会社のうち、最も重要性が高いと思われる株式会社に焦点を当てて講義を行い、移り変わりの激しい株式会社に関する法知識を受講者に習得してもらうことを最終的な学習目標とします。

◆**授業方法** 毎回出席を取ったうえで、授業計画に従って講義を進めていきます。講義は、会社法の条文や実際の事例などを紹介しながら進めていきますが、一方的なレクチャーではない双方向的な講義にするため受講生との間で質疑を行うことを予定しています。なお、具体的な授業方法・内容については、1日目のガイダンスにおいて説明するので、必ず出席してください。

◆**準備学修** 予習は特にする必要はありませんが、復習はきちんとこなす必要があります。とりわけ、講義で説明がなされた難解な法律専門用語や、考え方の基本となる原理原則などは、きちんと押さえておかないと実際の問題に対応できないだけでなく、講義内容の理解にも支障をきたします。毎回の講義内容をきちんと理解し消化することが求められます。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス、会社法の概要、株式会社の設立と法規制、株式と株主の地位 ※会社法全体を概観したうえで、まず、株式会社はどのような手続きに従ってつくられるのか、その際にどのような規制が法的に課されているのかにつき、実際の事例などを素材に説明します。また、株式という制度についても法的・経済的側面から説明します。
2日目	株式会社の機関設計と各機関の概要、株主総会の機能・権限、役員の義務と責任、株式会社の資金調達① ※株式会社がどのような機関によって構成されているのか、それらはどのような機能・権限を有し、どのような責任を負っているのか、につき説明します。特に、株主総会と取締役（会）については重点的に説明を行う予定です。そのほか、募集株式の発行を素材に、株式会社がいかに資金を調達するのかを学びます。
3日目	株式会社の資金調達②、株式会社の組織再編、M&Aに関する法規制、講義のまとめ、テスト ※株式会社の資金調達につき説明します。前日に行う予定である株式会社の資金調達①の内容と併せて、株式会社がどのように事業に必要な資金を調達しているのかを学びます。また、すでに出来上がった株式会社を、状況に合わせて作り変えていく術（組織再編、M&A）を説明します。

◆**教科書** 丸沼『会社法講義 30 講』 松嶋隆弘ほか編著 中央経済社 3,780 円（税込）（送料 350 円）
〔当日資料配付〕 そのほか、初回講義時に適宜レジュメを配布する。

◆**参考書** 『六法』（最新版が望ましい）

◆**成績評価基準** 3日間の授業の中で重要と思われる箇所や、会社法の全体像の理解度を確認するため、最終日にテストを行う。この講座の成績は、かかるテストの評価をもとに決定する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆商業政策が企業活動に与える影響を考える

〔商業政策〕

担当者：新島 裕基

◆**学修到達目標** 商業政策が実施される根拠、目的、体系、および1990年代以降の「政策転換」の内容について理解し、商業政策の展開が現実の企業行動や消費者行動にどのように影響しているかを説明することができる。

◆**授業方法** 講義は一方通行で終わらせず、質疑応答など、できるだけ双方向型・参加型の形式をとります。

◆**準備学修** 毎回の講義の最後に次回授業内容等について説明するので、事前の準備（予習等）を行ってください。

◆**履修条件** 特になし

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1 授業ガイダンス、2 流通・商業・マーケティング、3 流通システムと商業政策－1 流通の社会的役割、4 流通システムと商業政策－2 流通機能、5 流通システムと商業政策－3 流通の評価基準、6 流通構造とマーケティングチャネル、7 商業政策の基本的枠組み－1 商業政策の根拠、8 商業政策の基本的枠組み－2 商業政策の目的、9 商業政策の基本的枠組み－3 商業の体系：競争、振興、調整、10 商業政策の基本的枠組み－4 流通規制緩和
2日目	11 商業政策の歴史の変遷 戦前と戦後、12 競争政策－1 独占禁止法の概要、13 競争政策－2 流通・マーケティング分野における独禁法の運用、14 競争政策－3 不公正な取引方法、15 競争政策－4 一般指定、16 競争政策－5 特殊指定、17 消費者保護政策の展開、18 振興政策－1 振興政策の歴史の変遷、19 振興政策－2 振興政策の体系化と限界、20 振興政策－3 振興政策の拡充・強化
3日目	21 振興政策－4 まちづくり施策の展開、22 振興政策－5 流通基盤の整備：卸売市場、電子商取引など、23 調整政策－1 調整政策の歴史の変遷、24 調整政策－2 調整政策としての大規模小売店舗法、25 調整政策－3 大店法の緩和プロセス、26 調整政策－4 調整政策から都市政策へ、27 商業まちづくり政策－1 政策転換、28 商業まちづくり政策－2 まちづくり3法の制定、29 商業まちづくり政策－3 まちづくり3法の見直し、30 テスト

◆**教科書** 丸沼『流通政策入門 [第4版]』渡辺達朗 中央経済社 2016年 3,024円（税込）（送料350円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** テスト…50%、授業内レポート等…25%、授業への貢献度（発言等）…25%

◆こころの発達と学習の理論を学ぶ

〔発達と学習〕

担当者：野村 康治

◆**学修到達目標** 教育に関わる発達心理学や学習心理学の知見や理論を学ぶ。発達に関しては、特に幼児期、児童期、青年期の認知発達や人格発達の問題を中心に取る。また、基本的な学習理論を紹介した上で、様々な学習方法、教授法を概説する。これらを通し、教育に携わる者に必要な心理学的知識の習得を目指す。

◆**授業方法** 授業は主に講義形式で行う。短期間に発達と学習に関する多くの問題を取り上げるため、プリントなどを活用し効率良く授業を進めていく。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講して欲しい。

◆**準備学修** 発達や学習に関する問題は全てがリンクしている。各単元で得た知識を関連づけながら、授業を受けて欲しい。そのためには、毎回の授業に際し、それまでの授業内容を復習しておくことが大切である。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	心理学において発達がどのようにとらえられているかを理解し、発達の基本原理や基礎的概念、またピアジェやエリクソンなどの代表的な発達理論を理解し、認知発達、人格発達の流れを学ぶ。さらに、各発達段階の特徴や課題を論じ、それに関連づけて、児童・生徒の問題行動も取り上げる。
2日目	まずは、基礎的な学習理論を取り上げる。連合説（条件づけ理論）、認知説に基づく代表的な学習理論について学ぶ。
3日目	学習成績に関わる個々人の特性や認知機能に関して学ぶ。また、教科学習における様々な学習の方法、教授法について学ぶ。

◆**教科書** 通材『発達と学習 T10500』通信教育教材（教材コード000420）2,900円（送料込）
〈この教材は市販の『教職をめざす人のための教育心理学』藤田主一他（福村出版）と同一です〉
[当日資料配付]

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 成績は主に試験の得点をもとに平常点（授業時の発言など）を加味して総合的に評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆歴史教育を共により良き形を目指して 【社会科・地理歴史科教育法Ⅰ】

担当者：関屋 雄一

◆**学修到達目標** 日本史を中心としつつ、学習指導要領を踏まえ、かつ世界史との接点にも留意しつつ、生徒に身につけてもらうべき歴史の流れと各時代の要点を押さえる。同時に歴史教育それ自体の経緯と、現在置かれている現状を把握し、今後社会科、地歴科教育を実践していく上で身に付けるべき視点について共に考える。

◆**授業方法** 各授業時間では、講義形式を主としつつ、模擬授業も行う。その際の割り振りなどは授業の際に改めて話をする。質疑応答や意見交換などを交え、受講する各自、そして講師自身にとってより建設的な授業になることを心がけたい。

◆**準備学修** 指定された教材の読み込みは最低限として、歴史学・歴史教育に関する文献などに多く目を通しておくこと。情報に接し、考える、つまり「アンテナ」「情報網」を常に張っておくことは、各自の、以降の思考と実践を行う前提として肝要である。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	戦前から戦後に至る歴史教育全体の推移と、学習指導要領の変遷とその特色を講義する。歴史教育がどのような発想・構想や方法論に基づいて、過去に行われていたのかを学ぶ。教材を事前に読み込んでもらうことが肝要で、それが質疑応答については後の模擬授業の助けになる。また、模擬授業の割り振りも行う。
2日目	日本史と世界史の接点を意識した、古代史の大きな流れとポイントを押さえていく。また、模擬授業を、教案作成や板書、諸々の工夫など、実際の授業を意識しつつ行う。授業の実践力向上を目指す際、発表者の問題点や参考にすべき点を、受講者各自が考え、質疑応答し、かつ整理していく作業が肝要である。
3日目	中世から現代までの大きな流れとポイントを押さえていく。日本史と世界史の接点については、時代が下るにつれてより一層、空間的、地理的把握も留意しつつ、意識する必要がある。また、2日目に引き続き模擬授業を行う。受講者、講師各自が建設的な意見交換を行い、知見を高めていくことを心がけてもらいたい。

◆**教科書** **【教材】**『社会科・地理歴史教育法Ⅰ T20500』 通信教育教材（教材コード 000221）1,300円（送料込）

◆**参考書** 特に指定しないが、上記の準備学習を意識すること。最新の情報、経験を各自講義中に、「交換」「共有」できることを心掛ける。

◆**成績評価基準** 発表・質疑応答（50%）、試験（50%）。毎回の出席を前提に評価する。

◆カウンセリング・教育相談・学校教育相談 【教育相談／教育カウンセリング論】

オープン受講：不可 担当者：植松 紀子

◆**学修到達目標** カウンセリングの歴史、定義、理論を土台にして教育相談が作られ、その方法を用いて学校教育相談が学校現場で使用されるようになった。いじめや不登校など不適応問題（行動）が生じている児童生徒への相談を行って行くために必要な知識を獲得することが目的である。

◆**授業方法** 「教育相談／教育カウンセリング論」のテキストや配布資料を中心に授業を行い、学生への質疑応答や心理テストを行う。

◆**準備学修** 指定したテキスト「教育相談／教育カウンセリング論」を事前に熟読しておくこと。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	ガイダンス 『教育相談／教育カウンセリング論』の第1章：カウンセリングとは何か 第2章：カウンセリングの理論と方法 第3章：教育相談とは何か、について学修する。
2日目	『教育相談／教育カウンセリング論』の第4章：学校教育相談の本質 第5章：学校教育相談の理論と実際 第6章：学校教育相談の方法 第7章：進路相談の意義と方法、すなわち学校教育相談について学修する。
3日目	『教育相談／教育カウンセリング論』の第8章：不適応問題（行動）と学校教育相談 第9章：特別支援教育に関する理解と学校教育相談 第10章：心理アセスメントについて学修する。 ★試験実施

◆**教科書** **【当日資料配付】** 当日資料配付

【教材】『教育相談 T30600/ 教育カウンセリング論 T30700』 通信教育教材（教材コード 000498）1,650円（送料込）

◆**参考書** **【丸沼】**『改訂 生徒指導・教育相談・進路指導』 仙崎武 野々村新編著 田研出版 2,592円（税込）（送料 300円）

◆**成績評価基準** 発表（20%） 平常点（30%） 試験（50%） 毎時間出席することが前提

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館実習Ⅰ

〔博物館実習Ⅰ〕

担当者：折茂 克哉

◆**学修到達目標** 博物館の専門職員である学芸員として知っておかなければならない理論や知識の他に、業務を行う際に直面するであろう問題について考える。そのなかでも特に重要な資料に関する問題への理解、資料に接する際に必要な実技の体験、修得を目標とする。

◆**授業方法** 博物館や学芸員業務の実際についての講義。日常業務のなかで学芸員が資料に接する機会を想定し、資料の収集・調査、保管・運搬、そして展示という3つの状況下における作業を体験する。また、事後のレポートだけでなく、毎回の授業終了時にも小レポートを提出する。

◆**準備学修** 各自、所持している博物館学関係の書籍・資料を再読しておいてください。授業時には実際に作業を行うので、動きやすい服装を心がけ、身につけたアクセサリ類は外せるようにしておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス、博物館実習概説、資料の基本的な取り扱い方法
2日目	学芸員の仕事、資料収集・調査に関わる作業、保管・運搬に関わる作業
3日目	博物館業務の種類、展示に関わる作業、まとめ

◆**教科書** **当日資料配付** 特になし。毎回プリントを配布。

◆**参考書** 特になし。

◆**成績評価基準** 毎回の小レポート（60%）と事後レポート（40%）による。

MEMO

[illegible]

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第3期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月 5日	土	各 日 9:00～17:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを設けます。
8月 6日	日		
8月 7日	月		

※以下の第3期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0C1	哲 学	小山 英一	2	B10700	哲 学		1 年		
C0C2	英 語 C	桶田 由衣	1	C10100	英 語 I		1 年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2 年		
				C10400	英 語 IV				
C0C3	英 語 基 礎	上島 美佳	1	C10600	英 語 基 礎		1 年	・ 英文学専攻は申込不可。	
C0C4	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭 克夫	1	E10100	フ ラ ン ス 語 I		1 年	・ I・Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				E10200	フ ラ ン ス 語 II				
C0C5	中国語Ⅲ・Ⅳ	稲葉 明子	1	F10300	中 国 語 Ⅲ		2 年	・ Ⅲ、Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				F10400	中 国 語 Ⅳ				
C0C6	民 法 I	益井 公司	2	K20200	民 法 I		条件参照	・ 法律学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
C0C7	商 法 Ⅲ	中村 良	2	K30700	商 法 Ⅲ		2 年		
C0C8	政 治 学 原 論	吉野 篤	2	L20100	政 治 学 原 論		条件参照	・ 政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	
C0C9	国 文 学 史 I	近藤 健史	2	M30100	国 文 学 史 I		2 年		
C0CA	国文学講義Ⅵ(現代)	紅野 謙介	2	M31000	国 文 学 講 義 Ⅵ (現 代)		2 年		
C0CB	英 語 音 声 学	森 晴代	2	N30600	英 語 音 声 学		2 年		
C0CC	英 語 学 概 説	秋葉 倫史	2	N30700	英 語 学 概 説		2 年		
C0CD	西 洋 古 典	大住 有里子	2	N308S0	西 洋 古 典	×	2 年		
C0CE	スピーチコミュニケーションⅡ	ダレル ハーディ	1	N31000	スピーチコミュニケーションⅡ		2 年		

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 講 条 件	受 講 条 件	受 講 条 件
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
C0CF	英米文学演習 B	原 公章	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				N405S0	英米文学演習Ⅱ						
				N406S0	英米文学演習Ⅲ						
C0CG	哲学演習 A	長谷川 武雄	1	P401S0	哲 学 演 習 Ⅰ	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。			
				P402S0	哲 学 演 習 Ⅱ						
C0CH	日 本 史 入 門	鈴木 哲	2	Q20100	日 本 史 入 門		条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	×		
C0CJ	西洋史特講Ⅱ	高草木 邦人	2	Q313S0	西洋史特講Ⅱ	×	2年				
C0CK	経 済 学 概 論	続橋 孝行	2	R20300	経 済 学 概 論		条件 参照	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。			
C0CL	経 済 政 策 / 経 済 政 策 総 論	周藤 利一	2	L31500	経 済 政 策		2年	・法学部のみ申込可。			
				R30700	経 済 政 策 総 論		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。			
C0CM	財 政 学 / 財 政 学 総 論	野田 裕康	2	L31400	財 政 学		2年	・法学部のみ申込可。	×		
				R31500	財 政 学 総 論		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	×		
C0CN	保 険 総 論	岡田 太	2	S30600	保 険 総 論		2年				
C0CP	マーケティング	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング		2年				
C0CQ	現 代 教 職 論	羽田 積男	2	T10100	現 代 教 職 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
C0CR	教育の方法・技術論	池田 有里子	2	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
C0CS	社 会 科 ・ 公民科教育法Ⅱ	壽福 隆人	2	T20800	社 会 科 ・ 公民科教育法Ⅱ	×	2年	・法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
C0CT	か な 書 法	山本 まり子	2	T22500	か な 書 法	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			
C0CU	博物館経営論	中野 照男	2	Y20400	博物館経営論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆伝統的な哲学の思想を学んでみよう

〔哲学〕

担当者：小山 英一

- ◆**学修到達目標** ・「哲学」という言葉の成立とその意味を他者に説明することができるようになる。
・古代から近代までの西欧哲学に登場する哲学者の思想内容を他者に説明することができるようになる。
・物事を、疑いの心をもって（批判的に）、多面的に考察することができるようになる。
- ◆**授業方法** ・下記のテキスト（＋配布プリント〔当日配布予定〕）を中心に講義形式で授業をおこなう（テキストを購入すること。もっていないひとは講義も試験も受けることができない）。
・テキストを（指名して）読んでもらう（ゆっくり読みながら授業を進めていく）。
- ◆**準備学修** ・下欄の授業計画をもとに、下記のテキストの該当箇所をあらかじめ読んでおくこと。
・授業計画の（ ）内はテキストのページ。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・「哲学」という言葉の成立とその意味。 ・ソフィスト、プロタゴラスの人間尺度論（p.184, 96-98, 22, 23） ・ソクラテス、無知の知（p.24, 98, 185, 186）
2日目	・プラトン、イデア論（p.25-31, 99, 100, 187, 188） ・アリストテレス、形而上学（p.32-39, 100-102, 189, 190） ・デカルト、「我おもう、我あり」（p.64-67, 114, 115（p.217））
3日目	・ベーコン、イドラ論（p.118-120） ・カント、理性と道徳（p.76-78, 126-128, 225-227） ・ベンサムとミル、功利主義と自由（p.228-230）

- ◆**教科書** **教材**『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,350 円（送料込）※学修指導書付き
- ◆**参考書** 必要に応じて講義中に紹介する。
- ◆**成績評価基準** 試験（80%、記述式2問〔状況によって変更する場合がある〕）と平常点（20% 小レポート、小テスト、発表など）

◆英語の四技能を使って、現代社会の最新事情について考える・学ぶ【英語 C】

担当者：桶田 由衣

- ◆**学修到達目標** 現代社会の最新事情について、クラスメイトと意見交換し、多角的な視点を習得する。
- ◆**授業方法** ・reading や listening メインのテキストですが、できる限り四技能を取り入れて授業を進めていきます。簡単にですが文法事項も確認します。
・プリントを配布し、教科書の文を listening で空所補充をして頂き、適宜 reading で部分的に日本語訳も行います。
・教科書の Pre-Reading Questions, Consider the Topic そして Discussion Questions を使ってクラスメイトにインタビューやディスカッション（日本語可）等を行います。
- ◆**準備学修** 授業内で全部を扱うわけではありませんが、各 Unit の Pre-Reading Questions, Consider the Topic そして Discussion Questions に目を通しておくとういことです。
- ◆**履修条件** 特になのですが、教科書のレベルが TOEIC400 点前後です。辞書を持参してください。
- ◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1 日目	・ 授業の概要説明 ・ Unit 1, 2, 6, 7 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。 ※内容によっては、Pre-Reading Questions, Consider the Topic, Discussion Questions を行わない場合もあります。
2 日目	・ Unit 8, 9, 10, 12, 14 ・ 進捗状況によっては、簡単な復習を行う可能性もあります。 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。 ※内容によっては、Pre-Reading Questions, Consider the Topic, Discussion Questions を行わない場合もあります。
3 日目	・ Unit 16, 17, 19, 20 ・ 学習内容のまとめ ・ 試験 ※扱う Unit は変更する可能性が大いにあります。 ※内容によっては、Pre-Reading Questions, Consider the Topic, Discussion Questions を行わない場合もあります。

- ◆**教科書** 丸沼『Reading Pass 1』 南雲堂 2,484 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**参考書** なし
- ◆**成績評価基準** 小テストないしはコメントシート（50%）、試験（50%）

◆Beauty and the Beast『美女と野獣』を読む【英語基礎】

担当者：上島 美佳

- ◆**学修到達目標** ・英語の文章を読むために、必要且つ基本的な文法等を習得することを目標とします。
- ◆**授業方法** ・各日、講義形式で英文法の基礎学習を行います。その後演習形式でテキストの該当箇所を音読し、和訳してもらいます。
・受講者の様子を見ながら進行します。辞書とノートは必ず持参してください。
- ◆**準備学修** 事前に郵送されたプリントについては、できれば訳しておいてください。当日、作業時間は取りますが、単語だけでも調べておくようにしてください。（1日目に使いますので、持参してください。）
テキストはこちらで当日配布いたします。
- ◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1 日目	・ ガイダンス ・ 文法解説 ・ テキスト講読・発表
2 日目	・ 文法解説 ・ テキスト講読・発表 ・ DVD 鑑賞
3 日目	・ 文法解説 ・ テキスト講読・発表 ・ 試験

- ◆**教科書** **事前資料送付** 事前プリント有り
- ◆**参考書** 当日テキスト配布
- ◆**成績評価基準** 出席・発表・試験により、総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆中学英語をフランス語に変換します。

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：大庭 克夫

◆**学修到達目標** 英語にすれば中1レベルの内容が、フランス語で言えて・書けて・聴き取れるようにするのが目標です。また報告課題や科目習得試験の＜フランス語Ⅰ＞合格は無論のこと、＜フランス語Ⅱ＞以降の学習をする上でもその大切なベースとなるフランス語の持つルール＝規則性を徹底して身に付けてもらいます。

◆**授業方法** 中学で習う英語をベースに、基本的な単語や冠詞の使い分け、提示の仕方、動詞の人称変化などを学習します。なお下記の「準備学習」でも触れましたが、全くの初学者がわずか3日間で仏語Ⅰの内容（＝昼間スクーリング15回分）を習得することなど到底不可能です。そこで事前にぜひ「報告課題・仏語Ⅰ」に取り組んでください。

◆**準備学修** 初めて習う外国語にとって、3日間というのは実に大きなハンデです。そこで初学者の人はぜひ受講前に「報告課題・仏語Ⅰ」を提出してください。仮にそれが「不合格」になったとしても構いません。その過程で様々な疑問が生じるはずで：それをスクーリングの場でぶつけてください（事前の学習なしには「合格」は実質上不可能です）

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	フランス語のアルファベ、発音のルール／綴り字と発音との関係（重要）、基本的な可算名詞と不可算名詞、名詞の性別、不定冠詞・部分冠詞・定冠詞の使い分け、数詞（1～10）、指示形容詞、基本的な形容詞、を学習します。 ※初級仏語は「基本的な単語」（縦軸）と「動詞の活用」（横軸）との2次元から成り立ちます。初日はこの縦軸方向の学習です。
2日目	3種類の提示の仕方、主語人称代名詞、動詞＜être＞（＝be 動詞）と＜avoir＞（＝have）の活用と用例、疑問文と否定文の作り方、＜第1群規則動詞＞の活用と用例〔前半〕、副詞の語順、を学習します。なお授業最後の40分位を使って、「中間試験」（単語の聴き取り／書き取り試験）を実施します。 ※2日目は「動詞の活用」（横軸）です：仏語Ⅰで覚える動詞は3種類です。
3日目	＜第1群規則動詞＞の活用と用例〔後半〕、基本的な前置詞の整理、これまでの総復習と音声演習。 ※3日目は最後に試験を行うので、午前中新しく覚えてもらう事柄はそう多くはありません。午後は総復習と音声演習にあてて、最後に150点満点（問題数が多いので通常の100点満点では到底収まりません）の試験を行います。

◆**教科書** **事前資料送付** 授業開講前に教務課を通じてプリントとCDを配布（＝郵送）いたします。

◆**参考書** 仏和辞典を必ず1冊用意してください。引いた痕跡の一切残らない電子辞書は個人的にはお薦めできません。現在辞書をお持ちの方はそれで結構ですが、新しく購入するのであれば白水社の『Le Dico 仏和辞典』がお薦めです。

◆**成績評価基準** 中間試験（2日目）と最終試験の2回の試験の結果（＝努力の結果）で判定します。なお試験はすべて「和文仏訳」と「ヒヤリング形式」（原文をフランス語で書きとったのち和訳する）で出題します〔安直な和訳・穴埋め・択一などは一切出題しません〕。受講成果は事前学習＝報告課題への取り組み次第で大きく変わるのを忘れなく。

◆漢字に頼らない読解力

〔中国語Ⅲ・Ⅳ〕

担当者：稲葉 明子

◆**学修到達目標** 自宅学習が困難な発音を完成させながら、将来にわたって中国語を自動的に吸収し、自力で学習していくための能力を確立しましょう。正しい発音は即ち確固たるリスニング力を意味します。漢字や日本語訳に頼らず音声のみから文と文脈を自力で捉えていく力をつけます。

◆**授業方法** 講読とリスニング問題の二本立てです。中国語検定4級リスニング問題を解き、次にシートを用いて単語を音で把握した後、場面と音声から自力で内容をつかんでいく訓練を行います。初日に学習方法を示すので、二日目以降に行う小テストにむけて指示通りに復習を続けてください。

◆**準備学修** 長文読解のサンプルを事前資料で示しますので、日本語訳をノートに書いて授業に臨んでください。辞書その他、時事問題についてはインターネット検索も活用しましょう。適宜初級文法をまとめながら進めます。中国語Ⅱは習得中であっても差し支えありません。

◆**履修条件** 中国語Ⅰ既習相当の力が必要です。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	発音の導入と発声訓練（声調・母音・子音・音節） リスニング問題1「家族紹介」 長文読解1：三階式レベル学習（教科書に紹介がありますが、当日説明します）
2日目	数字・日時の言い方と時間量の問題。 リスニング問題1のディクテーションテスト リスニング問題2「レストランにて」「病院にて」等 長文読解2
3日目	数字・金額・大きな数字の概念 リスニング問題2のディクテーションテスト リスニング問題3「日常生活」等 長文読解3 教場試験 ・中国語検定4級相当のリスニング問題

◆**教科書** 丸沼『論説体中国語読解力養成講座』三階正道 東方書店 2,592円（税込）（送料300円）
〔当日資料配付〕家庭学習指示プリント・授業内プリント

◆**参考書** WEB上に様々なトレーニング用コンテンツをUPします。講習中にこの音声を用いた復習が必要になります。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、小テストなどにより総合的に評価します。試験は、リスニングが中心となります。受講前に予想できる内容ではなく、柔軟な発想が必要ですが、指示通りに取り組めば、難しいものではありません。

◆民法総則を学ぶ

〔民法Ⅰ〕

担当者：益井 公司

◆**学修到達目標** 民法総則に関し通説・判例を中心にして各制度の内容を概説する。その際、なぜそうした考えが判例・通説となっているかを各人が理解するとともに、それをうまく文章に表せるようになることを目標にしている。時効がいつも時間切れで十分説明できないので、時効からさかのぼって講義することにした。

◆**授業方法** 講義内容で進めていくが、必要に応じて学生に質問することもある。必要に応じて資料を配布する。

◆**準備学修** 事前に教科書の該当部分を読んできていただきたい。

◆**履修条件** 六法を持参すること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1 民法の学習方法、2 時効、①取得時効、②消滅時効、③時効の援用、放棄、中断、停止、④除斥期間、3 条件、期限、4 無効、取消
2日目	5 代理 ①総説、②代理関係、③代理行為、④代理の効果、⑤無権代理（表見代理と狭義の無権代理）
3日目	6 意思表示 ①心裡留保、②通謀虚偽表示（94条2項の類推適用）、③錯誤、④詐欺、強迫

◆**教科書** 通材『民法Ⅰ K20200』通信教育教材（教材コード000407）2,350円（送料込）
〔当日資料配付〕

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 試験の結果による。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆手形・小切手入門

〔商法Ⅲ〕

担当者：中村 良

◆**学修到達目標** ビジネスにおいて決済手段として利用されている手形・小切手について、その法的仕組みなどを理解すると同時に現代社会における利用実態を理解する。

◆**授業方法** 講義主体。適宜ビデオ・パワーポイントを利用する。出来る限り利用実態を紹介しながら、わかりやすい授業になるように心がける。

◆**準備学修** 民法（特に債権法）に関する基礎的な知識を有することが望ましい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①ガイダンス 講義の進め方 成績評価について ②民法の基礎知識の確認 ③契約の成立、債権債務の発生・消滅 ④決済の意味と方法 ⑤債権譲渡 ⑥手形・小切手制度概要 ⑦確認テスト
2日目	①手形小切手の経済的機能、銀行取引と手形・小切手 ②有価証券としての手形・小切手 ③手形行為・手形能力 ④他人による手形行為 ⑤約束手形の振出・白地手形 ⑥約束手形の裏書 ⑦確認テスト
3日目	①手形保証 ②支払・遡求 ③為替手形 ④小切手 ⑤まとめ・復習 ⑥試験

◆**教科書** 〔教材〕『商法Ⅲ K30700』 通信教育教材（教材コード000314）2,900円（送料込）

◆**参考書** 〔丸沼〕『手形小切手法判例百選（7版）』 2,376円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 平常点30点 確認テスト（2×10点）20点 試験50点

◆政治を観る眼を養う

〔政治学原論〕

担当者：吉野 篤

◆**学修到達目標** 政治概念の歴史的変容を、いわゆる古典古代から20世紀までたどること、および現代の政治過程のアクターの具体的分析を行うことで、政治とはどのような現象なのかを包括的に理解すること。

◆**授業方法** 基本的に講義形式で行う。時宜に応じて、ジャーナルな政治問題を主として新聞報道を素材として取り上げ、何が問題であるのかを一緒に考えたい。

◆**準備学修** 予習としてテキストを通読し、基本的な確認事項などを把握しておくことが望ましい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	古典古代（主としてプラトン、アリストテレス）の政治概念、中世ヨーロッパの政治像、近代の政治概念、社会契約説の政治史的、政治理論的意義、市民革命の政治過程、保守主義のイデオロギー、社会主義の政治理論
2日目	20世紀の政治概念、丸山真男による政治の概念化、社会科学方法論（マックス・ウェーバーの議論）、大衆社会の政治理論と社会心理学的分析、政治過程論概説、政党の概念と機能、政党システムの類型学
3日目	選挙と選挙制度に関する分析、20世紀の政治学史（シカゴ学派、行動論、脱行動論、行動論以後の研究動向、新制度論の分析枠組みなど）

◆**教科書** 〔丸沼〕『政治学』 山田光矢編著 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 基本的には試験で評価する。出席点を加味する場合がある。

◆日本古典文学を読む 〔国文学史Ⅰ〕

担当者：近藤 健史

◆**学修到達目標** 一般的な文学史的形態や概論の形態ではなく、古典文学の中から各時代における散文と韻文の代表的な作品を読む。日本の文学について興味と関心を高め、幅広く読む力を養うことを到達目標とする。

◆**授業方法** 作品を読むということを中心に、テキストに基づいて講義するという形式をとる。討論形式も取り入れる。

◆**準備学修** 一般的な文学史（手元にある）に目を通しておいて欲しい。

◆**授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕**

1日目	導入：「文学とは何か」国文学史を概観する 1. 古代文学（1）記紀と風土記を読む 2. 古代文学（2）記紀歌謡と万葉集を読む
2日目	1. 中古文学（1）源氏物語を読む 2. 中古文学（2）古今和歌集を読む
3日目	1. 中世文学（1）方丈記と徒然草を読む 2. 中世文学（2）新古今和歌集を読む

◆**教科書** 丸沼『日本古典文学』 近藤健史編 弘文堂 2015年 2,376円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験80%、討論20%

◆現代小説からさかのぼる 〔国文学講義Ⅵ（現代）〕

担当者：紅野 謙介

◆**学修到達目標** 最新の現代小説を素材に、その小説を読み解く上で必要な知識や方法を学修し、背景にある文学の興行きと文化的な記憶、そして方法的な実験性を学ぶことを通して、現代の表現や文学への接し方を身につける、そのことを通して卒業論文などへの応用可能性を探る。

◆**授業方法** 芥川賞受賞作家である滝口悠生の「愛と人生」を対象にする。そこで下敷きにされている映画や物語の枠組みを解きほぐしながら、小説の組み立てや表現の細部について議論しながら学んでいく。

◆**準備学修** 「愛と人生」を事前に読んでおくこと。

◆**授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕**

1日目	教材の初読の感想を聞くとともに、現代文学全体の見取り図、概観について講義する。小説の構成や視点、語りについて調べ、この小説のどのようなところに特色があるかを探る。もとになっている映画を見て、どのような引用、変形が行われているかを探る。
2日目	ひきつづき下敷きになっている映画やその他さまざまな物語について確認し、作者がどこに注目し、どのようなとらえ方をしているかについて考える。小説がつねに先行する文学や種々の表現から刺激を受けて成立することについて学ぶ。
3日目	この小説に見られる家族や社会に対する考え方を抽出し、そこにどのような現代的意義があるかを考える。表現の「伝統」とそこからの「超出」がどのようになされるかを読み解き、最終レポートの作成にいたる。

◆**教科書** 丸沼『愛と人生』 滝口悠生 講談社 1,836円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 丸沼『知のスクランブル』 日本大学文理学部編 ちくま新書 950円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 平常点（40%）、授業最終時間に書くレポート（60%）

- ◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解する。
 2. 英語のスペルと発音のずれに意識を置き、正確な発音を目指す。
 3. 発音記号からスペルに変換できる能力をつける。

◆**授業方法** 英語音声学の観点から母音、子音の説明を行い、項目ごとに小テストを課して習熟度を確認します。テキストには専門用語が数多く出てくるので、前もって読んでおいてください。必要に応じてプリントを配布し補足説明します。クラス全体の人数を見ながら8名から10名のグループを作り、発音練習の取り組みやプリント作成など協力しながら進めていきます。全員参加型の授業を目指します。

◆**準備学修** たった三日間で一つの学問を習得することは至難の技です。授業は必然的に内容が詰め込まれ、プリントの枚数や発音練習が多くなります。最終目的は発音記号を正確に読める力をつけることです。辞典を引くとき発音記号を意識して見るようにしておきましょう。授業には必ず辞典を持参してください。

◆**履修条件** 平成28年度東京スクーリング（6月期）「英語音声学」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	コミュニケーションにおける音声、発声器官の名称説明、Phonicsに関わるプリント配布及び解答 英語の母音について（前舌母音、中舌母音、後舌母音、二重母音）、発音練習（単語、文） 母音確認プリント配布、解答 小テスト
2日目	英語の子音について（阻害音、鼻音、接近音、子音連続）、発音練習（単語、文） 子音の確認プリント配布、解答 小テスト
3日目	母音、子音の補足説明、語強勢と文強勢の若干の説明、文章音読 小テスト 試験

◆**教科書** 『A Way to Better English Pronunciation- 英語の発音、リスニング、スピーキングへの近道』
池田紅玉・森晴代著 英潮社フェニックス 2009年
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』 川越いつえ著 新装版 CD付 大修館書店 2,592円（税込）（送料300円）
*授業では使用しません

◆**成績評価基準** 平常点（20%）、小テスト（20%）、試験（60%）

◆英語の世界をより深く知るために

〔英語学概説〕

担当者：秋葉 倫史

◆**学修到達目標** 英語を専攻する者にとって、英語を道具として使用するだけでなく、その言語がどのような仕組みを持っているのかを理解しておくことも重要です。本講座では、英語を研究する学問である英語学がどのような学問分野であるか、また言語を研究する上で必要なアプローチ方法はどのようなものがあるかといった入門的知識を導入することを目標とします。英語学のねらいとその学問の下位分類を学習することによって、英語の言語としての特徴を確認できるようにします。

◆**授業方法** 基本的に配布プリントを基に講義形式で進めます。ただし、学習内容に沿った質疑応答や、プリントの例文について発表してもらうというような演習形式の要素も適宜加えていきます。なお、授業内で使用するため、辞書（ただし、ネットワークに接続可能なものは認められない）は必ず持参すること。必要に応じて、内容・進度は調整することもあります。

◆**準備学修** 下記の授業計画のトピックに関して、事前に配布された資料に沿って、指定された参考書やその他の英語学の入門的な教材を事前に読んでおくことが望まれます。

◆**履修条件** 平成28年度東京スクーリング（5月期）第2期「英語学概説」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. ガイダンス／英語学とはなにか 2. 英語学の研究分野と方法論（1） — 音韻論・形態論・統語論を中心に学習する
2日目	1. 英語学の研究分野と方法論（2） — 意味論・語用論を中心に学習する 2. 英語史入門 — 「英語史」とはどのような研究領域か、通時的に観察される例を検証しながら学習する
3日目	1. 日英語対照研究入門 — 日英語の相違について、複数の文法項目の例を検証しながら学習する 2. コーパス言語学入門 — 「コーパス」とは何か、コーパスの種類・使用方法・研究事例等を中心に学習する 3. 試験

◆**教科書** **事前資料送付** 事前に授業プリントを配布します。

◆**参考書** **通材**『英語学概説 N30700』 通信教育教材（教材コード000400）3,100円（送料込）
〈この教材は市販の『英語学入門』安藤貞雄・澤田治美編（開拓社）と同一です〉
丸沼『日英対照による英語学概論』 西光義弘編 くろしお出版 2,700円（税込）（送料350円）
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三著 ひつじ書房 1,512円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業への取り組み（40%）を総合的に評価します。ただし、全出席を前提とします。

◆ギリシャ神話を味わう

〔西洋古典〕

担当者：大住 有里子

◆**学修到達目標** ギリシャ・ローマ神話は多くの芸術家たちにインスピレーションを与えてきました。ギリシャ・ローマ神話を始めて集大成したのが、ローマ詩人オウィディウスの『転身物語』です。本スクーリングでは現代英語に再話されたものを読み、神話の内容に親しみ、シェイクスピアが神話を素材源に取った例を紹介します。

◆**授業方法** テキストと事前に配布する Ovid の「ピラマスとシスビー」をスクーリングが始まる前に読んでおいてください。翻訳を参考にして構いません。授業で、テキストは 2、3 段落程読みあげ、要約して頂きます。予習で分からなかった点を質問して下さい。配布資料も同様に内容理解を試み、解説をします。

◆**準備学修** テキスト、配布資料を事前にすべて目を通して下さい。分からない単語を調べ、文法的にわからないところを認識して授業に臨んで下さい。実際には予定通り進まないこともあります。ご了承ください。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	1. Three Flower Legends 2. Two Animal Legends 配布資料 Ovid <i>Metamorphoses</i> の Pyramus and Thisbe と Shakespeare <i>Romeo and Juliet</i> の比較
2 日目	配布資料 Ovid <i>Metamorphoses</i> の Pyramus and Thisbe と Shakespeare <i>A Midsummer Night's Dream</i> の比較 3. Two Tree Legends 4. Two Monsters
3 日目	5. Two Heroes 6. Two love Stories 7. Cupid and Psyche 試験

◆**教科書** 〔丸沼〕『The Glory That Was Greece ギリシア神話』 James Kirkup 山田耕士註解 成美堂
1,058 円（税込）（送料 215 円）

〔事前資料送付〕 Ovid, *Metamorphoses*, Oxford World's Classics, Oxford UP, 2008. より Pyramus and Thisbe

◆**参考書** 『Metamorphoses, Oxford World's Classics』 Ovid Oxford UP 2008

〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

『転身物語』 オウィディウス・田中秀央・前田敬作訳 人文書院 1966

〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

〔丸沼〕『ギリシア・ローマ神話』 ブルフィンチ・野上弥生子訳 東京：岩波書店 1978
1,101 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表等）とテストにより総合的に評価します。

◆ Speech Communication 2

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕

担当者：ダレル ハーディ

◆学修到達目標 This course will focus on communication skills, mainly speaking and listening. The emphasis will be on using English in an authentic context and developing fluency.

◆授業方法 This course is based on a topic-based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used related to the topics. Students will then perform activities such as group tasks and role-plays which incorporate the language covered in the section.

◆準備学修 No preparation or prerequisites are required, just a willingness to communicate in English and do group work. The language and activities are set for pre-intermediate to intermediate level language ability.

◆履修条件 Students are required to attend all three days, complete a written and oral test.

◆授業計画（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	Orientation, introductions and classroom language. Topic 1 – Obligations: talking about obligations in the past and present. Review of modal verbs and expressions to express obligations and advice. Groups will decide on rules and guidelines for teachers and students at a fictitious language school.
2日目	Topic 2 – Situations and Dilemmas: review of conditional sentences to discuss consequences, imaginary situations, and express regret. Students will role-play asking and giving advice.
3日目	Topic 3 – Future Plans and Predictions: expressing probability and using time expressions. Groups will discuss life in the year 2030. Written and Oral tests.

◆教科書 Handouts will be provided.

◆参考書 A good dictionary may be helpful.

◆成績評価基準 Written test = 40%; Oral test = 40%; Participation = 20%

◆文学作品をいかに読むか

〔英米文学演習 B〕

担当者：原 公章

◆学修到達目標 英語で書かれた作品を「英語の学習」と同時に「文学作品の鑑賞」という立場からアプローチできるようにする。一作品の背後にある多くの問題に目を向ける力をつける。

◆授業方法 全5編の短編のうち、どれかを選び、全員がその作品について①英語、②あらすじ、③テーマ、④問題点を発表する。一作ごとに全員で討論していく。

◆準備学修 あらかじめテキストの5作品のうち、自分で何を選ぶかを決めてくること。またその本文を読み、理解が十分でない部分をチェックしてくること。

◆授業計画（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	E. M. Forster, "The Road from Colonus" を取り上げ、その内容を担当者が発表し、英語の問題点、抜粋の精読、テーマについて全員で討議する。最後に講師が作品についてまとめる。J. Joyce, "Araby" についても同上。
2日目	J. Joyce, "Araby" のつづき。及び次の K. Mansfield, "The Garden Party" について、同じくその内容を担当者が発表し、英語の問題点、抜粋精読、テーマについて全員で討論する。つづく D. H. Lawrence, "The Rocking Horse Winner" も同じ。
3日目	D. H. Lawrence, "The Rocking Horse Winner" のつづき。"Araby", 及びこの作品についても、最後に講師がまとめる。最後に W. S. Maugham, "Louise" についても同上。最終試験は「作品をいかに読むか」についてのエッセイを書く。

◆教科書 丸沼『Modern British Short Stories』成美堂 1,404円（税込）（送料215円）

◆参考書 それぞれの作家について必要な場合は授業内で適時紹介する

◆成績評価基準 各時間のプレゼンテーションを第一に評価する。次にその作品を討議する際の発言、参加度を見極める。最終試験は評価の40%とする。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 日本は高齢化と共に少子化、結果労働力不足に直面している。そもそも人はなぜ「働く」のか、働かねばならないのか。「生きるため」は周知のことである。その上で、今一度「労働・働くこと」の本質・根拠のようなものを明らかにすれば、「働き方」においても一つの示唆を与えることができるのではないか。過去の人々がどのように「労働」を批判し、理解したのか、各自の意識と実践において示唆するものを得てもらいたい。

◆**授業方法** 基本的に「一定ページについての（分析・批判）発表」とそれに対する「質疑応答」を中心とする。従ってこの点から授業の中では、様々な「問い・答え」の組合せ（いわゆる「対話」）方法を通して、「分析する」に加え「探求する」をも実践する。同時に受講者にはその要点・妥当性を「記述（論述）」することにより、「分析・探求」の整理を行ってもらう。

◆**準備学修** 教科書「序」「第一章」（上巻）は必ず事前に読み、著者がどのような問題意識を持ち、何を目的として本書を著したのかを理解しておくこと。更にその他の章にも目を通していき、不明・理解難な概念や表現も可能なかぎり調べておくこと。少なくとも言葉の意味等調べることが出来るよう辞典・事典類は手元に置き、いつでも調べられるようにしておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1 これからの講義について全体的説明／2 この授業における論述分の書き方／3 講義：（第1部 19世紀における精神史の歴史（序章 ゲーテとヘーゲル [第一節 ゲーテの直観的把握とヘーゲルの概念的把握]）／4 序章の整理（まとめ、問題点、批判的考察）
2日目	5 第2部 第二章 労働の問題。第一節 ヘーゲル（発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察）／6 第二節 レースラーとルーゲ（発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察）
3日目	7 第三節 マルクス（発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察）／8 第四節 クルケゴール（発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察）／9 第五節 ニーチェ（発表・質疑応答・まとめ・問題点・批判的考察）

◆**教科書** 丸沼『ヘーゲルからニーチェへ 十九世紀思想における革命的断絶』（下）レーヴィット 岩波書店（岩波文庫）1,296円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 教科書に「邦訳文献・原注・引用書誌」と示されているので、適宜参考にしてもらいたい。

◆**成績評価基準** 発表・質疑応答（60%）、授業時課題（主に論述）（30%）、その他（10%）。最終的には、以上の全体を見わたし「総合的に評価」する。

◆敗者（怨霊）から見た日本史

〔日本史入門〕

オープン受講：不可 担当者：鈴木 哲

◆**学修到達目標** 一般的に歴史の叙述は、歴史的勝者の立場からされてきたが、国家の編纂した「正史」からは知り得ない歴史的敗者としての怨霊の存在を抜きにして前近代の歴史を考えることは難しい。本講義では、多数の怨霊が日本の歴史の展開に及ぼした影響の大きさを認識するとともに、古代から中世にかけての時代に怨霊の慰霊を目的として成立した鎮魂文化の特質を理解することを主たる目的とする。

◆**授業方法** 授業中に配布したプリントに準拠して、平安から鎌倉にかけての時代の怨霊の成立と鎮魂の歴史を順次考察する。合わせて、現代の日本人の身近に存在する精神文化との関連性についても検討を加える。

◆**準備学修** 平安から鎌倉時代の政治的闘争の歴史を全体的に理解するとともに、『日本史辞典』や『怨霊とは何か』（山田雄司著、中公新書）などを参考にして、怨霊に関する基本的歴史用語について必要な知識を得ておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	導入：「日本史とは何か」 ① 怨霊史の歴史的意義 ② 怨霊出現の歴史的理 ③ 早良親王の怨霊と平安京 ④ 菅原道真の怨霊と天神信仰
2 日目	① 清和天皇と怨霊 ② 平将門の怨霊と将門信仰 ③ 紫式部伝説 ④ 陰陽師安倍清明と怨霊鎮魂
3 日目	① 崇徳院の怨霊と保元の乱 ② 源義経の怨霊と鎌倉 ③ 後鳥羽院の怨霊と承久の乱 ④ 後醍醐天皇の怨霊と南北朝の分裂

◆**教科書** 〔当日資料配付〕 当日プリントを配布

◆**参考書** 〔丸沼〕『怨霊とは何か』 山田雄司著 中公新書 820 円（税込）（送料 215 円）

◆**成績評価基準** 試験の得点を中心に、受講態度（私語・居眠り等）を加減して総合的に評価。試験 90%，受講態度 10%。

◆**学修到達目標** グローバリゼーションといわれる事態が急速に進行している中で、私たちは自分たちとは異なる社会や思想、あるいは馴染みのない慣習やルールに触れる機会が増えてきました。そして、自らの視点のみにとらわれず、自分とは異なる人々の視点を理解し、考える能力が問われています。そこで、本講義では、ルーマニアの歴史、特にその憲法の歴史を学びます。ルーマニアでは、19世紀初頭から20世紀半ばまでに憲法は5回変更されました。この5回の変更はどのような歴史的文脈の中で行われ、そしてどのような結果を生み出したのか。21世紀の日本と異なる歴史的状況を学ぶことで、受講生は自分が生きている社会や時代を相対化し、これまでに抱いていた歴史把握だけでなく、身の回りの状況についても再考することができます。

◆**授業方法** 基本的に講義形式をとりますが、必要に応じて映像教材・視聴覚資料も利用しながら、授業をおこないます。また、講義で学習した事柄に関する考え・意見を報告するといった演習的な要素も盛り込んでいく予定です。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干修正することがあります。

◆**準備学修** テキストであるジョルジュ・カステラン著（萩原直 訳）『ルーマニア史』を事前に一読しておいて下さい。また、各回の講義で配布した資料をもとに復習し、学習したことについて自分の意見を考えておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	◇ルーマニアにおける「押し付け憲法」 ロシアが主導した「憲法」である1831年の組織規定、列強の集団保障による「憲法」＝1858年のパリ協定という二つの「憲法」を中心に学びます。また、1864年に行われた国民投票を学ぶことで、「押し付け」の裏側を考えます。
2日目	◇ルーマニアにおける「自主憲法」 ルーマニア初の自主憲法である1866年の憲法と第一次世界大戦後に制定された1923年の憲法を学びます。また、これらの憲法の改正の議論も学ぶことで、「自主憲法」という表現に隠された側面について考えます。
3日目	◇ルーマニアにおける二つの独裁の憲法 1938年の国王独裁確立時に制定された憲法と1948年に共産党政権により制定された憲法を学びます。また、独裁期において「選挙・政党・議会」がどのように位置づけられたのかを学び、独裁政治と民主主義政治について考えます。

◆**教科書** 『ルーマニア史（文庫クセジュ）』 ジョルジュ・カステラン著 萩原直訳 白水社 1994年
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、平常点（50%）、試験（50%）です。平常点は第1日目と第2日目に行う授業中におこなうレポートや授業態度などをもとに評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

◆経済学入門＜ミクロ編＞ 〔経済学概論〕

担当者：続橋 孝行

◆**学修到達目標** この授業は、経済学の基本的分析要具を用いて現実に起きている経済現象を分析し、理解することを目的としております。現実の経済現象として反グローバリズム、所得格差問題、フィンテック、AI（人工知能）、第4次産業革命などを取り上げたい。

◆**授業方法** 板書を中心とした授業ですが、教員が一方的に説明し続けることは避けたいと考えております。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教員が学生に質問して課題の理解を深めたい。

◆**準備学修** (1) 新聞の経済面を読んでおきましょう。(2) 経済上の統計的数字を把握しておきましょう。(3) 図やグラフに親しんでおきましょう。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス／経済学とはなにか マクロ経済学とミクロ経済学の違い 財・サービス市場 景気・経済成長と価格分析 市場経済（需要曲線と供給曲線）
2日目	消費者行動理論（効用の極大化）について学ぶ。 基数的効用 序数的効用（無差別曲線） 所得格差問題
3日目	生産者行動理論（利潤の極大化）について学ぶ。 利益の定義、限界利益（管理会計）、売上総利益、営業利益、経常利益、 損益分岐点・操業停止点 フィンテック、人工知能、第4次産業革命

◆**教科書** 丸刈『Next 教科書シリーズ経済学入門』 山口正春・楠谷清編 弘文堂 2015
2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 当日資料配付 必要に応じて資料を配布します。

◆**成績評価基準** 筆記試験80%、「授業への取り組み」20%で評価します。

◆日本経済の課題を理解する 〔経済政策／経済政策総論〕

担当者：周藤 利一

◆**学修到達目標** 現在の日本における公共経済政策の重要な課題に対して、どのような政策認識がなされ、政策の立案、形成、決定過程を経て、どのように実施され、その効果はどのようなものであったかを実証的に分析し、評価することにより、日本の経済政策の現状と課題、今後のあるべき方向を理解することを目指します。

◆**授業方法** 講義形式で行います。経済政策の意義、経済体制の選択、経済の成長と安定、国際収支と対外関係等の基礎的理論を理解するとともに、金融政策、財政政策、租税政策、産業政策、貿易政策、企業政策、雇用・労働政策、社会保障政策等の主要な経済政策の内容を学びます。

◆**準備学修** 本講義は、初級～中級の理論レベルの内容を取り上げます。そのため、理論的知識に不安のある学生は、事前に、マクロ経済理論、ミクロ経済理論の入門レベルの書籍を読むことを推奨します。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1 経済政策序論：経済政策の意義、財の性質、経済主体、資源の配分と所得の配分など 2 国民経済論：経済成長論：国民経済の意義と原理、生産・支出・所得の計測方法など 3 国際収支と対外関係：国際収支の構造、外国為替市場と為替レートなど 4 金融政策論：管理通貨制度、金融システムの意義、マネーサプライなど
2日目	5 財政政策論：財政制度の意義、財政投融资、裁量的財政政策、財政再建など 6 租税政策論：租税の機能と効果、租税の基本原則、租税の分類、税制の課題など 7 貿易政策論：比較生産費モデル、垂直分業と水平分業、WTOルール、EPA、TPP等
3日目	8 雇用政策論・労働政策論：労働力及び労働の需要と供給の構造、労働条件の改善など 9 社会保障政策論：私的保障と公的保障、財源の調達、社会保険と公的扶助など 10 社会福祉政策論：社会福祉の供給体制、政府の役割、経済政策と社会政策の関係 11 資源・エネルギー政策論：世界のエネルギー事情、省エネ対策、福島原発事故以後のエネルギー政策

◆**教科書** 当日資料配付 教科書の指定はありません。当日、資料を配布します。

◆**参考書** 講義で紹介します。

◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30%

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** 財政学の歴史、理論、政策の各局面について総論的に理解できるようになることを目的とする。すなわち、スミス、ワグナー、ケインズ、マスグレイブによる財政学の歴史的な意義を学び、基礎的な財政理論として IS/LM 分析の意味と、財政政策による経済上の効果を解明でき、我が国の歳入としての租税・公債制度、及び歳出としての予算編成過程まで正確に説明できるようになること、が目標である。

◆**授業方法** 基本的に板書による講義形式により、時限毎にテーマを定めた授業を進めていく。但し、教員の拙い板書だけでは理解不十分となる部分が残るため、できる限りノート・メモを多用されたい。また、受講者の関心や財政政策の近年の動向も適宜取り入れ、多角的な学習も心がけたい。さらに、必要に応じて財務省などの公表資料に基づいた最新の情報や統計データも適宜配布して、より具体的に授業を行う予定である。

◆**準備学修** 政府の経済活動たる財政学は、多様な関心を有する国民のあらゆる視点からの勉強の関連づけが可能である。復習する場合には、財政学の史的展開は経済史のテキストより、財政理論の理解はマクロ経済学のテキストより、我が国の財政政策の理解は財務省のHP等より、それぞれ積極的に調べて意味をよく理解しておくこと。

◆**履修条件** 前年度までの同講座と重複する箇所はあるが、積み重ねを認める。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	財政学の意義、財政の3機能、古典学派、歴史学派、重商主義、自由主義、帝国主義、市場の失敗、公共財、フィスカルポリシー ※まず、財政学の社会科学における意義とその機能を基本から学び、今日の財政学の役割を理解する。続いて、財政学の歴史的な生成・発展段階を重商主義から現代までを考察していく。
2日目	三面等価理論、有効需要理論、乗数理論、流動性選好理論、所得仮説、45度分析、IS/LM分析、ケインズの罫、クラウディングアウト、総需要・総供給分析 ※ケインズ財政学の伝統的な基礎理論として、国民所得決定の理論から、財政政策と金融政策の効果までを数学的、視覚的に理解する。
3日目	予算機能、予算原則、一般会計、補正予算、ゼロベース予算、予算循環、所得・消費・資産課税、公債理論 ※我が国の予算編成過程を時系列に分析し、予算の持つ意義や日本の予算策定の問題点を具体的に指摘しつつ、歳入における租税制度と公債制度、及び、歳出におけるスリム化や財政再建と東日本大震災後の日本財政の現状について学ぶ。

◆**教科書** **〔当日資料配付〕** 初回授業時にプリント配布

◆**参考書** **〔丸沼〕**『図説 日本の財政 平成28年度版』窪田修編著 東洋経済新報社 2,808円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 最終試験50%、授業中のミニテスト30%、平常点20%。全授業出席を前提として評価する。
（頻繁な遅刻・授業中のスマホ弄りは、平常点だけでなく、テストにも悪い影響を与えていると考えます）

◆保険の課題を考える

〔保険総論〕

担当者：岡田 太

◆**学修到達目標** はじめに市場経済における保険の役割を説明します。次に、保険をめぐる人々の行動を学びます。そして保険商品の特色と保険会社のビジネスモデル分析を通じて保険ビジネスについて実践的に理解します。あわせて、授業内でグループワーク、プレゼンテーションおよび発表を行い、現代の保険ビジネスの課題を深く理解することを目指します。

◆**授業方法** 講義とグループワークの2本立てです。講義は、スライドによる説明が中心ですが、適宜練習問題を通じて知識の習得を行います。グループワークは3～4人でグループを作成し、テーマを選択し、レポート作成、発表、ディスカッションおよびレポートを作成します。最後に、授業のまとめ、復習を行い、テストを実施します。

◆**準備学修** 講義については事前に送付した資料を精読してください。また、参考書をあわせて読むと理解が進むでしょう。グループワークは、計画書、レポート（1人2000字以上）、プレゼン等があります。その準備に相応の時間が必要です。ノートPCがあると便利です。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	講義 I 市場経済における保険の役割を学ぶ なぜ社会に保険（制度）が存在するかを学ぶことが目的です。 II 保険をめぐる人々の行動を学ぶ（1）（2） なぜ人は保険に加入するのか、また私的情報による逆選択とモラルハザードについて説明し、保険の存在が人々の行動を変えることについて学びます。 グループワーク ①②テーマの決定、計画書の作成、課題の確認
2日目	講義 III 保険商品の特色 保険商品の考え方について、機能、保険契約、サービスなどの視点から学習します。 IV 保険会社のビジネスモデル分析（1）（2） ビジネスモデルの概要を学んだ後、具体的な保険会社のビジネスモデルについて考察します。 グループワーク ③④テーマの決定、計画書の作成、発表の準備、レポート作成
3日目	V 保険業の今後 復習、テスト グループワーク ⑤プレゼンテーション、⑥グループディスカッション

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリント配布

◆**参考書** 丸沼『はじめて学ぶリスクと保険』 下和田功他著 第4版 有斐閣 3,024円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** レポート（30%）、プレゼンテーション（10%）、平常点（10%）およびテスト（50%）により、総合的に判断します。

◆マーケティング基本事項と理論の理解

〔マーケティング〕

担当者：雨宮 史卓

◆**学修到達目標** 製品にまつわる競争優位の源泉は、時代とともに大きく変化している。それによって、マーケティング戦略の進め方も大きく変化してきた。近年、強まっていた消費者の低価格志向による価格競争は、広告費の減少やメディア戦略の見直しを迫っているのが現状である。このような状況下で、本講義はマーケティングを深く理解するための前提となる、基礎的な知識を体系的に解説する事を目的とする。

◆**授業方法** 初日はテキストに沿いながらマーケティングの基本機能を解説し、二日目以降は、必要に応じて資料を配布して企業の戦略事例を織り交ぜてマーケティング理論を解説する。また、二日目の後半は、テストの解答方法を解説し、質問を受け付ける。そして、最終日は簡単なテストを実施する。

◆**準備学修** 指定のテキストを前もって読んでおくのが望ましい。ノートは必ず持参すること。

◆**履修条件** 平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「マーケティング」及び平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「マーケティング」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	製品をより多く、より効率的に販売するためには、市場をどう捉えるか（市場戦略）、価格をどう設定するか（価格戦略）、プロモーションをどうするか（販促戦略）、といったマーケティング戦略の基本概念について解説する。また、日本市場におけるマーケティング活動が時代の変化に伴い、どのように変遷してきたかについても考察する。
2 日目	近年ではマーケティング戦略の中でブランド戦略という新たな領域が築かれている。その戦略がブランドを基点として行われ、構築・育成を目指す活動であるならば、広告もブランドを中心として行われるコミュニケーション活動として捉える必要がある。そのため、マーケティング・フレームワークの一要素としての広告に焦点を当て、ブランドの基本的概念とその役割を学ぶ。
3 日目	現代は製品の本質的な機能だけで、企業が競争優位を勝ち取る事は不可能である。様々な製品・サービスにおいて象徴的な要素が重要視されているのが現状である。そのため、生活全体や文化といった広い視点でもマーケティング戦略の理解を目指し、消費者を生活者として考察する事の重要性を解説する。また、マーケティングの今後の課題、方向性についても考察する。

◆**教科書** **通材**『マーケティング S30500』通信教育教材（教材コード 000182）2,250 円（送料込）
当日資料配付 必要に応じて当日、資料を配布する

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として評価します。テスト（70%）、平常点（30%）

◆現在の教職を理解し、よい教員になる

〔現代教職論〕

担当者：羽田 積男

◆**学修到達目標** この授業の学修到達目標は、現在の教員に必要な教職に関する基礎的・専門的な教養を身に付けさせることである。この授業は、教職課程における入門的な科目であるので、教育の原理的な理論や学校現場に必要な実践的な知識をも広く説く。現在の教員のおかれた立ち位置を自覚させ、教職への強い志向と持続する意思を合わせて受講者の内部に定着させ、学校において適切な学習指導が行えるよう準備させる。

◆**授業方法** 授業は、教科書を用いて主として講義法で進めるが、双方向の授業にも取組む。アクティブラーニング等の方法には適宜に取組み駆使して授業を進行する。受講者は積極的に授業に参画し、発言し、討論に加わることが期待されている。事前に参考書にも目を通しておくことが求められている。スマートフォンを利用する。

◆**準備学修** 先ず、教科書に目を通しておくことが緊要であるが、下に示した「授業計画」に沿って学んでおくこと。また教科書の第7章「教職への進路」も熟読しておき、今後の自身の成長の糧とすることが望まれる。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	1. 授業オリエンテーション 2. 教職の意義 3. 学校と教員の歴史 4. 教員の養成	教職とは 教職の意義 戦前の師範教育と教員像 戦後教育改革と教員像 大学の教職課程とその内容
2日目	1. 教員の仕事と役割1 2. 教員の仕事と役割2 3. 教員の資質と能力 4. 教員の地位と身分	学習指導と教育課程等 進路選択に資する各種の機会の提供等 資質と能力とは 教職の専門性等 教員の身分 教員の服務及び身分保障等
3日目	1. 教員の研修 2. 教職への進路 3. 総合討議 4. 試験	教員の資質能力の形成と研修等 未来を切り拓く教員 学び続ける教員へ 現在の教育問題と教員

◆**教科書** **通材**『現代教職論 T10100』 通信教育教材（教材コード 000541）2,800 円（送料込）※学修指導書付き

◆**参考書** **丸沼**『教師が育つ条件』 今津孝次郎 岩波新書 2012 年 799 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『新しい学力』 斎藤孝 岩波新書 2016 年 885 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『専門家として教師を育てる』 佐藤学 岩波書店 2015 年 1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 成績評価は、授業の最後に実施する試験の成績、授業への参画度、特に積極的な発言・討論への参加等を総合的に評価する。特に参考書についての知見も加味される。

◆アメリカでの教員経験を活かして伝えられること〔教育の方法・技術論〕

担当者：池田 有里子

◆**学修到達目標** アメリカ滞在 10 年半、現地校教員 7 年の実体験を、現在の日本の教育と結び付け、比較しながら、様々な教育方法・技術があることを学び、より良い授業づくりと授業実践力を養っていきましょう。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で進めていきますが、皆さんからの積極的な疑問・質問・意見などを織り交ぜながら、そこから展開・発展していくディスカッションも大いに取り入れます。参加される学生には授業に関する資料の講読、日米の教育観の違いなど、臆せず前向きに取り組んでもらい、授業の内容にスパイスを効かせてもらいたいです。堅苦しい授業ではなく、楽しく、活気ある、カジュアルな雰囲気の授業を目指します。

◆**準備学修** アメリカの教育との比較をしながら進めていきたいと思いますので、普段からアメリカに関心を持ち、教育の背景にある文化や社会構造や地域性などを教育に結び付けて自分なりに考えておくことを勧めます。また、事前にお渡しする資料を 1 日目までに読み、意見や質問などできる様にしておいて下さい。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	・ガイダンス、教員・学生の自己紹介 ・教育方法の違い（日本とアメリカを社会生活・文化的背景から比較して） （資料を講読しながら大まかな相違を考える） ・アメリカと日本の大学・大学院の教育方法
2 日目	・アメリカと日本の幼稚園・初等教育・中等教育の比較（教育の方法に注目して） ・アメリカと日本の高等学校教育の比較（教育の方法に注目して） ・教育評価の方法
3 日目	・教材と教具、教育機器の利用方法 ・学生による発表、意見交換

◆**教科書** **事前資料送付** 1 日目は事前配布の資料を使います。
当日資料配付 2・3 日目は、前日の授業で配布する資料を使います。

◆**参考書** 適宜、コピーして配布します。
学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 課題の読みこなし、グループ学習や質疑応答、意見交換などの授業参加度、最終日の発表などを合わせて、総合的に評価します。

◆学習指導案をつくる

〔社会科・公民科教育法Ⅱ〕

担当者：壽福 隆人

◆**学修到達目標** 学習指導案を作成する能力を身につける。その過程で、社会科や公民科各科目が目指す教育目標を理解できるようにすることを学習到達目標とする。

社会科＝歴史分野「ペリー来航」、公民科＝倫理「ユダヤ教」の学習指導案を作成する。

◆**授業方法** 実際に学習指導案をつくる作業と解説を組み合わせる授業を展開する。さらに、作成した学習指導案をもとに模擬授業を行う。

◆**準備学修** 社会科＝歴史分野「ペリー来航」、公民科＝倫理「ユダヤ教」の学習指導案を作成するための資料を収集し、スクーリングで持参できるよう準備すること。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	学習指導案の作成方法に関する講習と実際の学習指導案を参考として作成に必要な手順、方法を学ぶ。
2 日目	社会科歴史分野学習指導案「ペリー来航」を実際に作成する。 作成された学習指導案をもとに模擬授業を行う。
3 日目	公民科「倫理」の「ユダヤ教」に関する学習指導案を実際に作成する。 作成された学習指導案をもとに模擬授業を行う。

◆**教科書** **丸沼**『歴史教育の課題と教育方法・技術論』DTP 出版 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 出席と作成された学習指導案を総合判断して評価する。

◆書法の基礎 〔かな書法〕

担当者：山本 まり子

◆**学修到達目標** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかに関する基本的事項について学習し、それらを踏まえ、創作も行う。後半は漢字の書についても少しふれる。毛筆による実践を通して書法の基礎について学び、理解を深めたい。

◆**授業方法** 平安時代の書写とされる名筆のいくつかを中心に講義・実践を行う。それらをもとに、各自、「提出作品」を制作する。「提出作品」の内容は担当者作成のプリントによる。当日は、事前に送付されるプリント等（その他、必要なものはプリントに記載）、忘れ物のないよう万全を期するように。

◆**準備学修** 当日は、書道用具一式も用意のこと（当日使用の「仮名用半紙」の枚数は100枚で十分である）。下記「授業計画」の通り、「1日目」午前中、まず、近くの書道用品店へ全員で出向き、文物を前に学ぶ。その際、用具・用材（「仮名用半紙」も含）の購入可能である。事前に送付されるプリントの内容等、授業当日前、必ずお目通しの程。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・ガイダンス ・書道用品店・古書店めぐり ・文房四宝（筆・墨・硯・料紙）・印泥等に関する基礎的事項 ・単体の基本 ・連綿の基本
2日目	・散らし書きの基本 ・創作 ・小テスト（持ち込み〈参照〉不可） ・「寸松庵色紙」の鑑賞と臨書 ・書簡文
3日目	・午前：「提出作品」、提出。 ・午後：講義形式の後、筆記試験（持ち込み〈参照〉全て可）

◆**教科書** **事前資料送付** 事前に資料を送付する。

◆**参考書** 当日、適宜、紹介する。

◆**成績評価基準** 受講状況（授業中の課題への取り組み方、積極性等）50%、成果物30%、授業内テスト20%

◆博物館の運営に関わる手法 〔博物館経営論〕

担当者：中野 照男

◆**学修到達目標** 履修する学生が、博物館の運営とそれに関わる学芸員の役割について、過去と現在の状況をつぶさに理解し、学芸員になった際の有益なミュージアム・マネージメントに対して、明確な展望を持つことができる。

◆**授業方法** 講義形式で進める。博物館の現場をできる限り具体的に説明し、現況を身近に理解できるように工夫する。学生に発表や議論を求めることがある。

◆**準備学修** 講義に関する資料を公開するので、それをもとに予習・復習をすること。興味ある展覧会や博物館等を積極的に見学し、その運営に常に注意を払うこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス、現在の博物館制度が抱える諸問題、国内外の博物館の歴史、博物館を新たに創る時に考えなければならないこと、東京国立博物館の組織と機構の変遷
2日目	博物館の経営形態の変化（英国のエージェンシーと日本の独立行政法人）、さまざまな運営形態、組織と機能、財政制度と予算、施設と設備
3日目	マーケティング、危機管理、倫理規程、広報と普及活動、運営計画の策定、自己点検評価、試験

◆**教科書** 使用しない。講義資料をデータの形で渡す。

◆**参考書** **通材**『博物館経営論 Y20400』 通信教育教材（教材コード000475）3,550円（送料込）
〈この教材は市販の『新博物館学 これからの博物館経営』 小林克 同成社 2009年10月と同一です〉
丸沼『美術館の舞台裏—魅せる展覧会を作るには』 高橋明也 筑摩書房 2015年12月
842円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 試験の成績に、予習、復習を含む授業への参加度を加味して、総合的に評価する。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第4期

日	程	授 業 時 間	備 考
8月 9日	水	各 日 9:00～17:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを設けます。
8月10日	木		
8月11日	金		

※以下の第4期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 講 条 件	受 入 限 制
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年		
C0D1	英 語 D	今滝 暢子	1	C10100	英 語 I		1 年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2 年		
				C10400	英 語 IV				
C0D2	英 語 E	山下 登子	1	C10100	英 語 I		1 年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英 語 II				
				C10300	英 語 III		2 年		
				C10400	英 語 IV				
C0D3	英 語 V	新井 英夫	1	C10500	英 語 V		2 年		
C0D4	憲 法	名雪 健二	2	K20100	憲 法		条件参照	・ 法学部のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	×
C0D5	民 法 V	矢田 尚子	2	K30400	民 法 V		2 年		
C0D6	行 政 法 II	西原 雄二	2	K31000	行 政 法 II		2 年		
C0D7	西 洋 政 治 史	渡邊 容一郎	2	L30500	西 洋 政 治 史		2 年		×
C0D8	国 文 法	阿久澤 忠	2	M30300	国 文 法		2 年		
C0D9	国文学講義Ⅱ(中古)	笹生 美貴子	2	M306S0	国文学講義Ⅱ(中古)	×	2 年		
C0DA	漢 文 学 I	本間 直人	2	M31500	漢 文 学 I		2 年		
C0DB	英米文学概説	野口 肇	2	N20300	英米文学概説		条件参照	・ 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。	×
C0DC	英 作 文 II	アレックスブラウン	2	N30500	英 作 文 II	×	2 年	・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オー プン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0DD	英語学演習 B	田中 竹史	1	N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習Ⅱ				
				N403S0	英語学演習Ⅲ				
C0DE	英米文学演習 C	堤 裕美子	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
C0DF	宗教学基礎講読	小林 紀由	2	P30100	宗教学基礎講読		2年		
C0DG	倫理学特殊講義	金子 佳司	2	P312S0	倫理学特殊講義	×	2年		
C0DH	日本史概論／ 日本史概説	小形 利彦	2	K32200	日本史概論		2年	・法学部のみ申込可。	
				Q30200	日本史概説		2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。	
C0DJ	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	坂口 明	1	Q405S0	西洋史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				Q406S0	西洋史演習Ⅱ				
C0DK	日本経済史	飯島 正義	2	R30500	日本経済史		2年		
C0DL	情報概論 A	中村 典裕	2	R32300	情報概論		2年		
C0DM	経済地理学／ 経済地理	井村 博宣	2	R32600	経済地理学		2年	・法・文理・経済学部のみ申込可。	×
				S32200	経済地理		2年	・商学部のみ申込可。	
C0DN	国際金融論	谷川 孝美	2	S31200	国際金融論		2年		
C0DP	教育制度論	長嶺 宏作	2	T20200	教育制度論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0DQ	特別活動論／ 特別活動の研究	今泉 朝雄	2	T21500	特別活動論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
				T21600	特別活動の研究				
C0DR	英語科教育法Ⅲ	市川 泰弘	2	T30300	英語科教育法Ⅲ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
C0DS	文化人類学	服部 慶亘	2	Y21300	文化人類学		2年		

◆アカデミック・ライティングの基礎を身につける

〔英語 D〕

担当者：今瀧 暢子

◆**学修到達目標** 大学レベルの英語小論文（エッセイ）について、その書き方の基本を身につけることをねらいとしています。主張を論理的に伝えることは、分野を問わず全ての大学生に必要な技術です。多くの演習を通して、説得力ある文章を書く力をつけましょう。

◆**授業方法** 講義と演習を組み合わせで進めます。各種のエッセイの書き方を学習した後、具体例を分析し、理解を深めます。事前に書いてきた論文を学生同士で添削しあい、授業内での演習につなげます。

◆**準備学修** 事前送付するプリントに目を通し、その指示に従って英文エッセイを書いてください。
1 日目の授業で使用するので、持参してください。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	1. ガイダンス 2. エッセイの種類と基本構成 3. 「手順を説明する」講義・発表・演習 ※事前学修として書いてきたエッセイを使用し、ペアワークを行います。 ※受講者の様子を見て内容と進度を調整するので、シラバスはあくまで参考です。
2 日目	1. 「原因と結果を記述する」講義・発表・演習 2. 「自分の主張を整理し、論証する」講義・発表・演習 3. 「物事の分類について論じる」講義・発表・演習 ※文法事項や使用する表現についても適宜説明します。
3 日目	1. 「題材に対する自分の考えを論じる」講義・発表・演習 2. まとめ 3. 試験

◆**教科書** **事前資料送付** **〔当日資料配付〕** 事前及び当日にプリントを配布します。

◆**参考書** 和英辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。
〔丸沼〕『Effective Academic Writing 3: the essay 2 版』 Jason Davis, Rhonda Liss 著
Oxford University Press 3,628 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 試験（60%）、授業に取り組む姿勢（40%）より評価します。
全日程への出席と事前学修を前提として評価します。

◆基礎英文法の向上を目指す

〔英語 E〕

担当者：山下 登子

◆**学修到達目標** 英語学習において基礎となる文法力と語彙力を見直すことで、英語四技能の総合的な習得向上につなげることを目標とする。

◆**授業方法** 初日にグループ分けを行い、グループ活動を中心にした演習形式である。文法事項を確認した上で、グループで練習問題の答え合わせ・板書・発表を行う。授業時に問題点を確認できるように、また円滑にグループ活動ができるように、必ず予習を行うこと。学習範囲は Unit 1, 2, 3, 7, 8, 9, 10。その他の Unit はグループ課題を課す予定。

◆**準備学修** 辞書などを参考にしながら分からない単語などの下調べを行い、事前に学習範囲の理解を行ってください。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	・ガイダンス（授業について、グループ分け） ・Unit 1（現在形、現在進行形） ・Unit 2（過去形、過去進行形）・Unit 3（未来形） ・グループ課題作成
2 日目	・Unit 7（受動態）・Unit 8（不定詞） ・Unit 9（動名詞）・Unit 10（分詞） ・グループ課題作成
3 日目	・グループ課題発表 ・まとめ及び質疑 ・試験

◆**教科書** **〔丸沼〕**『English Quest-Intro』 酒井志延他著 桐原書店 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 中型以上の英和辞書（電子辞書可）

◆**成績評価基準** 予習・発表・受講状況・グループワーク（50%）、試験（50%）。毎回出席することを前提として評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆現代英国小説入門：マーガレット・ドラブルの『礪臼』を読む〔英語V〕

担当者：新井 英夫

◆学修到達目標 現代英国において活躍している英国人女性作家マーガレット・ドラブルの代表作『礪臼』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。

- ①現代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度のものであるかを知ることができるようになる。
- ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
- ③作品の構造、人物関係等を明確に説明できるようになる。
- ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。

◆授業方法 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたいです。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」とことと「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらうべく、小説の読み方も丁寧に指導します。文学専攻（英文学）で学ぶ学生たちの「入門講座」となるように授業を展開できればと考えています。

◆準備学修 参考書に挙げてある翻訳、マーガレット・ドラブルの『礪臼』を読み、小説のあらすじを理解しておいて下さい。事前学習段階では必ずしも原書で読む必要はなく、翻訳を活用しても構いません。なお、翻訳は現在絶版になっていますので、古書店で購入するか、大学図書館、地元図書館等で借りるなどして入手して下さい。翻訳は授業で参考に用いることがあります。

◆履修条件 平成26年度夏期スクーリング「英語V」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス 第1章から第5章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
2日目	第6章から第12章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
3日目	第13章から第17章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。

◆教科書 当日資料配付

◆参考書 『礪臼』 マーガレット・ドラブル著 小野寺健翻訳 河出文庫 1980
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
『The Millstone』 Margaret Drabble London: Penguin 2010
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆成績評価基準 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき10点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から15分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が0点を下回る場合には、0点として評価します。

◆憲法を考える

【憲法】

オープン受講：不可 担当者：名雪 健二

◆**学修到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で、憲法をすることは極めて重要である。

憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

◆**準備学修** 3日間の授業計画が記載されているので、授業を理解する前提として、教科書をよく読んでおくこと。授業範囲内における専門用語については、法学（法律学）辞典を引き、その意味を正確に理解しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	憲法の学び方、憲法の内容、憲法の分類、日本国憲法制定の法理、日本国憲法の構造、日本国憲法の基本原理、天皇、基本的人権一人権総論
2日目	基本的人権（精神的自由権）、国会の憲法上の地位、衆議院の解散。議院の権能（自律権、国政調査権）、内閣総理大臣の憲法上の地位・権能、違憲審査権
3日目	基本的人権（経済的自由、人身の自由）、社会権、国会の権能（憲法改正）、内閣の総辞職、総括

◆**教科書** 丸沼『日本国憲法』 名雪健二 有信堂 3,780円（税込）（送料350円）

◆**参考書** 『三訂日本国憲法要論』 廣田健次 南窓社
 〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください〉
 丸沼『憲法第6版』 芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店 3,348円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 授業態度・小テスト（1回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

◆家族法を基礎から学びましょう

【民法V】

担当者：矢田 尚子

◆**学修到達目標** この講義では、民法の中でも親族・相続法（家族法）とよばれる分野の基礎的・体系的な理解を身につけてもらうことを目的とし、家族法の基本的概念を正確に修得することを目標とします。ここで扱う内容は、近時、新たな法的な動きが生まれ、検討すべき事柄の多い領域でもあります。そこで、この講義では、生殖補助医療・事実婚など新たなトピックにも言及しつつ、家族の今について、皆さんと共に考えていきます。

◆**授業方法** レジュメを配布し、講義形式で進めていきます。

◆**準備学修** レジュメも参考にしながら、テキストの該当箇所を読んでおくこと（授業範囲の専門用語を事前に調べて意味をよく理解することが望ましい）

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス（条文の読み方、法律用語の確認）、家族法入門、親族法総論、夫婦関係（婚姻の成立、婚姻の一般的効果・財産的効果（夫婦財産制）、離婚の成立、離婚の効果・DV・無戸籍児問題）、婚外関係（内縁・事実婚）、親子関係①（実親子関係：嫡出子・非嫡出子・準正） ※親族法の中でも、重要な概念である夫婦関係及び親子関係の基本について学んでいきます。
2日目	親子関係②（養親子関係、生殖補助医療）、親権（親権に服する者、親権者、内容、児童虐待）、後見・扶養、相続法総論（意義、開始原因と場所、推定相続人の地位、相続回復請求権、祭祀承継）、相続人と相続分（意義、相続人の種類と順位、相続欠格、廃除、法定相続分、指定相続分、代襲相続人の相続分、特別受益者、寄与者の相続分） ※親子関係、老親の扶養など親族法の残りの箇所及び、相続法の基礎的概念を学びます。
3日目	相続の効果、遺産分割（意義、実行、分割の基準と方法、効力、対象）、相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在、遺言（意義、普通方式、特別方式、一般的効力、遺贈、遺言の執行、遺言の撤回・取消し）、遺留分（意義、遺留分権利者と遺留分割合、算定、遺留分減殺請求権の行使） ※遺産相続、遺言、遺留分など、相続法の基本を引き続き学んでいきます。その際、現在、議論されている相続法の改正についても触れたいと思います。

◆**教科書** 通材『民法V K30400』 通信教育教材（教材コード000059）2,450円（送料込）
 当日資料配付

◆**参考書** 丸沼『民法判例百選3 親族・相続（別冊ジュリストNo.225）』 水野紀子・大村敦志編 有斐閣
 2015年 2,268円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 最終（期末）試験（100%）。毎回出席することを前提として評価します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆行政救済法を基礎から学ぼう

〔行政法Ⅱ〕

担当者：西原 雄二

◆**学修到達目標** この授業では、現代行政における活動形式の多様化に対応した国民の権利救済制度について、できる限り具体的な事例を取り上げて解説する。行政救済法は、行政作用のあり方を考える上でも重要である。そこで、国や地方公共団体等の活動から、何らかの不利益を我々が被った場合に、その不利益を解消する手段を理解することを目標とする。

◆**授業方法** 主に講義形式で行う。ただし、受講生ができる限り主体的に授業に参加し、理解を深めてもらいたいと考えているので、質疑応答の形式をとることもある。

◆**準備学修** 短時間で授業を行うため、その場で初めて授業の内容に触れたのでは、なかなか理解ができない内容もある。したがって、毎回事前に教科書の該当箇所を読んでおくことが前提となる。その際には、当該箇所に出てきた専門用語は、法律用語辞典等で調べておくことが望ましい。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	①ガイダンス ②行政救済法の概要 ③行政不服審査法1 ④行政不服審査法2 ⑤行政不服審査法3 ※行政救済法には、大別して「行政争訟」と「国家補償」があり、それぞれの意義を把握する。さらに、行政争訟には行政不服申立てと行政事件訴訟、国家補償には国家賠償と損失補償があり、それぞれの意義を理解する。
2日目	①行政事件訴訟法1 ②行政事件訴訟法2 ③行政事件訴訟法3 ④行政事件訴訟法4 ⑤行政事件訴訟法5 ※行政救済法の中で、大きなウエイトを占める行政事件訴訟法において、どのような訴訟類型があるのかを理解する。その中でも中心的な取消訴訟について十分な理解を深めてもらいたい。
3日目	①国家賠償法1 ②国家賠償法2 ③損失補償1 ④損失補償2 ⑤試験の実施 ※国家賠償と損失補償について、それぞれの意義を理解する。さらに、どちらの制度によっても救済が難しいとされる「国家補償の谷間」についても、その解決策を考える。

◆**教科書** 丸沼『行政法（第3版）』池村正道編 弘文堂 2017年2月 3,024円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験（100%）。ただし、毎回出席することを前提として評価する。

◆現代政治史を学ばずして、政治学の理解なし

〔西洋政治史〕

オープン受講：不可 担当者：渡邊 容一郎

◆**学修到達目標** 昨年度のメインテーマ「市民的政治体制の形成と展開」の続編として、本年度は「現代型政治経済システムの形成と展開」をメインテーマとする。具体的には、20世紀初頭から21世紀初頭までの欧米主要国の国内政治史ならびに世界政治史を採り上げる。西洋政治史を学ぶことで、現代民主政治の何が問題なのかについて、受講生が自分なりに考察し、自分の言葉で他人に説明できるようになることを目標としたい。

◆**授業方法** 基本的には毎回講義形式で授業を進めるが、受講人数次第では対話形式の授業や、課題を出して「考えさせる」授業も、可能な限り取り入れていきたい。かなり多量の板書をしながら講義をしていくので、受講生は帳面を必ず持参すること。必要に応じて、レジュメや資料、年表などを配布する。

◆**準備学修** 本年度は、テキストの後半部分（第3章～第5章）が授業範囲となる。講義の理解度を高めるため、指定されたテキストを第1章から予め熟読しておくことが受講生には求められる。なお、世界史や西洋史の知識に不安のある受講生は、テキストを読む際、「世界史事典」や「世界史資料集」などを手元に置いておくことよい。

◆**履修条件** 平成27年度夏期スクーリング「西洋政治史」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	現代政治の幕開け（現代型政治経済システムの起源について学ぶ） ・第一次世界大戦の勃発 ・総力戦体制とロシア革命 ・第一次世界大戦の終結とヴェルサイユ条約 ・ヴェルサイユ体制下のヨーロッパ ・世界恐慌とナチスの抬頭
2日目	第二次世界大戦と冷戦（両者の意義と、日本への影響について考察する） ・第二次世界大戦 ・冷戦の始まりとヨーロッパの分断 ・模索する西ヨーロッパ諸国 ・冷戦の緊張緩和とオイルショック ・新冷戦から冷戦の終結へ
3日目	冷戦の終結とグローバリゼーションの時代（現代政治の課題について考察する） ・東欧革命と民主化の第三の波 ・ヨーロッパ統合をめぐる相克 ・EU新時代と世界の行方 ・アメリカから見たヨーロッパ ・NATOの変容

◆**教科書** 教材『西洋政治史 L30500』 通信教育教材（教材コード000503）2,700円（送料込）
※学修指導書付き

◆**参考書** 必要に応じて、授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 特別な事情がない限り毎回出席していることを前提として、最終日の論述式試験の成績（100%）で評価する。

◆国文法から見える日本語と古典の姿

担当者：阿久澤 忠

- ◆学修到達目標 日本の古典作品（古今和歌集や徒然草）の言葉を対象にして、そこに内在する文法的な法則を体系的に学び、その上で助詞を中心とした付属語に対する認識を深め、古典を読解する力を養います。さらに現代語の付属語と比較してその違いや共通性を理解します。
- ◆授業方法 講義によって授業を進めてゆきますが、各項目ごとに設けてある課題（問題）を解いてゆきます。質問もその都度受け、こちらからの問いかけも多く行いたいと思います。
- ◆準備学修 1日目の授業が終了したら、この日に学んだことを確認して下さい。そこで新たな疑問が生じましたら2日目の授業などで質問して下さい。2日目の授業についても同様です。
- ◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・「文法」は言葉のどういう面を考察するのか ・「文法」に対する様々な学説―特に橋本文法と時枝文法― ・文法論の単位一文・文節・単語― ・文節の相互関係 ・課題
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の分類（品詞分類）に至るまでのプロセス ・助詞の分類とその種類（格助詞・接続助詞） ・課題
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞の種類（係助詞・副助詞・終助詞・間投助詞） ・本居宣長の助詞論『紐鏡』『詞の玉緒』― ・助動詞の分類 ・課題 ・試験

- ◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリント（資料）を配布。
- ◆参考書 指定しない。
- ◆成績評価基準 試験（90%）、授業への取り組み（10%）
毎回出席することを前提として評価します。

◆『源氏物語』『若紫』巻を読む

〔国文学講義Ⅱ（中古）〕

担当者：笹生 美貴子

◆**学修到達目標** 『源氏物語』を吟味することによって、物語の読みの広がりや解釈を学びます。また、周辺作品との関連にも触れながら、『源氏物語』の文学的位置についても考えていきます。文学作品にふれることにより、心の豊かさや、物語作品に込められたメッセージを読み取る力を養うことを目標とします。

◆**授業方法** 作品の講読というスタイルをとります。文脈の一つ一つを丹念に追いかけて作品世界を読解し、その魅力を明らかにします。1日目・2日目の最後には、感想・意見等を書いたものを提出してもらいます。また、最終日に小論文（授業内容を踏まえた上での論述）を書いてもらい、試験の代わりとします。

◆**準備学修** 事前に「若紫」巻（教科書）全体に目を通し、内容を把握しておきましょう。また、難解な語については古語辞典を用いて予習をしてください。登場人物が多く複雑なため、教科書に載っている人物系図等を参考にしつつ把握しておいてください。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	『源氏物語』に影響を与えた先行文学について。『源氏物語』の概説。 源氏物語とメディア。「若紫」巻までのあらすじについて。 「若紫」巻を読む①（古典セレクション章段区分〔1〕～〔8〕） ※「源氏物語」に関する基礎的な事項について学びます。
2日目	「若紫」巻を読む②（古典セレクション章段区分〔9〕～〔18〕） 平安時代の通過儀礼。物語における和歌の機能。『源氏物語』における漢籍の影響について。源氏物語の世界に触れる（装束・絵画・調度品）。 ※当時の貴族社会における俗信や生活習慣について学びます。
3日目	「若紫」巻を読む③（古典セレクション章段区分〔19〕～〔26〕） 『源氏物語』の現代語訳（谷崎訳・与謝野訳を中心に）について。 『源氏物語』宇治十帖の世界について。試験（小論文）を実施。 ※『源氏物語』続編世界を中心に学びます。

◆**教科書** 丸沼『古典セレクション 源氏物語②』『若紫 末摘花 紅葉賀 花宴』校注・訳者：阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男 小学館 1,728円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 多岐にわたるので、授業時に伝えます。

◆**成績評価基準** 「授業後提出の感想・意見・授業態度」40%、「試験（小論文）」60%
毎回出席することを前提として評価します。

◆基礎からの漢文

〔漢文学Ⅰ〕

担当者：本間 直人

◆**学修到達目標** テキスト所載の漢文を正確に理解できる能力を身につけることを目標とします。又、中国古代の哲学思想について、荘子の思想を中心に理解を深めます。荘子、その人の言葉は国を超え、時代を超え、現代に生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。

◆**授業方法** 上記の「学修到達目標」を達成することに留意しながら、発表形式で授業を行います。具体的には、テキストの文章、又は配布した資料の文章などを1人ずつ読んでいただきます。さらに、レポートのまとめ方についても指導します。なお、授業内で小テスト、作文などを課すこともあります。

◆**準備学修** 荘子についての参考書は、数多く出版されています。図書館、又は書店で実際に手に取り、気に入った本を読んでみて下さい。すんなりと頭に入る事柄もあれば、すぐには理解できない事柄もあることでしょう。しかしながら、そのことについて、じっくりと時間をかけ、自分の頭で考えることは、これからの学習に特に重要なことなのです。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス（研究の意義、必要性について） 漢文訓読法について 荘子の生涯、＜万物斉同＞説の概要 ※研究の意義、必要性について理解した後、漢文の基礎を学びます。又、荘子の生涯と、荘子の思想の中核をなす＜万物斉同＞の説について学びます。
2日目	＜万物斉同＞の世界、渾沌の世界の崩壊 レポートの書き方について①（司馬遷「任少卿に報ずるの書」を題材として） ※＜万物斉同＞の世界はどのように表現されているのかを見ていきます。又、レポートの書き方について、実践的に学びます。
3日目	山中の隠者としての荘子の生き方、老子と荘子の人物像 レポートの書き方について②（前回のレポートの講評などを中心として） まとめ、テスト ※なぜ荘子は、山中の隠者と呼ばれるのにふさわしいのかを学びます。又、老子と荘子、その人物像を比較します。前日に引き続き、レポートの書き方について、実践的に学びます。さらに、3日間の学習のまとめを行います。

◆**教科書** 通材『漢文学Ⅰ M31500』通信教育教材（教材コード000437）1,850円（送料込）
〔当日資料配付〕当日プリント配布。漢和辞典を用意してください。

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

◆近代劇の世界を知ろう

〔英米文学概説〕

オープン受講：不可 担当者：野口 肇

◆**学修到達目標** 講義の前半では、19世紀末から20世紀にかけてヨーロッパから世界各地に広まった近代劇の歴史と特質について、理解を深めることを目標とします。講義の後半では、アメリカの主な作家の代表的な劇を取り上げ、アメリカ演劇について理解を深めることを目標とします。

◆**授業方法** 前半では、近代劇の歴史について講義し、その後、代表的な作家の作品を取り上げます。後半では、アメリカ演劇について述べます。共に、作品のいくつかをビデオで見て、そのレポートを書いていただきます。

◆**準備学修** プリントに書かれている作家について、文学史の本などで調べておいてください。さらに、その作家の作品を前もって読んでおくといいいと思います。絶版等の場合、図書館などで調べてみてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	「英米文学とは」英米文学の概要や歴史を概観します。 近代劇について述べ、またその歴史を概観します。ヘンリック・イブセンの人と作品について述べます。
2日目	アメリカ演劇について述べます。その他、ユージン・オニール、テネシー・ウィリアムズの人と作品について述べます。
3日目	アメリカ演劇の続きで、アーサー・ミラー、エドワード・オルビの人と作品について述べます。 試験。

◆**教科書** **事前資料送付** 使用しません。プリントを事前送付します。

◆**参考書** 『現代世界演劇の展望』 大久保輝臣他著 白水社 1972
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
『現代英米の劇作家たち』 現代演劇研究会編著 英潮社 1990
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
[丸沼]『アメリカ演劇と「再生」』 長田光展 中央大学出版 2004 4,860円(税込)(送料350円)

◆**成績評価基準** 試験(70%)と、講義中にビデオで見えるいくつかの作品について提出してもらうレポートの評価(30%)を総合して、評価します。3日間の出席が条件です。

◆ English Composition 2

〔英作文Ⅱ〕

担当者：アレックス ブラウン

◆**学修到達目標** This course begins with a look at the writing process and it's structure.
The course also explores other forms of writing; creative writing, narratives, comparative essays and persuasive approaches.

◆**授業方法** We will work on developing essays through the writing process, generating ideas in group activities, organizing ideas and constructing essays all within a workshop-like environment.

◆**準備学修** なし

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	Orientation; self-introduction writing activity, free-writing. What is the writing process?, overview of various writing forms. Brainstorming essay ideas in groups, paragraph construction and formation. Draft paragraphs for essay 1.
2日目	Free-writing activity. Review of the various essay structures. Introduce essay analysis and critique. Check and revise paragraphs in groups. Organize paragraphs into essay form. Begin first draft of essay 1. Free-writing, brainstorming and organizing ideas for essay 2.
3日目	Free-writing. Creative writing activity. Check and revise paragraphs for essay 2. Begin first draft of essay 2. Essay analysis and critique for essay 2. Make revisions and prepare for final completion.

◆**教科書** No text will be required. Students will be provided with handouts.
Students are expected to bring a notebook, dictionary and folder for handouts.

◆**参考書** None.

◆**成績評価基準** Students will be graded on two essays with strong consideration on class participation and group contribution.

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ヒトのことばと言語獲得

【英語学演習 B】

担当者：田中 竹史

◆**学修到達目標** ヒトは誰でも母語を獲得することができますが、その獲得は特別な勉強や訓練なしに子供の頃にいつの間にか当たり前のようになされてしまいます。これは、たとえば計算の仕方や交通規則を身につけるためには勉強しなければならないということや、ピアノやバイオリンを弾いたりあるいは泳いだり車を運転したりするためには特別な訓練が必要になる、といったこととは対照的です。また、通常大人が外国語を身につけるのには意識的な努力が必要であるということとも対照的です。それでは、なぜ子供は特別な勉強や訓練をせずとも母語を身につけられるのでしょうか。なぜ大人は勉強や訓練なしには外国語を身につけることができないのでしょうか。そもそもヒトは一体どのような仕組みにより、極めて複雑で豊かな内容を持つ言語を身につけているのでしょうか。

本講座では、全ての生物種の中でヒトのみが持つ特殊な知識体系であることばに内在する性質、そして幼児による言語獲得の過程に触れることにより、ことばの分析方法や言語学・英語学の方法論を学ぶことを目標とします。

◆**授業方法** はじめにヒトのことばに関する基礎的知識（母語話者の持つ言語知識、言語獲得の過程、言語障害、類人猿などヒト以外の生物のコミュニケーション体系など）を講義形式により確認します。その後、テキストを題材に、受講者による担当部分の内容説明・質疑応答、教員による補足説明、という演習形式で授業を進めます。

◆**準備学修** 短期集中講座ですから、単位を修めるためには十分な準備（英語学の基礎事項・用語確認、本文和訳・内容把握）が求められます。必ず予習を行い授業に臨むよう努めて下さい。

また、今回の講座では、句の構造（X-bar）、変形規則（WH-移動）といった内容を扱うため、統語論に関する基礎的な知識が前提になります。もし不十分な場合には、必要に応じ事前に自習を済ませてください。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	初回ガイダンス 基礎知識確認
2日目	Chapter 23 A Constraint on Contraction Chapter 24 Acquisition of Wanna Contraction
3日目	Chapter 25 Principle C in WH-Questions Chapter 26 Children's Knowledge of Strong Crossover

◆**教科書** 『An Introduction to Linguistic Theory and Language Acquisition.』 Crain & Lillo-Martin
Blackwell 1999
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**参考書** 丸沼『探検！ことばの世界』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）
丸沼『ことばに魅せられて 対話編』 大津由紀雄著 ひつじ書房 1,728円（税込）（送料300円）
丸沼『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島平三著 ひつじ書房 1,512円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表・質疑応答等）とスクーリング終了後提出のレポートにより総合的に評価します。

◆演じて楽しむ！英文学の奥深さ

〔英米文学演習 C〕

担当者：堤 裕美子

◆**学修到達目標** Shakespeare 劇の有名な作品の有名な場面を読み、その映画や舞台を鑑賞した上で、受講者でいくつかの研究グループを作り、Shakespeare 劇の上演に関するルールに則りながら、衣装や舞台設定など、受講者の自由な発想で劇を上演することで、Shakespeare 作品の理解を深めることができます。

◆**授業方法** 初日午前は講義形式の授業を行い、初日の午後最後の授業から最終日午前中まで演習形式の授業、最終日午後は単位認定試験として筆記試験を行います。グループに分かれての共同研究になるので、授業での積極的な参加を求めます。共同研究ですので、受講期間中の欠席や遅刻は厳禁とします。

◆**準備学修** 円滑な授業展開のため、事前資料を郵送し、開講前に配役希望アンケートを実施して、研究チームと配役を決定します。事前資料に目を通さず配役アンケートに参加しなかった場合、3日間の受講は不可能となってしまいます。受講申し込みから7月中の、通信教育部からの郵送物の確認には十分にご注意下さい。『夏の夜の夢』と『ハムレット』両作品のあらすじを把握しておいて下さい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	午前 概要説明、当時の演劇事情、Shakespeare 作品基礎知識、台本講読 午後 3時限目（講読）：研究グループ組み合わせ発表 4時限目（講義）：台本講読 5時限目（演習）：発表練習
2日目	午前 1時限目（演習）：発表練習 2時限目（演習）：演出の工夫について各研究グループによる口頭発表 午後 3時限目（演習）：発表演習 4時限目（演習）：予行演習と調整 5時限目（演習）：予行演習と調整
3日目	午前 1時限目（演習）：発表会準備 2時限目（演習）：発表会 午後 （演習）：発表鑑賞会／（演習）：After the Stage Talk

◆**教科書** **事前資料送付** 『夏の夜の夢』と『ハムレット』の台本となるプリントを配布します。
当日資料配付 参考資料としてプリントを教室にて配布します。

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 平常点（授業での取り組み、小テスト）30%、配役の演技に対する評価 40%、レポート 30%の総合評価

◆パウロの手紙の真意をさぐる

〔宗教学基礎講読〕

担当者：小林 紀由

◆**学修到達目標** 知識：新約聖書に収載されたパウロの手紙が何を語っているのか、「信仰の立場」を離れた立場から知る。
技能：文書を読み、社会的背景や著作意図を読み取るすべを身につける。この授業は信仰生活に役立つ、あるいは宗教の深み・高みなるものを学ぶようなものではない。

◆**授業方法** テキストを読み、解釈をめぐる議論を通して、その意図をさぐる。その繰り返しで授業がすすめられる。

◆**準備学修** 新約聖書に収載されたパウロの手紙のうち「テサロニケ人への第一の手紙」「ガラテヤ人への手紙」を読んでおく。授業では他の手紙も読む予定であるが。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	講義：この授業の目標と予定 新約聖書の構造、パウロの手紙類 解釈と議論：「テサロニケ人への第一の手紙」
2日目	解釈と議論：「ガラテヤ人への手紙」
3日目	解釈と議論：「コリント人への手紙Ⅰ、Ⅱ」「ローマ人への手紙」の諸部分

◆**教科書** 『新約聖書』 日本聖書協会の口語訳あるいは新共同訳

◆**参考書** 上記以外の『新約聖書』。必要なわけではないが多様な訳があるのは望ましい。

◆**成績評価基準** 小課題 80%、授業参加度 20%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆よく生きるための国家・社会について考える

〔倫理学特殊講義〕

担当者：金子 佳司

◆**学修到達目標** この授業は、これまで哲学者たちが、よい人生とは何であり、また、人間がよい人生を生きるためにはどんな国家や社会が必要だと考えてきたかを知り、それをもとにして、学生のみなさんが自分自身の人生について深く考えることができるようになることを目標としています。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行ないますが、できるだけ受講生の方々との対話を交えながら進めていきたいと思います。また、授業中に小テストを行なって、知識の確認と整理をしながら授業を進めていきます。

◆**準備学修** 事前に教科書の第2章と第3章、第8章と第9章を読み、人生についてどのような考え方があるかを確認しておいて下さい。なお、その予習の際には、「幸福」「義務」「国家」「社会」「正義」「自由」「平等」という言葉に注意しながら教科書を読み進めて下さい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	やりたいこととやるべきこと 私たち人間は、心の中で「～したい」と思うことがある一方で、「～すべきだ」と思うこともあります。では、自分が生きたいように生きるのと、自分がこう生きるべきだと考えたように生きるのとでは、どちらがよい人生なのでしょう。この問題を検討します。
2日目	個人と社会 私たち人間が生きるためには、なぜ国家や社会が必要なのでしょう。また、私たちがよい人生を生きるためには、どのような国家や社会が必要なのでしょう。この問題を検討します。
3日目	正義・自由・平等 国家や社会が成り立つためには正義が必要ですが、その正義とはどういうことなのでしょう。また、正しい国家・社会とは、みんながそれぞれ自由に生きられる国家・社会なのでしょう。それとも、みんなが互いに平等な国家・社会なのでしょう。この問題を検討します。

◆**教科書** 丸沼『プレップ倫理学』 柘植尚則 弘文堂 1,728円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 期末試験 70%、平常点 30%（平常点は授業中に行なう小テストによって評価します。この小テストは5回行なう予定。）詳しくは、1日目の授業の初めに説明します。

◆**学修到達目標** 日本史（時代やジャンルを問わず）に興味や関心をお持ちの方を対象にした授業で、これまで日本史を履修したことのない方にも対応した内容です。原始・古代から近・現代までの概説的な学習や特設テーマ（特化した内容）を通して、日本の歩みを探究するとともに、歴史的な思考力・創造力を育むことを目標に学習します。

◆**授業方法** 日本史の授業はテキスト中心の講義になりがちですが、プレゼンテーションやDVDによる画像を参考にした授業もします。最後にグループディスカッションをおこない代表の方に発表していただきます。

◆**準備学修** 次の①から③を一つ選んでノートに200字前後でまとめてください。配布した用紙に記入の上、スクーリング期間中に提出してください。①寺社の参拝や博物館・美術館・郷土資料館などを見学した感想 ②祖父母・ご両親からお聞きした戦時中の苦労話 ③自分の近所や地域にある寺院や神社、お宝紹介など

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	導入（日本史を学ぶ楽しみ）／原始・古代 I. 原始・古代 1. 日本文化のあけぼの 2. 律令国家の形成 3. 貴族政治と国風文化 II. 中世・近世 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の成長 3. 織豊政権 特設テーマ：豊臣秀吉など統一政権出現の背景を考えてみよう (プレゼンテーション・DVDを含む)
2日目	近世・近代 I. 近世 1. 幕藩体制の確立 2. 幕藩体制の展開 3. 幕藩体制の動揺 II. 近代 1. 近代国家の成立 2. 二つの世界大戦とアジア 3. 昭和天皇と太平洋戦争 特設テーマ：日本法律学校開校式での学祖山田顕義司法大臣の演説文を読んでみよう (プレゼンテーション・DVDを含む)
3日目	近代・現代 III. 現代 1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和 特設テーマ：1. 「日本大学と学徒出陣・教職員出征」を見て戦時下の大学を考えてみよう 2. 日本大学からの学徒出陣・教職員出征についてグループディスカッションをして気づいたことや考えたことを発表しよう (プレゼンテーションを含む)

◆**教科書** **通材**『日本史概論 K32200／日本史概説 Q30200』通信教育教材（教材コード000382）
2,550円（送料込）

〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之助著（吉川弘文館）と同一です〉

当日資料配付 当日配布資料により授業計画の詳細をお知らせします。

◆**参考書** 高等学校で使用した日本史教科書（出版社問わず）や『日本史』関係市販本

◆**成績評価基準** 授業への積極的参加や提出されたレポート、質問、発表、試験などを総合的に評価して成績とします。

◆ローマの軍隊

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：坂口 明

◆**学修到達目標** ローマによる地中海世界の征服を実現し、帝国支配を支えた軍隊について、原史料（英訳）を購読することによって具体的に理解する。歴史的事実を知るだけでなく、史料にもとづいて歴史を考える能力を養う。また、西洋史を勉強する際には必須の外国語（この場合は英語）文献を読む力をつけることも、目標の一つである。

◆**授業方法** ローマ史の史料はラテン語やギリシア語で書かれているが、ここでは J.N. Shelton, As the Romans Did. A Sourcebook in Roman Social History におさめられた英訳を用いる。輪読方式でおこなうので、前もって読んでおくことが必要である。必要に応じて、適宜解説を加える。また、プリントや DVD を使用して、具体的な理解を得られるようにする。質問に関連して、ディスカッションもおこないたい。

◆**準備学修** 上に述べたように、授業では英語のテキストを輪読方式で読んでいくので、事前に予習しておくことは参加の基本的な条件である。さらに、概説的なものでよいのでローマ史の本を読んでおけば（市販の「世界の歴史」といったもので OK）、より理解が深まるであろう。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	共和政期の軍隊（マリウスの改革以前）、共和政期の「良い兵士」（テキスト 249-257 ページ） これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。
2日目	凱旋式（テキスト 257-259 ページ、追加のテキスト）、帝政期の軍隊（成功の理由、徴募、訓練）（テキスト 259-264 ページ） これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。
3日目	兵士の故郷への手紙、士官の推薦書、昇進、軍の暴動、徴募基準、徴兵忌避（テキスト 264-269 ページ）。総括、質疑 これはあくまで予定であり、質問や意見が多く出て予定通り進まなくとも差し支えない。

◆**教科書** **事前資料送付** 講読のテキストは前もってプリントして送付する。

◆**参考書** 指定しない。

◆**成績評価基準** 平常点。テキストの理解度、授業への取り組み（質問、ディスカッション）の積極性から総合的に評価する。

◆資本主義的世界体制と日本資本主義の形成

〔日本経済史〕

担当者：飯島 正義

◆**学修到達目標** 世界資本主義体制の中で日本資本主義の形成・確立過程を捉えることで戦前日本の構造的な特徴と問題点（脆弱性）について理解を深めることができます。

◆**授業方法** 講義形式。授業は、当日配布するプリントを中心に進めていくが、授業時における理解を確認するために確認プリント等を授業中に行う予定です。

◆**準備学修** 通信教材で関係する部分を予め読んでおくとう理解がさらに深まると思われます。

◆**履修条件** 平成 28 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「日本経済史」との積み重ね不可

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	幕藩体制の成立 ・ 織豊政権の経済政策 ・ 幕藩体制の経済構造と鎖国政策 ・ 農民的商品経済の発展と幕政・藩政改革
2日目	日本資本主義の形成 ・ 欧米列強のアジア進出と日本の開国 ・ 明治憲法体制の構築 ・ 日本資本主義の形成—地租改正・秩禄処分・殖産興業
3日目	日本資本主義の確立 ・ 日本の産業革命 ・ 日清・日露の「戦後経営」 ・ 確立期日本資本主義の特徴—産業構造・貿易構造 ・ まとめと筆記試験

◆**教科書** **当日資料配付** 教科書は使用しません。当日授業資料を配布します。

◆**参考書** **通材** 『日本経済史 R30500』 通信教育教材（教材コード 000416）3,550 円（送料込）
丸沼 『概説日本経済史 近現代（第3版）』 三和良一 東京大学出版会 2012 年
2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 平常点（取組み・確認プリント等）：40%、筆記試験：60%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆オフィスソフトの基本技術を習得する

〔情報概論 A〕

担当者：中村 典裕

◆**学修到達目標** 学習や仕事でコンピュータを使いこなすためには、「オフィスソフト」の利用が不可欠である。このスクーリングでは、ワードによる文書作成、エクセルによる表計算の機能を学習すると同時に、パワーポイントの実習も行う。これによって、知的作業には必須のコンピュータ利用技術の基礎を習得することが期待できる。

◆**授業方法** 本講義の中では講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの構造、歴史、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。授業の折々に小課題を課し提出する。

◆**準備学修** 日常的にコンピュータやインターネットに関する興味を持ち、新聞やテレビの報道などに関心を持つ態度が望ましい。また、すでにコンピュータなどを所有している人は、もう一度、そのマニュアル全体に目を通し、情報機器の概要を基本から把握する事が望まれる。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス、PC操作の基礎とウェブの原理と閲覧 ワードの基礎：タイピング、各種記号や特殊文字の入力、コピー＆ペースト ワードの応用：表、図形の作成、ビジネス文書（社内文書、社外文書）の作成 コンピュータの基本原則・コンピュータ技術の基礎に関する学習
2日目	ワードの総合演習：表現力のある文書の作成 エクセル入門：表計算ソフトの基礎、合計と平均を使った表の作成 エクセル活用：四則演算、グラフ基礎、IF関数、条件付き書式 エクセル応用：オートフィルタ、データベース機能、ピボットテーブル インターネットセキュリティ：コンピュータ犯罪などについて学ぶ
3日目	パワーポイント入門：プレゼンテーションの基礎と実践演習 最終課題：これまでに学習した内容を駆使して、ワードとエクセルを応用した課題に取り組む。

◆**教科書** 〔当日資料配付〕 基本的には講義初日に3日分の資料を配付する。

◆**参考書** 特に指示しない

◆**成績評価基準** 平常点（30%）、小課題（30%）、最終課題レポート（40%）。全時間受講する事を前提として評価する。

◆産業の立地について学ぶ

〔経済地理学／経済地理〕

オープン受講：不可 担当者：井村 博宣

◆**学修到達目標** 本講義では、今後経済地理学研究を進めるうえで必要となる、事象の空間的な立地展開に関する理論（法則性）の習得を目的とする。具体的には、地理学で基礎的な理論として取り上げられることの多い、チューネンやウェーバーなどの古典的立地論についての理解、習得を目的とする。

◆**授業方法** 授業は講義形式にて行う。板書と配付資料を基本に解説するが、必要に応じて適宜PC・プロジェクターを用いる。なお、配布資料は当該授業時にのみ配布する。

◆**準備学修** 授業内容に関するキーワードについて、事前に関連する文献等で調べるとともに、事後には具体的な事例を通して、理解しておくこと。わからないことを放置せず、まずは自ら調べること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	まず経済地理学の研究領域と分析方法の特色について概説し、ついで本講義にて取り上げる立地研究の動向や意義等について解説した後、最も基礎的な理論であるチューネンの立地論（チューネンの孤立国）について教授する。
2日目	チューネンの立地論について、具体的なデータを用いたシミュレーション（計算、図化作業）を通して理解を深めるとともに、同理論の現実的な検証を実施する。
3日目	ウェーバーの立地論などについて解説するとともに、同理論の現実的な検証を実施した後、まとめとして、本講義内容に関する理解度を確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配付〕 使用しない。その都度、必要に応じてプリントを配布する。

◆**参考書** その都度、授業中に紹介する。

◆**成績評価基準** 授業内試験（100%）。但し授業参画度により減点する。なお試験は持ち込み不可とする。

◆国際通貨制度の基礎を学ぶ

〔国際金融論〕

担当者：谷川 孝美

◆**学修到達目標** この講義では、外国為替制度や国際収支などの国際金融に関する基礎的な事柄や、国際金本位制、IMF体制などの国際通貨制度の歴史的な変遷、通貨危機問題などを学び、これらの理解をつうじて、現代の国際金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**授業方法** 授業計画にしたがって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基礎的な概念や国際金融制度について平易な解説をする予定です。なお、講義の進捗状況によっては授業計画が前後することもあります。また、為替レート決定などの国際金融理論については基本的に取り扱いません。

◆**準備学修** 国際金融論は金融論およびマクロ経済学の基本的な理解を前提としています。事前の準備として確認しておくこと。講義の理解を深めるためにも、授業計画にあるトピックスや専門用語について、参考書などでの予習しておくこと。また、外国為替レートなど海外市況や国際金融情勢などに、日頃から関心を持つことも大切です。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①外国為替の仕組み、②外国為替市場と為替レート、③国際収支統計と対外取引。 ※国際金融を理解するための基本的な事柄として、外国為替レートや国際的な決済の仕組み、国際収支統計などについて学びます。
2日目	①金本位制から国際金本位制、②IMF体制から為替フロート、③経済通貨同盟と欧州単一通貨ユーロ。 ※国際通貨制度の歴史的な変遷について、国際金本位制、IMF体制、為替フロートなどを学びます。
3日目	①国際金融市場、②国際協調とBIS規制、③通貨危機と国際通貨制度改革、④講義のまとめ。 ※国際金融市場とその他諸問題について学びます。

◆**教科書** 〔当日資料配付〕指定しない。当日プリント配付。

◆**参考書** 〔教材〕『国際金融論 S31200』 通信教育教材（教材コード000432）2,000円（送料込）
〔丸沼〕『国際金融のしくみ 第4版（有斐閣アルマ）』 秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣
2,160円（税込）（送料300円）
〔丸沼〕『国際金融論をつかむ』 橋本優子・小川英治・熊本方雄 有斐閣 2,268円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に、小テスト、平常点などにより総合的に評価します。

◆社会の変化と教育制度

〔教育制度論〕

担当者：長嶺 宏作

◆**学修到達目標** 本授業では社会の変化にともない教育に何が求められ、何が教育制度として具現化されたのかを考察する。日本の教育制度の構造と特質を理解し、現在の学校が、どのような制度理念によって成立、維持しているのかを批判的に考察したい。

◆**授業方法** 基本的には講義形式で授業は行う。また、下記にある準備学修にあるレポート課題を、各授業の内容を説明する前に学生に発表してもらい、必要に応じてディスカッションを行う。

◆**準備学修** ① テキストの1章を読み、学校選択制度についての意見（日米を問わず）を書いてください（A4、1枚）。
② テキストの3章を読み、新しい学習指導要領（H30年）についての意見を書いてください（A4、1枚）。
③ テキストの4章を読み、任意の自治体の教育委員会の構成メンバーを調べ、教育委員会会議の議事録を調べ、どのようなことが話し合われているかについて書いてください（A4、1枚）。
* ①は一日目に提出、②は二日目に提出。③は三日目に提出

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	公立学校再考：学校選択から考える公教育 ①ガイダンス、②学校選択制度の理論（1章）、③学校選択制度の実態、④公教育の誕生（序章）、⑤単線系と複線系：戦後教育制度の基本理念
2日目	教育制度の変遷：能力と人間像の転換 ①能力主義社会の実像、②ゆとり教育から確かな学力へ（3章）、③PISA型学力（6章）、④教育における平等（7章）
3日目	教育におけるガバナンス：最も妥当な統制とは何か？ ①教育委員会制度とは何か？（4章）、②教育における権限関係：誰が官僚か？③条件整備と学校・学級経営（2章）、④多様なニーズへの挑戦（8章）

◆**教科書** 〔丸沼〕『教育学へのアプローチ：教育と社会を考える18の課題』 北野秋男編 啓明出版
2,331円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 〔丸沼〕『解説教育六法2017』 解説教育六法編修委員会 第29年版 三省堂 2017年
2,808円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** レポート課題（60%）授業の課題等（40%）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆特別活動の基礎理論と指導方法を学ぶ

〔特別活動論／特別活動の研究〕

担当者：今泉 朝雄

◆**学修到達目標** 学校教育における重要な教育活動である特別活動について、教育課程上の位置づけや教育的な意義、構成等についての基礎を理解する。その理論的知識をもとにしながら、生徒の主体的な集団活動の計画力、指導力を身に付け、現場の教育をよりよいものに構成出来る力を培う。

◆**授業方法** 講義だけではなく、特別活動に関する様々な活動、指導方法や実践に関する学生同士の討議・分析などを採り入れ、実践的な学習を行う。それらの知識をもとにしながら課題内容を自身なりに最終レポートとしてまとめる。レポートは最終日に作成する。

◆**準備学修** まずはこれまで学校教育の中で「授業以外」でどんな集団活動をしてきたのか、それらが果たして自分にとってどういう意義があったのか（なかったのか）を具体的レベルで考えてみる。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・特別活動の基礎的理解：基礎的概念。学習指導要領上の位置づけ。教育的意義。学校集団の考え方。良い集団、悪い集団とは何か。具体的な集団経営の考え方について
2日目	・学級活動：その教育課程上の基礎的理解。話し合い活動を中心とした指導理論とその方法について。 ・学校行事・生徒会活動：その教育課程上の基礎的理解。特に生徒の主体性に着眼しながら指導方法を考察する。
3日目	・部活動：教育課程外の活動としての特質や問題性。その具体的な運営方法や具体的な指導方法について。 ・課題レポート作成／これまでのまとめ

◆**教科書** **当日資料配付** 当日資料を配付する。

◆**参考書** **通材**『特別活動論 T21500/ 特別活動の研究 T21600』 通信教育教材（教材コード000443）
2,650円（送料込）
＜この教材は市販の『最新特別活動の研究』関川悦雄著（啓明出版）と同一です＞
学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 平常点（授業時の取り組み、課題など）30%、最終日提出レポート70%

◆多様性に対応できる教員を目指して

〔英語科教育法Ⅲ〕

担当者：市川 泰弘

◆**学修到達目標** 本講義では教員となって英語を教えるときにどのようなことに注意していくべきか、また教員になるためにはどのようなことが必要なのかを考えながら、英語という教科を教える基本と実践について学習します。

◆**授業方法** グループディスカッションを中心にテーマごとにまとめてもらい発表してもらいます。したがって、事前に教科書を熟読して、積極的に講義に参加してもらいたいと思います。

◆**準備学修** 講義では事前に学習し、理解した内容に踏まえ、新たな資料等を用いて、テーマディスカッションをしてもらうこととなります。従って、教科書は事前にそれぞれのテーマに関わる部分を読み、自分でまとめてみてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	オリエンテーション・英語科教育法・学習指導要領 学習者について・英語の位置づけ・テーマディスカッション レポート作成
2日目	早期英語教育と生涯英語教育（小学校英語教育の是非、バイリンガル教育、英語特区について）英語指導の原理・第1言語習得と第2言語習得・コミュニケーション能力・テーマディスカッション レポート作成
3日目	指導ビデオでの教授法研究・英語教員について テーマディスカッション （なお内容は進度によって変わることがあります。） レポート作成

◆**教科書** **通材**『英語科教育法Ⅱ T21000』 通信教育教材（教材コード000490）3,300円（送料込）
＜この教材は市販の『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』JACET 教育問題研究会編（三修社）と同一です＞

◆**参考書** **丸沼**『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えミクロに対処する』 金谷憲著 大修館書店
1,944円（税込）（送料300円）
丸沼『Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (3rd Edition)』
Brown, H.D. Longman 5,389円（税込）（送料350円）
学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 出席・発表・レポートなどで総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆我々はなぜ日本人なのか？

〔文化人類学〕

担当者：服部 慶亘

◆**学修到達目標** 人間についての総合的研究—それが文化人類学である。そしてまた、文化人類学は各地の様々な文化や社会などを比較する学問でもある。グローバル化が進む現代において「自分とは異なる現象」を「比較」することは、すなわち自分自身を知ることにもつながる。そのような視点を養いつつ、「文化」と「パーソナリティ」の関連性を総合的に理解する基礎を3日間で身に付けるのが、本講義の目標である。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。

◆**準備学修** 特別な予習は必要としないが、講義で紹介された事例・理論・概念などを自分自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）した上で、次の講義にのぞんでほしいと思う。文化人類学を単なる「机上の学問」としてではなく、日常の（あるいは自分自身の）あらゆる場面と密接に関連した学問としてとらえてほしい。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	講義目標・目的の確認、文化人類学の学問的位置づけ、人間の動物学的特徴、「文化」(culture)と「パーソナリティ」(personality)の概念・機能 ※文化人類学を学ぶ上で必要な態度を再確認し、その上で我々人間がどのような存在であるのかを理解する。さらに、「文化」(culture)と「パーソナリティ」(personality)がどのような関係性を持つのかを考える。
2日目	「文化とパーソナリティ」の実際について考える ※「男性と女性（ジェンダー問題）」「県民性」「国民性」など、我々の日常生活と深く関係している現象とその現実について考える。
3日目	「日本人」について考える ※2日目で語られた内容を継続・応用しながら、我々日本人の行動思考様式について理解する。

◆**教科書** 丸沼『補強版ストレス・スパイラル』服部慶亘 人間の科学社 1,296円（税込）（送料300円）

通材『文化人類学 Y21300』通信教育教材（教材コード000424）2,950円（送料込）

※学修指導書付き

◆**参考書** 〔当日資料配付〕当日プリント配布

◆**成績評価基準** 終講試験（70%）、受講態度（20%）、レポート類（10%）で評価する。

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第5期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月12日	土	各 日 9:00～17:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを設けます。
8月13日	日		
8月14日	月		

※以下の第5期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	
C0E1	歴 史 学	下川 雅弘	2	B11100	歴 史 学		1年	
C0E2	英 語 F	天野 暁子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III		2年	
				C10400	英 語 IV			
C0E3	英 語 G	アレックスブラウン	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～Ⅳのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III		2年	
				C10400	英 語 IV			
C0E4	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	志田 慎	1	D10100	ド イ ツ 語 Ⅰ		1年	・ Ⅰ, Ⅱのどちらに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				D10200	ド イ ツ 語 Ⅱ			
C0E5	商 法 Ⅰ	小菅 成一	2	K30500	商 法 Ⅰ		2年	×
C0E6	法 哲 学	高須 則行	2	K318S0	法 哲 学	×	2年	
C0E7	国際政治学／ 国際政治論／ 国際政治学概論	大八木 時広	2	L30200	国 際 政 治 学		2年	・ 法・文理学部のみ申込可。
				R32700	国 際 政 治 論		2年	・ 経済学部のみ申込可。
				S33200	国際政治学概論		2年	・ 商学部のみ申込可。
C0E8	国 文 学 概 論	武藤 純子	2	M20200	国 文 学 概 論		条件 参照	・ 国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込 可。
C0E9	国文学講義Ⅳ(近世)	佐藤 至子	2	M30800	国 文 学 講 義 Ⅳ (近 世)		2年	
C0EA	国文学演習 A	藤平 泉	1	M404S0	国 文 学 演 習 Ⅰ	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅵのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国 文 学 演 習 Ⅱ			
				M406S0	国 文 学 演 習 Ⅲ			
				M407S0	国 文 学 演 習 Ⅳ			
				M408S0	国 文 学 演 習 Ⅴ			
				M409S0	国 文 学 演 習 Ⅵ			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
C0EB	英 文 法	山岡 洋	2	N20200	英 文 法		条件 参照	・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可	
C0EC	アメリカ文学史	北原 安治	2	N30200	アメリカ文学史		2年		
C0ED	英米文学特殊講義	新井 英夫	2	N31200	英米文学特殊講義		2年		
C0EE	英語学演習 C	小澤 賢司	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0EF	英米文学演習 D	榎本 義子	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0EG	倫理学基礎講読	関谷 雄磨	2	P30200	倫理学基礎講読		2年		
C0EH	東洋思想史Ⅱ	梅川 純代	2	P30700	東洋思想史Ⅱ		2年		
C0EJ	哲学演習 B	吉岡 司郎	1	P401S0	哲学演習 I	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのいずれに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				P402S0	哲学演習 II				
C0EK	古文書学	中村 順昭	2	Q31700	古文書学		2年		
C0EL	考古学演習Ⅰ・Ⅱ	西野 吉論	1	Q407S0	考古学演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのどちらに該当させる のか充当科目コードを必ず 記入してください。	
				Q408S0	考古学演習Ⅱ				
C0EM	情報概論 B	一島 力男	2	R32300	情報概論		2年		
C0EN	貿易論	岡田 直己	2	S30400	貿易論		2年		
C0EP	交通論	針谷 莊司	2	S30700	交通論		2年		
C0EQ	会計学	林 徳順	2	S32800	会計学		2年		
C0ER	国語科教育法Ⅲ	野澤 拓夫	2	T30100	国語科教育法Ⅲ	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0ES	英語科教育法Ⅳ	岡田 善明	2	T30400	英語科教育法Ⅳ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0ET	生徒指導・ 進路指導論	宇内 一文	2	T30500	生徒指導・ 進路指導論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
	教職実践演習②							・ポータルサイトより申込し てください。	×

※教職実践演習②受講希望者は、日程が重複するため、第5期の開講講座を受講できません。

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆戦争と平和から見直す日本の歴史

〔歴史学〕

担当者：下川 雅弘

◆**学修到達目標** 日本の中世において、内乱が繰り返されたのはなぜか。戦争の中世を、人々はどのように生き抜いたのか。日本の近世において、泰平の世はいかにして創出されたのか。近世の平和を、人々はどのように享受したのか。日本が、再び戦争の近代へと向かったのはどうしてか。中世から近代初頭に至る日本史を、戦争と平和をキーワードに読み直すことを通じて、歴史を学ぶことの現代的な意義や面白さを発見してもらいたい。

◆**授業方法** 事前に配布するプリントや、パワーポイントにより適宜紹介する写真・地図・図表などを用いて、講義形式により授業を展開する。テーマごとに講義内容に関する質問を行い、プリントの所定欄に記入してもらった回答を紹介することを通じて、受講者の基礎知識や理解度を確認しながら講義を進めていく。

◆**準備学修** 講義は必ずしも時代順に展開するわけではなく、また、特定の参考書も指定しないので、少なくとも中学で学習したレベルの日本史の基礎知識（時代の大まかな流れなど）については、年表などを用いて復習した上で授業に臨んでほしい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	【はじめに】戦争の中世と平和な近世（ⅰ授業の全体テーマ・目標、ⅱ中世・近世の改元理由、ⅲなぜ中世に戦争が繰り返されたのか）、【中世の飢饉と戦争】Ⅰ二毛作は農業生産力の発展か（ⅰ中世をめぐるとの歴史像、ⅱ気候の寒冷化と飢饉、ⅲ二毛作と気候の寒冷化）、Ⅱ足軽とはどういう人々か（ⅰ応仁の乱と土一揆の不思議な関係、ⅱ飢饉と土一揆、ⅲ応仁の乱と足軽）
2日目	【戦国の世を生きた民衆の実情】Ⅲ村や町を守るために戦う民衆（ⅰ武装する村、ⅱ武装する町、ⅲ中世の領主と民衆）、【平和をもたらした天下人たち】Ⅳ刀狩りの意義と武器所有の実態（ⅰ秀吉による民衆の武装解除、ⅱ秀吉による刀狩りの意義、ⅲ秀吉による刀狩りの実態、ⅳ江戸時代の民衆と刀、ⅴ江戸時代の民衆と鉄砲、ⅵ近代以降の民衆と武器所有）、Ⅴ秀吉の惣無事から徳川の平和へ（ⅰ秀吉の関白任官、ⅱ秀吉の天下統一と惣無事、ⅲ家康の国家戦略、ⅳバクス・トクガワナ）
3日目	【平和を享受する近世の庶民と文化】Ⅵ庶民も学ばなければならない時代（ⅰ身分制社会における農工商の役割、ⅱ江戸時代における庶民の識字力、ⅲ村社会でも読み・書き・そろばん、ⅳ寺子屋で何を学んだのか、ⅴ私塾の役割と文明国日本）、Ⅶ平和な社会と庶民の衣食住（ⅰ衣、ⅱ住、ⅲ食）、【おわりに】近代化の波と日本（ⅰ再び戦争の道へ、ⅱ百姓を戦争に動員する論理、ⅲ歴史を学ぶ意義とは）

◆**教科書** 当日資料配付 当日プリント配布

◆**参考書** 指定しない（授業時に適宜紹介）

◆**成績評価基準** 試験（70%）、平常点（30%）。平常点は書き込みプリントへの回答状況などにより評価する。毎回出席することを前提とする。

◆音読で極める基礎英語 2

【英語 F】

担当者：天野 暁子

◆**学修到達目標** 「音読」を取り入れて、基礎的な語彙や文法の確認をします。「音読」はリスニングやスピーキングにも有効となり、また、「音読」から練習問題の文法項目を復習し、リーディングやライティングの基礎力を定着させましょう。オフィスを舞台にしたビジネス英語の基礎も学び、受信とともに発信する英語力を高めることを目指します。

◆**授業方法** ‘Warm-Up’ は予習を前提とし、文法項目の確認をします。‘Let’s Listen’ の対話を聴き、大意理解問題や空欄補充問題を行い、ロールプレイで対話発表をします。‘Let’s Read’ でのグループワークや、各章毎の小テストも行います。音読発表など積極的に授業参加をしましょう。2017年春・東京スクーリングで同テキストを使用しますが、学習箇所が異なるため、両方の登録が可能です。

◆**準備学修** 教科書の文法項目を中学・高校の参考書等で事前に復習しておいて下さい。各章の語彙等は予習しておきます。

◆**授業計画** (1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分)

1日目	ガイダンス（進度は受講生の習熟度・要望により変更する場合があります） Unit 9 ヘッドハンティング（動名詞） 初対面の挨拶 / 意見を述べる Unit 10 会議（形容詞・副詞） 意見を求める / 理解を示す Unit 11 プレゼン準備2（関係詞2） 案内する / 提案する、小テスト 発表（ペアまたはグループ）、Q&A
2日目	Unit 12 プレゼン（分詞） 順序を示す / 重点を強調する、小テスト Unit 13 オフィストーク 2（比較） 感想を述べる / 比較する Unit 14 人事面接（仮定法） 説得する / 要件を尋ねる、小テスト 巻末資料・小テスト、発表（ペアまたはグループ）、Q&A
3日目	Unit 15 送別会（接続詞・前置詞） 感謝する / 発表する 最終発表活動（ペア、グループまたは個別） まとめ、Q&A 試験

◆**教科書** 丸沼『Let’s Read Aloud More!』 角山照彦, Simon Capper 著 成美堂 2,376円（送料300円）

◆**参考書** 中型英和辞書を必ず持参して下さい。電子辞書も可。授業中の電子機器等（スマホ、iPad、PC等）の使用は不可。その他は必要に応じて提示。

◆**成績評価基準** 発話活動・発表（30%） 平常点（小テスト等 20%） 試験（50%） 無遅刻・無欠席を前提として総合的に評価します。

◆ English Communication Skills

〔英語 G〕

担当者：アレックス ブラウン

◆学修到達目標 In this course we will study, comprehend and use natural English dialogue from scenes of a popular movie; Life of Pi, starring Soraj Sharma.

◆授業方法 We will use the scenes from the movie for listening comprehension, vocabulary usage and expansion with further practice of idioms and expressions used in the dialogue of the movie.

◆準備学修 Prepare to discuss comprehension questions provided by the teacher in a group format.

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	Introduction, Movie viewing Scene 1 vocabulary study Scenes 1 & 2 comprehension questions and role play Scenes 3 & 4 vocabulary study Scenes 3 & 4 comprehension questions and role play
2日目	Movie viewing Scenes 5 & 6 vocabulary study Comprehension questions and role play Vocabulary quiz Scenes 7 & 8 vocab, comprehension questions and role play
3日目	Scenes 9 & 10 vocab, comprehension questions and role play 9 & 10 Continued Vocabulary quiz #2 Review for Final Final Test

◆教科書 No text will be required. Students will be provided with handouts.

◆参考書 None.

◆成績評価基準 Grades will be based on attendance, a final exam and a speaking test.
Students will be graded on their efforts given during their time in the course.

◆やさしいドイツ語

〔ドイツ語 I・II〕

担当者：志田 慎

◆学修到達目標 「聴く」、「読む」、「話す」、「書く」の四つの基本能力をバランスよく磨いて、ドイツ語技能検定5級から4級レベルの総合的なドイツ語力を身につけます。

◆授業方法 1. 各課のダイアログをCDで聴き、みなで真似て発音練習します。これを数回繰り返します。
2. 教科書の例文を用いて文法事項を解説します。
3. 練習問題をみなさんに解いてもらいます。

◆準備学修 付属のCDを聴いて、なるべくドイツ語の音に耳を慣らしておいてください。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	アルファベット／発音の基礎／数字／曜日／月名／四季／日常のあいさつ／ドイツ語を話す地域 Lektion1-3（人称代名詞 動詞 sein, haben／動詞の変化 名詞の性 動詞の位置 疑問文／不規則変化動詞 名詞の1・4格） 小テスト
2日目	Lektion4-7（人称代名詞と名詞の3・4格 否定疑問の答え／名詞の2格前置詞／3・4格支配の前置詞／話法の助動詞 名詞の複数形） 小テスト
3日目	Lektion8-9（再帰代名詞 再帰動詞 時刻の表現／分離動詞 副文） 復習 最終試験

◆教科書 丸沼『ドイツ環境問題へのアプローチ ノイ』 Troll／大串著 第三書房 2,376円（税込）（送料215円）

◆参考書 独和辞典を必ず用意してください。推奨は『アポロン独和辞典』同学社、『クラウン独和辞典』三省堂。

◆成績評価基準 最終試験50%、平常点（練習問題、小テストなど）50%により総合的に評価します。

◆企業取引と法律との関わり

〔商法Ⅰ〕

オープン受講：不可 担当者：小菅 成一

◆学修到達目標 本授業では、商法のうち商法総則・商行為法に関する分野を取り上げながら、企業取引と法律との関係について勉強していきます。具体的には、商業登記制度、商人・会社の名称（商号）、企業取引の補助者（商業使用人）、商事売買、消費者取引、運送取引、施設取引（場屋・倉庫営業）等について取り上げていきます。

◆授業方法 授業の方法は、講義形式（講義担当者の作成したプリントを使用して）で行います。最終日には筆記試験を実施します。商法総則・商行為法を勉強することで、受講生が企業取引をめぐる法律的な問題に関心が持てるようにしていきます。

◆準備学修 「商法Ⅰ」という講義名ですので、商法をはじめて勉強する学生を念頭に話しを進めていきます。したがって、事前に準備学習等をされる必要はありません。ただし、授業開始後は、授業時に使用したプリント（あるいは、下記に紹介した参考書等）をもとに、授業終了後、復習されることをおすすめします。

◆履修条件 平成28年度夏期スクーリング「商法Ⅰ」との積み重ね不可。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	授業の概要、商法と他の法律との関係、商行為の種類・特徴、商人の概念等 ※初日ですので、まず授業の概要について説明した後、商法の特徴（商法総則・商行為法や会社法、手形法等の概要）や他の法律（民法等）との関係、商法の法源等について勉強します。また、商行為の種類（基本的商行為、営業的商行為等）とその特徴、商人の概念（商人の機能・特徴、商人資格の取得時期等）についても取り上げます。
2日目	商業登記制度、商号の機能、商業使用人等について ※商業登記制度は、企業の情報開示システムです。とくに、会社は登記が強制されていますので、会社の登記をめぐる法律的な問題点を取り上げます。また、商人・会社の名称である商号（名板貸責任も含む）の機能やその問題点、企業取引の補助者である商業使用人（会社の使用人）の権限等についても勉強していきます。
3日目	商事売買、消費者法、運送取引、施設取引等 ※3日目は、商行為法について勉強します。具体的には、商事売買、消費者法（消費者契約法、特定商取引法）、運送取引、施設取引（場屋・倉庫営業）等です。商行為法は民法との関係がとても深い分野です。したがって、民法（債権法等）についても適宜取り上げながら、説明していきます。なお、この日に筆記試験を行います。

◆教科書 〔当日資料配付〕 当日プリント配布。ただし、六法（平成29年版のもの。判例が掲載されている六法は避けてください）は必ずご持参ください。

◆参考書 なし

◆成績評価基準 スクーリングの性質上、受講態度（30%）、定期試験の結果（70%）で評価します。

◆法は道徳を守るべきなのか？

〔法哲学〕

担当者：高須 則行

◆学修到達目標 1. 様々な社会規範を理解し、説明することができる。
2. 法の実在形式（法源）を理解し、説明することができる。
3. 法の社会的機能を理解し、説明することができる。
4. 法と道徳の関係を理解し、説明することができる。

◆授業方法 講義形式で行いますが、その都度受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っております。そのような双方向の授業を心がけていきたいと思っております。

◆準備学修 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. 社会規範の種類（法・道徳・慣習・マナー・戒律） 2. 自然法と実定法、成文法と不文法 3. 公法と私法と社会法、近代法と現代法
2日目	1. 法と道徳の関係（1）：法の外面性と道徳の内面性 2. 法と道徳の関係（2）：J.S. ミルの危害原理 3. 法と道徳の関係（3）：法的モラリズム
3日目	1. 法と道徳の関係（4）：法的パターンリズム 2. 法と道徳の関係—最高裁判所判決を読む

◆教科書 〔当日資料配付〕 なし。レジュメを配布します。

◆参考書 なし

◆成績評価基準 講義参加度（30%）・レポート（20%）・試験結果（50%）

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ 20 世紀の国際政治史からまなぶ 【国際政治学／国際政治論／国際政治学概論】

担当者：大八木 時広

◆**学修到達目標** 20 世紀の国際政治史（とりわけ冷戦）の中での主な出来事について知り、個別の出来事について説明できるようになる。さらに個別の出来事がどのように結びついているか理解することにより、国際政治全体の流れを理解し、また説明できるようになる。またこうした知識を基にして、現代国際政治を考察できるようになる。

◆**授業方法** 授業用のプリントを配布し、これを中心に講義形式で授業を進める。必要に応じて教科書を参照する。受講者の学習レベルに応じて対話形式も試みる予定。

◆**準備学修** 教科書の 2～4 章を熟読し、大まかでよいので国際政治史の流れを捉えておくこと。またあらかじめ 2～4 章のキーワード、あるいは疑問点を自分なりにピックアップし、授業に出席することが望ましい。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	ヤルタ体制、ブレトンウッズ体制、ソ連脅威論、封じ込め政策、同盟。 ※戦後の新たな国際秩序がどのようにして形成されていったのか、米ソの対立がどのようにして始まったのか取り上げる。またアメリカがどのようにしてソ連を封じ込めようとしたのか、ソ連がどう対抗したのか、そのプロセスにおいてどのような危機が発生したかを取り上げる。
2 日目	ベルリン危機、台湾海峡危機、キューバ危機、中ソ対立、非同盟運動、フランスの自主独立路線、ヨーロッパ統合。 ※冷戦下の危機を取り上げる。また国際政治が 2 極から多極へと構造変動していくプロセスを取り上げる。第 3 世界の国々が国際社会の中でどのように結集していったのか、西欧や中国がどのような独自路線を打ち出したのか取り上げる。
3 日目	デタント、CSCE、東方外交、新冷戦、ペレストロイカ、新思考外交。 ※ヨーロッパ、米ソのデタント（緊張緩和）がどのようにおこなわれ、どのような成果をあげたのか取り上げる。またゴルバチョフの登場などによって米ソ関係、ひいては冷戦自体がどのように変化し、現代の国際政治につながったのかを取り上げる。

◆**教科書** **教材**『国際政治学 L30200／国際政治論 R32700／国際政治学概論 S33200』通信教育教材（教材コード 000501）2,900 円（送料込）

〈この教材は市販の『国際関係論（第 2 版）』佐渡友哲・信夫隆司編（弘文堂）と同一です〉

当日資料配付

◆**参考書** **丸沼**『20 世紀の国際政治』松岡完 同文館出版 3,780 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 小テスト（40％）試験（60％）毎回出席が原則です。ただし事情がある場合は考慮します（出席について）。

◆江戸時代の小説・演劇を遊里・遊女に注目しながら学ぶ

〔国文学概論〕

担当者：武藤 純子

◆学修到達目標 浮世草子、浄瑠璃、歌舞伎、黄表紙、洒落本など、各ジャンルの文体と表現様式の特徴を説明できるようになることを到達目標とする。

◆授業方法 受講者参加型の講義形式で進める。テキストの音読をはじめ、読み解きに関しても意見を求める。理解を深めるために、文楽・歌舞伎のDVDおよび浮世絵を利用する。

◆準備学修 「好色一代男」「曾根崎心中」「江戸生艶気樺焼」について、年代、作者、概要内容を書き、ネット等で調べ、授業初日に提出。各作品A4判横書き1枚、計3枚を提出。3枚それぞれ一行目に学年・学生番号・氏名を、最後に参考文献名を記載すること。ホチキス止め不要。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・国文学とはなにか ・近世文学の流れとジャンルについて ・三都の遊里・遊女について ・「好色一代男」「曾根崎心中」「江戸生艶気樺焼」の概要・文学史的意義・文体について
2日目	・浮世草子「好色一代男」、浄瑠璃「曾根崎心中」、黄表紙「江戸生艶気樺焼」の読み解き ・洒落本「古契三娘」の読み解き
3日目	・遊里・遊女を描いた文学文芸 歌舞伎「籠釣瓶花街酔醒」・文楽「曾根崎心中」・鳥居清長・喜多川歌麿の浮世絵にみる遊里・遊女 ・まとめ ・試験

◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリントを配布

◆参考書 授業中に指示

◆成績評価基準 授業への取り組みと最終試験により総合的に評価する。

◆江戸の滑稽本に親しむ

〔国文学講義Ⅳ（近世）〕

担当者：佐藤 至子

◆学修到達目標 近世後期の江戸で出版された滑稽本を原文で読み、題材や表現について理解を深める。式亭三馬や十返舎一九といった代表的な作者の作品だけでなく、滑稽見立て絵本や、茶番に関する本なども読解する。滑稽本の楽しみ方・味わい方を理解し、作品の面白さについて、具体的に説明できるようになることを目標とする。

◆授業方法 講義形式。原文をプリントで配布し、解説を加える。滑稽本の文体に親しむため、原文を受講生に朗読してもらう予定である。

◆準備学修 授業初日にプリントを配布する。初日以降は、予習として、翌日の授業で読む箇所（初日に指示する）を読んでおくこと。難解な語句の意味は、授業前に調べて理解しておくこと。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①滑稽本とは何か ②式亭三馬の滑稽本を読む。題材や文体に着目し、三馬の滑稽本の特徴を理解する。 ③十返舎一九の滑稽本を読む。三馬の滑稽本と比較しながら、一九の滑稽本の特徴を理解する。
2日目	①「見立て」とは何か。現代の事例・浮世絵の事例に即して理解する。 ②山東京伝の滑稽見立て絵本『絵兄弟』を読む。 ③山東京伝の滑稽見立て絵本『奇妙図彙』を読む。
3日目	①茶番とは何か。 ②式亭三馬『茶番狂言早合点』を読む。 ③口上茶番の台本を読む。見立ての発想を生かした茶番の面白さを理解する。

◆教科書 〔当日資料配付〕当日プリント配布

◆参考書 使用しない

◆成績評価基準 平常点（15%）レポート（85%）。毎回出席することを前提として評価する。レポートは3回（1日1回）。毎日の授業開始時に、その日の授業に関わる「問い」を出す。授業終了時にその「問い」への「答え」を論述式で書いてもらう。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆小倉百人一首を読む

〔国文学演習 A〕

担当者：藤平 泉

◆**学修到達目標** 古典和歌のよく知られた作品としてまたカルタ遊びでも親しまれている「小倉百人一首」を教材に、各自一首ずつ好きな歌を選び、各自その和歌について調査した結果を口頭発表の形で報告し、質疑を経て古典作品を理解するための基本的な調査方法や基礎知識を知ることが目的とする。

◆**授業方法** 各自で事前に送付する演習準備のための手引きを元に自分で選んだ和歌とその歌人について参考書や資料を調査し事前に発表資料を作成し、各自口頭発表を行う。

◆**準備学修** 指定したテキストとできれば参考書も熟読すること。（特にテキスト末部の解説）登録した人には、別に資料作成のための藤平作成の発表の手引きを送付する。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	登録する人数によるが、最初に鎌倉時代の歌人藤原定家について説明し、定家が「百人一首」を選定するにいたる背景と過程を概説する。その後、口頭発表の各自の担当の和歌を確認する（同じ和歌は2人まで担当可）発表順を決める。登録人数が多い場合、同じ和歌を担当する人でグループ発表になる場合もある。
2日目	発表順に従い、一人30～40分程度で口頭発表し、参加者全員で質疑を行う。発表者以外の人も質疑を聞き、どのような点に注目したら良いかを知り、自分でも発言してみよう。的外れであっても減点にはならない。
3日目	2日目と同様に口頭発表を行う。採点は先と後では準備の時間に差があり、また同じ和歌を担当する場合後の人が有利になるので、その点を考慮して採点する。積極的な質問・発言をする人には加点する。試験等は行わない。

◆**教科書** 丸沼『百人一首』 有吉保 講談社学術文庫 1,490円（税込）（送料300円）

事前資料送付

◆**参考書** 丸沼『百人一首』 島津忠夫 角川ソフィア文庫 691円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 口頭発表の内容70%、他の人への質問・意見等授業への参加度30% 毎回出席が前提。

◆英語の基本構造を理解する（単文レベル）

〔英文法〕

担当者：山岡 洋

◆**学修到達目標** 単文レベルの構造を十分に理解できるようになることを目標とする。特に、文型を十分に理解することにより、文の中心要素である述語動詞と、その述語動詞との結合度が高い要素によって形成される「述部（Predicate）」を発見することによって、文の構造を見極める力を養う。

◆**授業方法** 初日に、品詞、文の要素（S, V, O, C, M）、語の結合度の説明をし、2日は実際の英文を用いて、様々な英文を主部（S）、述部（P）、修飾部（M）、に分ける実際的な練習をし、3日目の午前中は最終試験のための模擬試験を行う。

◆**準備学修** 品詞と文型について、中学レベルの文法書で構わないので、復習をしておいてほしい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	名詞・動詞・形容詞・副詞・前置詞・接続詞を中心とした品詞の説明 5文型から7文型へ文型の説明 主部（Subject）・述部（Predicate）・副詞相当語句（Modifier）・付加部（Adjunct）の説明 主要部（Head）・補部（Complement）の関係と修飾（Modification）の説明
2日目	1日目の説明を定着させるために実際の英文を用いて英文を分析する練習。用いる英文は1日目に配布する。
3日目	午前：午後の試験に向けて模擬試験 午後：自習時間と最終試験

◆**教科書** 丸沼『新英文法概説』 山岡洋 開拓社 2014 3,780円（税込）（送料350円）

当日資料配付 当日配付資料あり。

◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン 改訂新版 旺文社 2000 1,944円（税込）（送料350円）

丸沼『英文法解説』 江川泰一郎 改訂3版 金子書房 1991 1,836円（税込）（送料350円）

丸沼『現代英文法講義』 安藤貞雄 開拓社 2005 7,128円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 授業参加度（20%）、最終試験（80%）

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆アメリカ文学の歴史と変遷を理解する

【アメリカ文学史】

担当者：北原 安治

◆**学修到達目標** アメリカの建国から 20 世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。

◆**授業方法** テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めることが前提となります。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握します。多くの作家に触れたいのですが、重要とされる作家に時間を割く場合があるので、必ずしも予定どおりにはいかないこともあります。また英語教育や日本文学関係および文学が扱う生き方の指針になるような幅広い映像も見せる予定です。テキストにある各作家の作品からの引用をしっかり読める英語力をつけて欲しいです。気に入った作家がいたら事前に作品を読んでみるとか、DVD を借りて見てみるとかすればいいでしょう。村上春樹の新訳で話題のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』の DVD などおすすめです。

◆**準備学修** 予習テストと予習ノート検査（教科書の書き込みだけでは不可）をする場合がある。テキストの英文を 5 行おきに手書きでノートに写す。手書き以外は不可。文法構造と和訳を付ける。ノート検査をする。単語を調べて自分なりの訳をしておく。テキストの最後に参考文献があるので予習の参考にする。抜き打ちの実力テストをやる場合があるので辞書必携。試験は持ち込み無し。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	映像資料視聴。テキストははじめから 10 人前後の作家の予定。
2 日目	映像資料視聴。10 人前後の作家の予定。
3 日目	映像資料視聴。5 人前後の作家の予定。試験。

◆**教科書** 丸沼『An Outline of American Literature（アメリカ文学概観）』セメスターシリーズ 井上謙治編著
南雲堂 1,296 円（税込）（送料 215 円）
全 48 ページの薄いテキスト

◆**参考書** テキスト 47 ページ参照。中型辞書を持ってくること。

◆**成績評価基準** 小テスト、試験などによる総合評価。手書きノート検査あり。必ず手書き。三日間なので無遅刻皆出席以外は不可。テキスト不携帯は不可。試験はテキストの和訳と小論文（和訳がある程度できないと、小論文がいくらできても不可とする。試験用紙裏面すべてに小論文を当てる。1000 字以上書くこと。試験時間は 90 分ほどの予定。小論文タイトルは「Charles Brockden Brown と James Fenimore Cooper ふたりの特徴と作品を論じる」。3 日間の短期なので事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし）

◆近代英国小説入門：ジェイン・オースティンの『エマ』を読む〔英米文学特殊講義〕

担当者：新井 英夫

◆**学修到達目標** 19世紀前半、ヴィクトリア朝とは明らかなコントラストをなす「摂政時代」と呼ばれる時代に活躍した女性作家ジェイン・オースティンの代表作『エマ』を読み、次に掲げる各号の目標を達成しましょう。

- ①近代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度のものであるかを知ることができるようになる。
- ②大学入学までに学習してきた英語の基本事項を、小説の読解に活用することができるようになる。
- ③作品の構造、人物関係等を明確に説明できるようになる。
- ④作品のテーマについて説得力のある論を展開できるようになる。

◆**授業方法** 演習形式のスタイルを採ります。ただし授業が単なる日本語訳の発表大会に終わることのないように、結論に至るプロセスを皆さんには大切にしてもらいたと思っています。グループ活動なども取り入れる予定ですので、英語が苦手な方の受講も歓迎です。また「英文を読む」とこと「小説を理解する」ことの差異を学生たちに理解してもらべく、小説の読み方も丁寧に指導します。

◆**準備学修** 参考書に挙げてある翻訳、ジェイン・オースティンの『エマ』を読み、小説のあらすじを理解しておいて下さい。事前学習段階では必ずしも原書で読む必要はなく、翻訳を活用しても構いません。なお、翻訳は授業で参考に用いることがあります。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス 第1章から第20章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
2日目	第21章から第40章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。
3日目	第40章から第55章まで ・内容確認 ・指定された箇所の英文和訳 ・小説内容に関するグループ討論及び発表 ・講師による解説 ※受講学生の理解度により、授業計画を変更することがある。

◆**教科書** 当日資料配付

◆**参考書** 丸沼『エマ』（上）ジェイン・オースティン著 中野康司翻訳 ちくま文庫 2005
1,080円（税込）（送料215円）

丸沼『エマ』（下）ジェイン・オースティン著 中野康司翻訳 ちくま文庫 2005
1,080円（税込）（送料215円）

『Emma』 Jane Austen (London: Penguin 2003)
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 授業内活動（40%）＋最終試験（60%）。欠席者には単位を認定しません。また遅刻は各時限につき10点減点とします。遅刻は各時限の授業開始から15分までとし、それ以降は欠席扱いとなります。早退は原則として認めません。総得点が0点を下回る場合には、0点として評価します。

◆ Will in if-clause

〔英語学演習 C〕

担当者：小澤 賢司

◆**学修到達目標** 多くの(日本人)英語学修者を悩ませてきた「条件節内では未来の出来事でも will は使わず、現在形を使う」という問題に関して、R. A. Close の “Will in if-clause” (1980) を扱い(読み)、その前提知識と彼の研究手法を学ぶことを目標とします。Close (1980) は古い文献ではありますが、「条件節内の will」を扱う上での必読文献の1つに挙げられるものですので、本テーマに興味のある人にとって非常に有益な資料となることでしょう。

◆**授業方法** 輪読形式でテキスト(プリント)を読み進めていきます。受講者の方に(こちらが指名して)音読・和訳をしてもらいます。本授業では、専門的な論文を扱い(読み)ますので、以下に示した準備学修が極めて重要となります。なお、受講者の様子(理解度)を見ながら授業を進めていきますので、以下の授業計画はあくまで「目安」とお考えください。

◆**準備学修** 「徹底した 予習」と「可能な限りの 復習」をお願いします。

(a) 音読

本授業において、極めて重要な予習項目となります。既知の単語でも発音とアクセント(特にアクセント)はしっかりと調べ、発声できるようにしておいてください。

(b) 内容理解及び和訳

きれいな和訳にすることも重要ですが、それよりもそこに書かれている内容がしっかりと把握・理解できているかを重視してください。わからない箇所は何度も何度も読み返し、考えに考え抜いてください(「読書百遍意(義)自らから通ず」)。

(c) 文法・文構造の理解

文法的、ないしは文構造的に不明な箇所はチェックしておいてください。

(d) 復習

本授業は3日間と期間は短いですが、復習を怠らないようにしてください。テキスト(プリント)が難しいと感じる場合、殊更、復習が重要となります。

(e) 事前知識として

中高のときに使用していたもので構わないので、手持ちの文法書や参考書等で、本授業に関する知識を復習しておいてください。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	Will in if-clause の事前知識確認 Close (1980) を読む
2日目	Close (1980) を読む
3日目	Close (1980) を読む まとめ テスト

◆**教科書** **事前資料送付** R. A. Close. 1980. “Will in if-clauses,” in Sidney Greenbaum, Geoffrey Leech and Jan Svartvik (eds.) *Studies in English Linguistics for Randolph Quirk*. 100-109. を事前に配ります。

◆**参考書** 特に指定はしませんが、大学生・社会人向けの英和辞典は必ず持参してください。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み(予習状況・発表など)、及びテストにより総合的に評価します。
※3日間すべての授業に出席することを前提としています。

◆ Angela Carter の短編を読む

〔英米文学演習 D〕

担当者：榎本 義子

◆**学修到達目標** イギリスの作家 Angela Carter (1940 - 1992) は、1969 年に来日し、1972 年まで日本に滞在しました。日本での体験が結実したのが Fireworks と言えるでしょう。この短編集から 3 つの作品を取り上げ、Carter が日本をどのように見ているか、何故彼女が〈tale〉と呼ぶ日常性の裏にある世界を描くようになったか考え、その世界を理解することを目標とします。

◆**授業方法** 事前の予習と受講期間中の全出席を前提とし、精読と速読を併用します。担当の受講生が、本文を和訳したり、内容を要約して、それに基づいてディスカッションをしたり、グループ発表も行います。作品をあらかじめ読んで、各自の意見を持って積極的に授業に参加してください。

◆**準備学修** 事前に配布されたプリントをよく読んで、問題点を考え、積極的に授業に臨んでください。3 日間の集中授業ですので、辞書を引き、十分に予習してくることが大切です。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	ガイダンス、イントロダクション "A Souvenir of Japan" 花火の役割、語り手と日本人男性の関係、語り手が着目している日本文化、日本文化の持つ様式美、作中に見られるフェミニズム
2 日目	"The Loves of Lady Purple" 登場人物、特に人形遣いと人形の関係、何故舞台をトランシルヴェニアにしたか、作中で演じられる劇、日本文化と吸血鬼伝承などの西洋文化、結末の意味するもの
3 日目	"Penetrating to the Heart of the Forest" 物語の舞台（エデンの園との関係）、登場人物（父親、マドライン、エミール）、禁断の木、森の奥への冒険の旅とその描写、結末の意味するもの まとめ、試験

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『花火』 アンジェラ・カーター著 榎本義子訳 アイシーメディアックス 1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 発表（20%）、ディスカッションなどへの授業参加（20%）、試験（60%）

◆ プラトン（ソクラテス）の倫理思想

〔倫理学基礎講読〕

担当者：関谷 雄磨

◆**学修到達目標** プラトンの作品と一緒に読みながら、倫理学（哲学）書の読み方を習得することを目標とします。具体的には、1）まず、作品の中でどのような問題が提起されているのかを理解します。2）そして、その問題に対して著者（あるいは登場人物）がどのような主張をしているのかを読み解きます。3）その上で、読み手であるわれわれ自身がその問題について主体的に考察します。

◆**授業方法** 通信教育部指定テキストのうち、本年は『ソクラテスの弁明』と『クリトン』を扱います。授業は、学生のみなさんひとりひとりにテキストを音読してもらい、そこにどのような問題が隠れているのかを掘り起こして解説しながら読み進むというスタイルで行います。（「授業計画」の各日の章分けは便宜的なもの）

◆**準備学修** 3 日間という短期間で二篇を読了しなければならないので、必ず事前に『ソクラテスの弁明』と『クリトン』を読んでから授業に望んで下さい。

◆**履修条件** 平成 27 年夏期スクーリング「倫理学基礎講読」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	ガイダンスおよび、古代ギリシア、特にアテネについての一般的説明 『ソクラテスの弁明』の講読（1 章～16 章）
2 日目	『ソクラテスの弁明』の講読（17 章～33 章）
3 日目	『クリトン』の講読、まとめ（質問コーナー）、試験

◆**教科書** **教材**『倫理学基礎講読 P30200』 通信教育教材（教材コード 000337）2,450 円（送料込）
※学修指導書付き

◆**参考書** 丸沼『ソクラテス』 岩田靖夫 勁草書房 3,024 円（税込）（送料 300 円）など

◆**成績評価基準** 出席状況、試験によって総合的に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ベットの上の東洋思想

〔東洋思想史Ⅱ〕

担当者：梅川 純代

◆**学修到達目標** 思想・哲学は崇高で高尚なもの、敷居の高いもの。そのような思想・哲学に対する先入観から離れ、最も私的で最も卑俗な性愛行為が行われるベットの上で構築された東洋思想を俯瞰していきます。敬遠されがちな性という欲望が、いかに思想・哲学そして宗教的な精神活動に影響を及ぼしてきたのかを考えます。

◆**授業方法** 講義方式で行います。最終授業はレポート制作といたします。

◆**準備学修** なし

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. イントロダクション 2. 房中術概論 3. 道教概論（道家～内丹道教） 4. 儒教概論（シャーマニズム～理学） 5. 仏教概論（原始仏教～タントラ密教）
2日目	6. 気概念と陰陽思想 7. 神と仏と神仙（毛人は神仙か） 8. 神仙と性（気の理論、精神の飛翔の観点から） 9. 聖人と性（儒教経典と娼業から） 10. 仏と性（性エネルギー的概念から）
3日目	11. 生と性1（道教的立ち位置から） 12. 生と性2（儒教的立ち位置から） 13. 生と性と聖（密教的立ち位置から） 14. 生と性と俗（文化的立ち位置から） 15. レポート

◆**教科書** なし

◆**参考書** 丸沼『「気」の思想からみる道教の房中術』五曜書房 2,570円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 出席とレポートで評価をします

◆**学修到達目標** 仏教とジャイナ教は、ほぼ同時代（紀元前5世紀頃）に成立したインドの宗教で、創始者の性格やその教理にも類似する要素が多数見出される。この2つの宗教は、インドの宗教思想においてはヴェーダ聖典の権威を認めない、いわゆる「非正統思想」に分類されるが、正統思想であるバラモン教から受け継いだ要素も少なくない。この授業では、仏教・ジャイナ教の両者について、さまざまな視点から考察し、それぞれの独自性を探る。これを通じて、インドの宗教全般についての理解を深めることを目指したい。

◆**授業方法** 講義形式で授業を進める。仏教・ジャイナ教それぞれの独自性が十分理解できるように議論を進めたい。また、背景となるバラモン教思想（ヴェーダの宗教）の影響についても言及する。仏教は初期仏教と大乘仏教に大きく時代区分されるが、ここでは初期仏教を主として取り扱う。授業の理解度を確認するため、1日目と2日目には、当日の授業内容についてのレポートを課す。

◆**準備学修** (1) 通信教育教材『宗教学』あるいは『宗教学概論』を通読して、宗教一般に関する理解を深める。
(2) 下記参考書のいずれかを読んで、インドの宗教史・宗教事情の儀容を理解しておく。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	<p>仏教・ジャイナ教それぞれの成立過程とその初期の歴史を簡単にたどる。</p> <p>(1) 両宗教成立の背景としての「ヴェーダの宗教」(バラモン教)。</p> <p>(2) 仏教の創始者ゴータマ・ブッダとジャイナ教の創始者ニガンタ・ナータブッタ。</p> <p>(3) 両宗教の成立とその展開。一教団・聖典などー</p>
2日目	<p>両宗教の宗教思想について考察する。正統思想であるバラモン教思想から継承した要素、各宗教独自の要素を区別し、また、両宗教の類似点と相違点を探りつつ、それぞれの独自性を探究する。主として次の2点について論じる。</p> <p>(1) 基本的立場と教理の基礎となる世界観。</p> <p>(2) 業・輪廻・解脱の思想。</p>
3日目	<p>(1) 両宗教の宗教的实践。</p> <p>(2) 不殺生の思想。</p> <p>仏教・ジャイナ教の説く解脱への実践論を考察する。その中で、両宗教において初めて明確に主張されたとされる「不殺生」についても言及する。</p> <p>(3) 筆記試験</p>

◆**教科書** 当日資料配付

◆**参考書** 丸沼『ヒンドゥー教』 山下博司 講談社（講談社選書メチエ9） 1,728円（税込）（送料300円）
『ヒンドゥー教を知る事典』 橋本泰元他 東京堂出版
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
丸沼『インド思想史』 早島鏡正他 東京大学出版会 3,888円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 筆記試験（50%）、小レポート（50%）。小レポートは1日目と2日目に、当日の授業内容から出題、3日目に提出。

◆古文書から歴史を探る

〔古文書学〕

担当者：中村 順昭

- ◆**学修到達目標** 日本史研究の基本史料である古文書について、基礎知識を学び、自力で古文書を読む力を養う。また時代による文書の変化に関する理解を深めて、史料から歴史を探る方法を習得する。
- ◆**授業方法** 講義形式。教科書として佐藤進一著『新版 古文書学入門』を用い、そこに収録された文書を読み解きながら授業を進める。受講生に文書を読んでもらい、質問を受け付けながら、対話形式で講義をすすめる予定である。
- ◆**準備学修** 教科書を事前に読んでおくこと。教科書の『新版 古文書学入門』は、かなり高度な内容なので、すべてを理解することは困難だが、下記の授業計画で取り上げる予定の部分は熟読して、分からない部分は質問を用意しておくこと。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕
- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 古文書学の基礎知識。教科書の第二章「古文書の伝来」の第一節「伝来の素因」を中心とする。①文書と帳簿〈記録〉、②案文と正文、③文書と木簡、④紙背文書、⑤寺院文書と武家文書など |
| 2日目 | 古文書の様式とその変化。教科書の第三章のうち、公式様文書の「詔書」「符」と公家様文書の「官宣旨」「綸旨・御教書」を主に取り上げる。政治形態の変化と文書様式との関連を考える。 |
| 3日目 | 古文書の様式。教科書の第三章のうち武家文書の「下文」「御教書・奉書」と、証文類の「譲状」「売券」を主に取り上げる。鎌倉・室町・江戸幕府のあり方と文書様式の変化と、土地に対する権利のあり方を考える。 |
- ◆**教科書** 通材『古文書学 Q31700』通信教育教材（教材コード000502）4,050円（送料込）
〈この教材は市販の『新版 古文書学入門』佐藤進一著（法政大学出版局）と同一です〉
- ◆**参考書** 授業内で適宜紹介します。
- ◆**成績評価基準** 平常点〈30%〉、試験〈70%〉。毎回出席することを前提として評価します。

◆発掘調査報告書を読もう

〔考古学演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：西野 吉論

- ◆**学修到達目標** 発掘調査報告書を実際に用いて発表・報告することで、その内容がどのようなものか学びます。考古学の第一資料を探し出し、使いこなすことができるようになるのが目標です。
- ◆**授業方法** 学生による発表を中心とした授業です。
- ◆**準備学修** 自分の興味ある時代・地域の発掘調査報告書の一つを選び、その内容をまとめましょう。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕
- | | |
|-----|---|
| 1日目 | 発掘調査報告書の内容について
遺構・遺物の図面の見方について
発掘調査報告書の探し方と発表方法について |
| 2日目 | 学生による発表と講評 |
| 3日目 | 学生による発表と講評 |
- ◆**教科書** 当日資料配付
- ◆**参考書** 準備学修に用いた発掘調査報告書を地元の図書館などで借りて持参すること
- ◆**成績評価基準** 発表内容および発表資料

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆**学修到達目標** まず、Windows7の基本操作とネットワーク上でのパソコン利用について学ぶ。その上で、WWWによる情報収集、ワードによる文書の表現方法、エクセルによるデータの集計方法について学ぶ。

◆**授業方法** 本講座では講義と演習の両方を行う。講義ではコンピュータネットワークの仕組みと歴史などについて学ぶ。演習では、コンピュータを知的道具として利用できるようになることを目的として様々な課題に取り組む。
※授業は、Windows7、Office2013の環境で実施する。

◆**準備学修** 教科書の第1章に書かれている内容を予習しておくこと。

◆**履修条件** 平成29年度 昼間・土曜スクーリング（前期）「情報概論」との積み重ね不可

◆**授業計画〔各90分〕**

1日目	ガイダンス Windows7の基本操作とネットワーク利用 コンピュータネットワークの仕組みと歴史 情報の収集（WWWとサーチエンジンの利用）
2日目	ワードによる文書作成の基本（書式設定、文字修飾、箇条書き、均等割り付け、ページ設定などの利用） ワードによる文書作成の応用（ハイパーリンク、罫線、基本図形、ワードアート、クリップアートの利用） ワードとペイントの活用 エクセルの基本操作とデータ整理 エクセルを利用した集計1（SUM関数、AVERAGE関数、COUNT系関数、IF関数などの基本関数の利用）
3日目	エクセルを利用した集計2（ROUND関数、SUMIF関数、RANK関数、VLOOKUP関数、HLOOKUPY関数などの利用） エクセルによるグラフ作成 データベース機能（並べ替え、オートフィルタ、DCOUNT関数などのデータベース関数の利用） 授業内テスト

◆**教科書** 丸沼『30時間でマスター Word & Excel 2013』実教出版編修部 972円（税込）（送料350円）

◆**参考書** 授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 実習課題（60%）、授業内テスト（40%）により総合評価する。

※授業に毎回出席することを前提に評価する。

◆貿易・国際投資のルールを学ぶ

【貿易論】

担当者：岡田 直己

◆**学修到達目標** 2017年1月時点では米国のTPP離脱方針表明などが話題となっているが、本科目では、貿易・国際投資のグローバルスキーム（国家間の法的枠組み）やその歴史的背景を学び、貿易・国際投資のルールに関する基礎的理解を習得するとともに、貿易・国際投資をめぐる諸課題（「非貿易的関心事項」）や貿易紛争の実態に関する基礎知識を身につける。

◆**授業方法** 教科書の内容を中心に貿易・投資のルールについて解説するとともに、貿易・投資関係の各種資料を参照しながら、貿易・投資のルールが現実の貿易・投資にどのような影響を与えているのかを説明する。また、「現実」をルールに則して考えることが重要であるため、受講者によるディスカッションなどを可能な限り行うことも予定する。

◆**準備学修** 受講上の必須事項ではないが、貿易や国際投資の動向をめぐる政治経済・法律関連の最新情報（新聞や雑誌、経済専門誌等の記事）をチェックしておくことを推奨する。また、参考文献を一読しておけば、授業内容に関する理解が深まる。貿易・国際投資に関する予備知識は必要ないが、それらの「現実」に対する強い関心を持っていることが何よりも大切である。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. 総論（データでみる貿易・投資の動向） 2. グローバル貿易体制の成立と展開・全体像（GATT/WTO体制の歴史的展開） 3. 基本原則（最恵国待遇、内国民待遇、数量制限禁止など。ケーススタディを含む） 4. 一般的例外と非貿易的関心事項（「貿易と環境」問題を中心に） 5. 1日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション）
2日目	6. 衛生植物検疫措置／貿易の技術的障害（ケーススタディを含む） 7. 貿易救済措置①（セーフガード。ケーススタディを含む） 8. 貿易救済措置②（アンチダンピング。ケーススタディを含む） 9. 貿易救済措置③（補助金・相殺措置。ケーススタディを含む） 10. 2日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション）
3日目	11. 農産品貿易・サービス貿易の自由化（ケーススタディを含む） 12. 地域経済統合・原産地規則（FTA/EPA、関税同盟。ケーススタディを含む） 13. 貿易・投資紛争処理制度（WTO紛争解決手続を中心に。ケーススタディを含む） 14. 3日目のまとめ（時間が許せば、受講者によるディスカッション） 15. 試験（60分間の実施を予定）

◆**教科書** 丸沼『WTO・FTA法入門』小林友彦ほか著 法律文化社 2,592円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 丸沼『国際経済法』松下満雄ほか著 東京大学出版会 3,888円（税込）（送料350円）
丸沼『ケースブックWTO法』松下満雄ほか編 有斐閣 3,240円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 授業の出席を前提として、試験の評点（＋ディスカッション実施の場合はその参加度）で評価を行います。試験のみとなれば100点満点、上記の合算方式となれば試験80%＋ディスカッション20%を予定します。

◆交通におけるマーケティングの必要性について考えてみよう。 【交通論】

担当者：針谷 莊司

◆**学修到達目標** 交通サービスをマーケティングの視点から考察する基礎知識を得る。
日常生活の中での諸現象を交通・マーケティングの立場から考察できる知識を養成する。

◆**授業方法** この講義は、単に聴講するだけでなく、自分自身の考えを積極的に表現できる能力を習得することを目標とする。
日常変化している現象を踏まえ、積極的に考え参加する講義をめざす。

◆**準備学修** 交通に関すると関心がある事象を広く収集し、開講までに自分の意見としてまとめておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	交通とは何か 交通サービスのとらえかたについて 交通に関するトピックス（意見発表）
2日目	交通サービスと観光 交通の発達と地域 都市交通について
3日目	規制緩和と交通 自分と交通サービスとのかかわり方（意見発表）

◆**教科書** **教材**『交通論 S30700』 通信教育教材（教材コード000184） 1,950円（送料込）

◆**参考書** 講義時、指示致します

◆**成績評価基準** 毎日、授業時課題を課します。 意見発表 試験を総合的に評価します。

◆会計学の基礎知識が学修できる 〔会計学〕

担当者：林 徳順

◆**学修到達目標** この授業の到達目標は、「初心者が会計学の基礎知識を学修できる」ことであります。すなわち、「株式会社の仕組み」及び「営利企業に係る財務会計、管理会計、税務会計及び監査の概要等」を学ぶことを通し、①「企業利益はどのように計算され、どのように利用され、その正確性はどんな方法で保証されているのか」が学修でき、②「製品などの原価はどのように決まるのか」が学修できます。前記の内容について大多数の受講生が修得できた場合、会計の国際化、連結財務諸表、キャッシュ・フロー計算書について学修できます。

◆**授業方法** 授業計画に沿って、パワーポイント形式で授業を進めます。授業中、①授業内容に関する練習問題を解いたり、②授業内容と関連のある新聞記事などを取り上げ、授業内容についての理解を深めたりします。受講生の理解度を考慮しながら授業を進行しますので、授業計画よりも授業進行が遅れる場合があります。

◆**準備学修** 授業計画に沿って、テキストの内容を予習してくることを勧めます。特に、複式簿記の計算構造に関する部分（第2章～第4章）は、初心者にとって難解な部分であるため、十分に予習することが必要です。会計に関する辞書などを利用しながら、専門用語などを理解したうえで授業に臨むと、さらに学修効果が上がります。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	① 第1章 現代社会と会計の役割 ② 第2章 簿記・会計の基礎知識 ③ 第3章 複式簿記の基本的手続 ④ 第4章 財務諸表の作成・決算の手続
2日目	① 第5章 株式会社のしくみ ② 第6章 日本の企業会計制度 ③ 第7章 損益計算書のしくみ ④ 第8章 貸借対照表のしくみ ⑤ 第9章 財務会計の分析
3日目	① 第11章 会計の監査 ② 第12章 管理会計と原価計算 ③ 第13章 税務会計 ④ 第10章 会計の国際化（受講生の理解度を考慮しながら進行） ⑤ 第14章 企業会計の展開（受講生の理解度を考慮しながら進行）

◆**教科書** 丸沼『はじめての会計学 [最新版]』日本大学会計学研究室編 森山書店 2,592円（税込）（送料350円）

◆**参考書** 丸沼『基礎 財務会計 [最新版]』五十嵐邦正著 森山書店 3,456円（税込）（送料300円）
丸沼『財務会計講義 [最新版]』桜井久勝著 中央経済社 4,104円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 期末テスト100%。毎回出席することを前提として評価します。

◆理論と展開

〔国語科教育法Ⅲ〕

担当者：野澤 拓夫

◆**学修到達目標** 「理論と展開」を骨子に、関係法規を照らしつつ、『国語科教育法Ⅲ』で説かれる内容を講義する。次には、その理念を『新編国語総合』の教科書の上で確かめ、それらがどのように反映されているのかを捉え、具体的な教材に即して、国語教育の現場で求められる指導力とは何かを考察する。初日の理論を基に、2日目から模擬授業を実施し、現代文・古文・漢文それぞれの具体的な展開例から議論を重ね、指導法の適否について検討する。

◆**授業方法** 『国語科教育法Ⅲ』巻末の「国語教育関係法規」などから、教育課程の意義と編成方法について捉える。具体的には、高校1年生の教科書（『新編国語総合』）を用い、学習指導案の作成など、現場に即した内容を基軸に、現代文・古文・漢文の模擬授業をグループ討議をふまえた演習形式で行い、全体で質疑と検討を重ねながら、その展開について考察を加える。

◆**準備学修** 事前課題として『新編国語総合』説話「児のそら寝」を、2時間を配当する前提で、本時を第1時間目とする学習指導案を作成し、スクーリング初日に提出すること。また、『新編国語総合』から、このシラバスに提示する7教材について、模擬授業を想定した展開例を考えておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	(1)ガイダンス・グループ編成・模擬授業の分担決め (2)模擬授業展開上の留意点の解説・質疑 (3)国語科教育法Ⅲの講義 (4)現代文授業の展開例 (5)古文・漢文授業の展開例
2日目	(1)現代文教材評論の演習「彼らがそれを学ばなければならない理由」 (2)古文教材物語の演習伊勢物語から「さらぬ別れ」 (3)漢文教材詩文の演習「春暁・涼洲詩」 (4)現代文教材随筆の演習「『赤毛のアン』との出会い」 (5)事前課題「児のそら寝」の返却と検討
3日目	(1)古文教材随筆の演習徒然草から「仁和寺にある法師」 (2)漢文教材史伝の演習十八史略から「管鮑の交わり」 (3)現代文教材小説の演習「羅生門」 (4)教材開発をめぐって (5)試験 (60分)

◆**教科書** **通材**『国語科教育法Ⅲ T30100』 通信教育教材（教材コード000545）3,300円（送料込）

※学修指導書付き

丸沼『新編国語総合』（教育出版 17 教出 国総 343）高校1年教科書 910円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 国語・古文・漢和の各辞書はもとより、任意に『新国語科教育基本用語辞典』等を備えておきたい。
学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講状況（40%）、提出物（20%）、試験（40%）により総合的に評価します。

◆第二言語習得研究理論からの英語指導

〔英語科教育法Ⅳ〕

担当者：岡田 善明

◆**学修到達目標** Rod Ellis 著 *Second Language Acquisition* を輪読し、第二言語習得研究の観点から、中学・高校の英語教育における指導法を考え、指導法を確立する。

特に英語指導を学習者の中間言語の発展的育成として捉え、コミュニケーション能力の指導の在り方を考えていく。

◆**授業方法** 予習として各章を読み、授業ではグループで内容に関して討論を行い、レポーターが発表する。また模擬授業を行い、学習した内容を踏まえた実際の指導法を身に着ける。

◆**準備学修** 事前に配布されるワークシートの問題に答えて、授業での討論に備える。（日本語による討論）

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	オリエンテーション、英語xの指導法、『英語教育の精神と実践』による解説、 <i>Second Language Acquisition</i> 1. Introduction: describing and explaining L2 acquisition を討論 2. The Nature of Lerner Language を討論
2日目	3. Interlanguage を討論 6. Psycholinguistic aspects of interlanguage ビデオによる授業鑑賞 模擬授業準備
3日目	模擬授業、 試験

◆**教科書** **丸沼**『英語教育の精神と実践』 岡田善明 春風社 1,944円（税込）（送料300円）

通材『英語科教育法Ⅳ T30400』 通信教育教材（教材コード000227）3,000円（送料込）

※学修指導書付き

◆**参考書** 学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 輪読、模擬授業、試験等で総合的に評価する。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆学校の諸問題と向き合う生徒指導・進路指導 【生徒指導・進路指導論】

担当者：宇内 一文

◆**学修到達目標** 生徒指導・進路指導は、学校教育において日常的な営みである。本授業では、学校現場における諸問題について学び、多角的な視点から「指導とは何か」を検討し、次の事柄について習得することを目的とする。

①生徒指導・進路指導の理論と方法を習得し、根拠をもって指導できるようになること。②学校教育の諸問題を、教師の立場のみならず、生徒や保護者、さらには市民や社会的弱者の立場でも考えられるようになること。③自身のキャリア形成について、積極的に考え続けてゆく手がかりを得ること。

◆**授業方法** パワーポイントによる講義形式で行います。併せて、授業で取り扱ったトピックについてグループでの話し合いやクラス全体でのディスカッションなどを行うことにより理解の定着と学びの深化を図っていきます。なお、授業展開や学生のニーズにより、授業計画の内容は多少変更することがあります。

◆**準備学修** 授業内で扱うテーマ（非行、不登校、体罰、ネット空間、LGBT、フリーター、発達障害など）に関する新聞記事を収集し、意見をまとめておきましょう。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	(1) オリエンテーション、(2) 生徒指導とは何か、(3) 生徒指導と教育課程、(4) 生徒指導の進め方、(5) 生徒指導に関する法整備 * 1日目は、生徒指導および生徒理解の理論と方法について学んでいきます。
2日目	(6) 非行、(7) 不登校、(8) 体罰、(9) インターネット空間のコミュニケーション、(10) LGBT、外国にルーツのある子ども、子どもの貧困 * 2日目は、学校教育における諸問題について学んでいきます。
3日目	(11) 進路指導とは何か、(12) キャリア教育、(13) 若者の雇用をめぐる問題、(14) 発達障害、(15) 生徒指導・進路指導に求められること * 3日目は、進路指導の理論と方法、キャリア教育について学んでいきます。

◆**教科書** 当日資料配付 パワーポイントのスライドをハンドアウトしたものを授業レジュメとして配布します。

丸沼『生徒指導提要』 文部科学省 教育図書 298 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 最終試験（70%）、授業参画度（30%）

【授業への取り組み、リアクション・ペーパーなどにより総合的に評価します。】

各期の開講講座表と講座内容（シラバス）

第6期

日 程		授 業 時 間	備 考
8月16日	水	各 日 9:00～17:30 ＜最終日は試験も含む＞	※時間内に昼休みを設けます。
8月17日	木		
8月18日	金		

※以下の第6期開講の講座から1講座を選択してください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意		受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	
C0F1	法 学	高須 則行	2	B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)		1年	
C0F2	政 治 学	関根 二三夫	2	B11700	政 治 学		1年	
C0F3	英 語 H	浦部 尚志	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III		2年	
				C10400	英 語 IV			
C0F4	英 語 J	八木 茂那子	1	C10100	英 語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英 語 II			
				C10300	英 語 III		2年	
				C10400	英 語 IV			
C0F5	知的財産権法	大滝 均	2	K31400	知的財産権法		2年	
C0F6	刑 事 訴 訟 法	南部 篤	2	K31700	刑 事 訴 訟 法		2年	
C0F7	日 本 政 治 史	石川 徳幸	2	L30400	日 本 政 治 史		2年	
C0F8	国語学演習 I～Ⅲ	鈴木 功眞	1	M401S0	国語学演習 I	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M402S0	国語学演習 II			
				M403S0	国語学演習 III			
C0F9	国文学演習 B	長谷川 正江	1	M404S0	国文学演習 I	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国文学演習 II			
				M406S0	国文学演習 III			
				M407S0	国文学演習 IV			
				M408S0	国文学演習 V			
				M409S0	国文学演習 VI			

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

講 座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
				科 目 コード	科 目 名	併 用	配当 学年	受 講 条 件	
C0FA	イギリス文学史 I	鈴木 ふさ子	2	N20100	イギリス文学史 I		条件 参照	・英文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0FB	英語学特殊講義	佐藤 健児	2	N311S0	英語学特殊講義	×	2年		×
C0FC	英語学演習 D	真野 一雄	1	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させ るのか充当科目コードを必 ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
C0FD	英米文学演習 E	佐藤 秀一	1	N404S0	英米文学演習 I	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させ るのか充当科目コードを必 ず記入してください。	
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
C0FE	哲 学 概 論	齋藤 隆	2	P30300	哲 学 概 論		2年		
C0FF	日本思想史 I	島田 健太郎	2	P30800	日本思想史 I		2年		
C0FG	哲学特殊講義	江川 晃	2	P31000	哲学特殊講義		2年		
C0FH	西 洋 史 入 門	後藤 秀和	2	Q20300	西 洋 史 入 門		条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申込 可。	
C0FJ	日本史特講 I	小川 雄	2	Q30800	日本史特講 I		2年		
C0FK	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高綱 博文	1	Q403S0	東洋史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ、Ⅱのどちらに該当させ るのか充当科目コードを必 ず記入してください。	
				Q404S0	東洋史演習Ⅱ				
C0FL	国 際 経 済 論	陸 亦群	2	R31100	国 際 経 済 論		2年		
C0FM	租 税 論	鶴藤 俊英	2	R31700	租 税 論		2年		
C0FN	中 小 企 業 論	小林 世治	2	S32700	中 小 企 業 論		2年		
C0FP	教育原論／ 教育の思想	北野 秋男	2	T10200	教 育 原 論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
				T10300	教 育 の 思 想				
C0FQ	英語科教育法Ⅰ	佐藤 恵一	2	T20900	英語科教育法Ⅰ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	
C0FR	地 誌 学 地 誌 学 概 論 地 理 学 概 論 (地誌を含む)	羽田 麻美	2	T21900	地 誌 学		2年	・哲学専攻・史学専攻・経済 学部のみ申込可。	×
				T22000	地 誌 学 概 論		2年	・法学部のみ申込可。	
				T22100	地 理 学 概 論 (地誌を含む)		2年	・商学部のみ申込可。	
C0FS	博物館情報・ メディア論	品川 欣也	2	Y21000	博物館情報・ メディア論	×	2年	・スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。	

注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

◆法はどのような在り方をしているのか？

〔法学〕

担当者：高須 則行

- ◆**学修到達目標** 1. 様々な社会規範を理解し、説明することができる。
2. 法の実在形式（法源）を理解し、説明することができる。
3. 憲法・民法・刑法の基本原則を理解し、説明することができる。

- ◆**授業方法** 講義形式で行いますが、その都度受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っております。
そのような双方向の授業を心がけていきたいと思っております。

- ◆**準備学修** 新聞等で社会的な問題を意識しておいてください。

- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	1. 日本における西洋法の継受 2. 社会規範の種類（法・道徳・慣習・マナー・戒律） 3. 自然法と実定法、成文法と不文法
2日目	1. 公法と私法と社会法 2. 近代法と現代法
3日目	1. 日本国憲法の基本原則 2. 民法の基本原則 3. 刑法の基本原則

- ◆**教科書** **当日資料配付** なし。レジュメを配布する。

- ◆**参考書** なし

- ◆**成績評価基準** 講義参加度（30%）・レポート（20%）・試験結果（50%）

◆政治を基礎から学びましょう。

〔政治学〕

担当者：関根 二三夫

- ◆**学修到達目標** 基礎教育としての講義を行います。議会及び内閣若しくは大統領の動きを見ますと政治が難しい事のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会や個人の発展に寄与するものです。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、政治が我々にとって身近な現象であることを学びます。

- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては、予習や復習が必要になります。

- ◆**準備学修** 政治学は社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。現実の社会を理解し、社会における問題を解決して、あるべき社会を築く必要があります。学修の準備としてメディアの情報に関心を持ち、テキストを参考に各単元、2時間程度の予習と2時間程度の復習が必要になります。

- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	政治学の変遷、政治の概念、政治の本質、政治権力（概念・構造・支配の手段）、国家（成立の要素・分類）、議会政治（沿革・原理） ※政治学は長い歴史を有していること、現実の政治やあるべき政治とは何か、政治の世界における力関係や影響力、国家を成立させる要素とは何か、議会政治の歴史や原理を学びます。
2日目	議会の構成、立法部と行政部（議院内閣制・大統領制）、選挙制度の原則、選挙区、選挙区の画定、代表選出の形態、政党（概念・特徴） ※一院制や二院制、立法部と行政部との典型的な関係、選挙の仕組みを支える原則、選挙区やその作成の基本的な考え方、代表を選出する形態、政党とは如何なるものか、また、その特徴を学びます。
3日目	政党（発展過程・機能・問題点）、圧力団体（概念・特徴・活動・問題点）、コミュニケーション（機能・類型・方向）とリーダーシップ ※政党がどのように発展して来たか、また、その動きや問題点を考え、圧力団体とは如何なるものか、その特徴や活動、問題点などを学びます。更に、組織や集団において重要なコミュニケーションやリーダーシップについて学びます。

- ◆**教科書** **通材**『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）1,850円（送料込）
※議会、内閣、裁判所の統治機構に関する解説、選挙、政党、圧力団体などの政治過程に関する解説に重点が置かれています。

- ◆**参考書** **丸沼**『教養政治学』岩井奉信、黒川貢三郎、関根二三夫他 南窓社、3,132円（税込）（送料350円）
※政治学の変遷、政治の概念、統治機構、政治過程などの解説に重点が置かれています。

- ◆**成績評価基準** 試験70%、平常点30% ※試験同様、質問や理解度テストへの解答等平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆ TOEIC® 対策【文法・読解問題・その他の基礎力養成を目指す】 【英語 H】

担当者：浦部 尚志

◆**学修到達目標** 現在 TOEIC® は、就職活動時に企業からスコア提出を必ず求められる程、大学生にとっての「マスト・アイテム」（“essential item”）となっています。当講座では、そのような状況に役立つような基礎的な「TOEIC® 対策」を講じつつ、総合的な英語の学力伸長を図れるような演習を行っていただきます。尚、昨年、出題形式が大改定されたばかりですので、新形式 TOEIC® の解説&対策も適宜行います。

◆**授業方法** 授業形態は、学生自らが発表する演習形式となります。TOEIC® の基礎的な「文法と読解」の問題を扱った教科書を丹念に解いてもらい、そこに詳細な解説を加えていきますが、各課項目別に分類された「文法」の模擬問題を、毎時、（受講者数にもよりますが）一人2問以上ずつ、解答と訳読をしていただきます。ボキャブラリー演習や、リスニング問題の対策等は、主に別テキスト（参考書の欄参照）のコピーで対応していきます。

◆**準備学修** 初回授業時まで教科書を購入の上、中の「文法問題」の解答とその正確な和訳ができるよう、指定範囲を十分予習しておくこと。下記の授業計画に沿って、毎時全員に発表を行っていただきます。「読解問題」に関しては予習を禁じませんが、（効率重視のため）時間を測り、その場で問題を解いていただきます。ボキャブラリーやリスニングの問題に関しては、当日コピーを用い、その場で問題を解いてもらいますので、事前準備は不要です。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	●ガイダンス（授業の進め方・成績評価の方法の確認／TOEIC® の特徴や、新形式 TOEIC® Test の傾向と対策など） ●Unit 1「名詞の可算・不可算」／Unit 2「冠詞・名詞・代名詞他の用法」／Unit 3「動詞の使い分け、態、時制、相」／Unit 4「五文型・助動詞」（各 Unit の「読解問題」、その他「語彙」や「リスニング」問題の演習も適宜行う）
2日目	●Unit 5「前置詞」／Unit 6「仮定法」／Unit 7「不定詞・動名詞」／Unit 8「現在分詞・過去分詞・分詞構文」／Unit 9「接続詞・関係詞」（各 Unit の「読解問題」、その他「語彙」や「リスニング」問題の演習も適宜行う）
3日目	●Unit 10「比較と否定の表現」／Unit 11「仮主語・無生物主語」／Unit 12「形容詞・副詞」／Unit 13「時制他」（各 Unit の「読解問題」、その他「語彙」や「リスニング」問題の演習も適宜行う）／授業のまとめ（これまで学んだことを包括的に整理・復習します） ●最終試験 *諸事情で進度が計画通りに進まない場合もありますので、その場合はご了承下さい。

◆**教科書** 丸沼『Essential Practice for the TOEIC® Test 一海外旅行・文化編一』 浦部尚志・編著 英光社 2,160 円（税込）（送料 300 円）【*必ず、第2刷以降の版をご購入下さい】
[当日資料配付] プリント資料配布（ボキャブラリー、リスニング関係）は、当日行います。

◆**参考書** 丸沼『Basic Vocabulary & Dialogues for the TOEIC® Test』（『リスニングプラクティスで学ぶ』TOEIC® 基本語彙と会話リスニングの基本演習） 浦部尚志・編著 英光社 2,376 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『Success Course for the TOEIC® Listening and Reading Test』（『新形式 TOEIC® Test の攻略』） 浦部尚志・編著 英光社 2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 発表・提出物（20%）、平常点【授業への取り組み・積極性】（20%）、筆記試験（60%）で評価します。
*無欠席者（＝全出席の者）のみを成績評価の対象とします。

◆楽しみながら文法力と読解力をつけましょう（２）

〔英語 J〕

担当者：八木 茂那子

◆**学修到達目標** 英語の基本的な文法を振り返りながら英文構造の理解を深め、英文を返り読みせずに文脈に沿って意味の区切りを意識しながら読んでいく習慣をつけ、頭の中に英語の思考回路を作ること、現在あるよりもう一段階上へ step up するために種々の training を通し英語の運用能力を高めることを目標とします。

◆**授業方法** 対面による演習を中心とした一斉授業を行います。英語の４技能（Listening, Speaking, Reading, Writing）を up するために self-training, pair work, group activities 等を取り入れ、飽きの来ない授業にしたいと思えます。

◆**準備学修** 英語の基本的な文法を振り返りながら英文構造の理解を深め、英文を返り読みせずに文脈に沿って意味の区切りを意識しながら読んでいく習慣をつけ、頭の中に英語の思考回路を作ること、現在あるよりもう一段階上へ step up するために種々の training を通し英語の運用能力を高めることを目標とする。

◆**授業計画**〔１日目：450 分，２日目：450 分，３日目：450 分〕

１日目	Grammar Sections : Unit 3 英文の骨格 (1) - 単語の並べ方 / Unit 4 英文の骨格 (2) - 単語の並べ方 / Unit 7 『時』を表す仕組み (3) Unit 8 『時』を表す仕組み (4) Reading Sections: Unit 7 Level 1&2 / Unit 8 Level 1 & 2 より適宜 必要に応じて 確認・発展テストの問題練習 を行う。 Group Activity (1)
２日目	1 日目の復習と演習 Grammar Sections : Unit 9 尋ねる文 / Unit 10 -ing があらわすもの / Unit 11 受動態 Reading Sections: Unit 9 Level 1 & Level 2 / Unit 10 Level 1 & Level 2 / Unit 11 Level 1 & 2 より適宜 Group Activity (2)
３日目	1・2 日目の復習 Reading Sections: Unit 11 Level 1 & 2 / Unit 12 Level 1 & 2 / Unit 12 Level 1 & 2 / Group Activities / Oral test (Recitation) / Examination

◆**教科書** 丸沼『Dear Class』 永本・八木・町田・エルズワース共著 (株) 南雲堂 2,268 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 筆記試験 50% + 小テスト 20% + Oral test 30% による総合評価 (クラスのレベルにより一定の基準になるよう調整を加えることがある。)

◆知財応用能力の開眼（【単位】も【資格】も）〔知的財産権法〕

担当者：大滝 均

◆**学修到達目標** 知的財産に関する一般的基礎知識の習得及びそれに基づく実務的応用能力（例：起業（諸君がビジネスを始める）、取扱商品のネーミング？ 商標取得可？）の習得。講座内で実施するビジネス著作権検定（初級・上級）合格を目指す（「単位」も「資格」も同時取得）。

◆**授業方法** パワーポイント投映により、知的財産権制度を概略する。その後、インターネットにより、特許先行技術、先行商標の調査等の実務的応用能力を身につける。知的財産権は、特許庁登録で権利創設される知的財産権、創作により自動的に権利が発生する著作権の知的財産権の外、一定の競業状態の維持を目的とした知的財産権等に分けられる。これらの全てを扱うことは時間的にも無理だが、できるだけ広く理解できるよう説明したい。

◆**準備学修** 教科書は事前に読み込んでおくこと／基本的に板書はしない（レジュメ参照）／自宅学習（宿題）有

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	パワポによる知的財産権法制度概略／PCによる特許調査・商標調査 知的財産権法外観／教科書レジュメによる特許法詳解 ※午前ビジネス著作権検定（ http://www.sikaku.info/ ）を説明、午後（or 2日目）に受験申込（要受験料：受験者のみ） ※検定のみ受験者も申込来校の上、受験料を納付すること
2日目	教科書レジュメによる実用新案法詳解 同 著作権法詳解 同 意匠法・商標法詳解
3日目	知的財産権侵害（特許権侵害／著作権侵害／不正競争防止法上の侵害等） 救済（民事、刑事）／国際的保護・ヨーロッパ統一知財裁判所 単位修得試験 ビジネス著作権検定試験（初級・上級）（※検定委員会実施団体試験）

◆**教科書** 丸沼『知的財産法（第4版）』伊藤真著 弘文堂 2,160円（税込）（送料300円）

◆**参考書** 『知財法令集』（サイト閲覧可、ただし、試験持ち込みは法令集書のみ可）
〈図書館等を利用してください〉

丸沼『瞬解「ビジネス著作権検定テキスト初級・上級」』青月社 2,160円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 小テスト等を含む受講態度（50％）／終了試験（50％）

◆刑事手続を規律する法をまなぶ

〔刑事訴訟法〕

担当者：南部 篤

◆**学修到達目標** 犯罪捜査から起訴、公判、裁判の執行に至る刑事手続を規律する法である刑事訴訟法の基礎を理解することを基本的到達目標とする。そのうえで、刑事手続が直面する課題にも目を向け、今日の刑事司法制度のあり方についての問題意識と理解の獲得を発展的到達目標とする。

◆**授業方法** 授業は、第1日と第2日は各5コマの講義を行い、第3日は3コマの講義と1コマの予備と質問の時間、および1コマの試験の時間に充て、全15コマ構成で展開する。テキストに沿って進めるが、テーマの重要度・難易度、受講者の理解度等に配慮し、割愛と捕捉を行う。

◆**準備学修** あらかじめテキストの該当部分に目をとおり、一読して理解ができるところと、そうでないところとの区別を意識しつつ予習を行い、授業に臨むこと。その際、法律学辞典や各種専門書、参考書等の索引などを活用し、自ら積極的に学修に取り組む姿勢で授業に参加すること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	①ガイダンス／刑事訴訟制度の意義／刑事法の体系における刑事手続に関する法の意義／刑事訴訟の担い手 ②犯罪捜査（その1）、③犯罪捜査（その2） ④犯罪捜査（その3）、⑤公訴の提起
2日目	⑥訴因と公訴事実 ⑦公判手続（その1）、⑧公判手続（その2） ⑨証拠法の基礎、 ⑩自白
3日目	⑪伝聞証拠と伝聞法則 ⑫裁判の意義と種類、⑬上訴と非常救済手続 ⑭予備の時間・質疑の時間 ⑮試験

◆**教科書** 丸沼『刑事訴訟法（Next教科書シリーズ）』関正晴編 弘文堂 2,592円（税込）（送料300円）
六法（出版社を問わないが、必携である。）

◆**参考書** 開講時に、また、適宜に紹介する。

◆**成績評価基準** 最終授業時に行う筆記試験答案の採点、授業への参加度等の確認を通じて、上に記した学修到達目標をどの程度達成したかを測り、成績評価を行う。

◆昭和前期の日本政治

〔日本政治史〕

担当者：石川 徳幸

◆**学修到達目標** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史の形で学んでいく。歴史の流れを正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは得策ではないが、便宜上、本講義では昭和前期（戦前期・戦中期・占領期）を対象とする。第二次世界大戦前後の背景を理解するとともに、歴史的事象の見方や考え方を身につけてもらいたい。

◆**授業方法** 基本的には、教科書の章立てに沿った形で講述する。授業内容は、あくまでも初学者を対象とした内容で構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、各自、ノートを必ず持参すること。

◆**準備学修** 予習として、事前に教科書の該当範囲（第8章～第10章相当）に目を通しておくこと。復習として、受講中にとったメモを整理し、ノートをまとめておくこと。

◆**履修条件** 昼間スクーリングで同科目を履修しているか、教科書第7章までを通読していることが望ましい。

◆**授業計画**（1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分）

1日目	「軍部支配と戦争への歩み」 政党政治の隆盛と国際的孤立／戦争とファシズムへの道／日中戦争 ※二大政党による国内政治の展開と、軍部が政治に進出してくる過程を詳しくみていく。
2日目	「大日本帝国の崩壊」 第二次世界大戦の勃発／アジア・太平洋戦争（大東亜戦争） ※戦時体制の形成過程と、敗戦までの政治情勢について詳しくみていく。当時の対外論の論理を考察する。
3日目	「新生日本の誕生」 対日占領政策／政党政治の復活 ※GHQの指令に基づく戦後改革について概観するとともに、現代に連なる諸制度の形成過程について詳しく見ていく。 3日間の内容を総括した後、筆記試験を実施する。

◆**教科書** **通材**『日本政治史 L30400』 通信教育教材（教材コード000452）3,100円（送料込）

◆**参考書** ※参考書は、必要に応じて授業の中で紹介する。

◆**成績評価基準** 筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。なお、全体の3分の1を超える欠席がある場合、評価の対象としない。

◆**学修到達目標** 日本語に就いて研究する実際の分析考察方法を知るために、具体的な文献として中世後期の抄物資料のうち、清原宣賢による『長恨歌抄』を採り上げ、本文を全員で分担解読し、調査・考察報告を行う。その作業を通して、日本語学的な分析考察方法を獲得することを目標とする。

◆**授業方法** 演習科目なので、全員が報告をする。受講生数が決まり次第、事前資料を配付し、分担箇所を指示する。開講前に十分な日本語学的作業を行った報告資料を作成した上で授業に臨むこと。作業方法は配付資料に示す。必要に応じて報告時の討議で明らかとなった課題についてレポートを課すことがある。

◆**準備学修** 事前配布資料を熟読の上、日本語学・日本語史や中世後期の抄物資料に関する日本語学的研究の情報を参考書等を中心に把握しておくこと。参考書は図書館で閲覧するレベルのものもある。第一回発表については、自分の担当箇所はもちろんのこと、前後も読んだ上で、準備を進めること。第二回発表についても、3日間のスクーリング期間中はなかなか進められないため、事前に準備しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス 日本語学的調査方法について。 中世資料、特に抄物資料、『長恨歌抄』の日本語学的性格に就いて。 発表と討議 1—1 正確な本文解読の獲得。
2日目	発表と討議 1—2 正確な本文解読の獲得と考察ポイントの探求。 特に、現代日本語との相違の自覚。 発表と討議 2—1 日本語学的位置づけの検討に向けて。 古典語から現代語への変化の過程の把握を中心に。
3日目	発表と討議 2—2 日本語史の変遷の中で当該資料をどう位置付けるかの検討。実際の本文を通じた調査と先行研究の指摘の対応に就いての確認。 まとめ 対象資料を中心とした日本語の実態と、日本語史全体の把握。

◆**教科書** **事前資料送付** 事前にプリントを配布する。

◆**参考書** **丸沼**『日本語大事典』 佐藤武義他編 朝倉書店 8,100円（税込）
丸沼『日本語研究法【古代語編】』 青葉ことばの会編 おうふう 3,024円（税込）（送料300円）
丸沼『国語史を学ぶ人のために』 木田章義編 世界思想社 3,132円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 第一回、第二回発表および質疑応答への参加100%。場合によっては出席態度を加味する。

◆井原西鶴の町人物を読む

〔国文学演習 B〕

担当者：長谷川 正江

- ◆**学修到達目標** 井原西鶴の浮世草子の中から町人物と称される『日本永代蔵』『世間胸算用』『西鶴置土産』『万の文反古』の数章を読み、浮世草子に描かれた風俗や人間像について学び、江戸時代前期の語彙や表現、西鶴の文体的特徴を理解する。テキストには影印本を用いて変体仮名や崩し字に触れ、古典籍の原文を読む意義を考える。
- ◆**授業方法** 受講者決定後に、テキストに収録されている短編作品を適宜割り振り、全員に通知する。各作品については、個々の学生の準備に基づいた発表と、質疑応答による演習形式で行う。また、どうしても欠席者が出るため、その空き時間を適宜影印本の翻刻作業に充てる。これは正解を確認した上で、毎回答案を回収するものとする。
- ◆**準備学修** 扱う作品の翻刻・注釈は複数ある。それらを比較・対照した上で、各自発表の準備をすること。発表に当たっては、各自A4サイズの発表資料を最低一枚は用意し、教員と受講者全員に配布すること。その際テキストの注釈を補う資料作成を心がけること。各自市販の変体仮名手引き書を用意し、持参すること。出版社は問わない。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	・近世前期の京都・大阪を中心とする出版界の概略につき長谷川が講義する。 ※西鶴本の印刷部数や値段はどのくらいだったか。江戸でも販売されたのか。 ・以下、学生による発表と質疑応答。一章を複数名で担当する場合がある。 ・日本最初の経済小説『日本永代蔵』に描かれた成功者と没落者の群像。 ※当時のベンチャー企業越後屋、今の三井グループの成功の秘訣は何か。
2 日目	・西鶴晩年の傑作『世間胸算用』にみる江戸時代の町人の生活ぶり。 ※当時一年最大の収支決算日は大晦日。その24時間に密着した特異な作品。 ※借金取りに追われる庶民がここで借金を返せない場合、明日の正月から果たしてどうなるのか。自己破産制度・生活保護制度・年金制度もない“自己責任”の格差社会で、庶民はどうやって生き延びるのか。
3 日目	・遺稿集にも商品価値があった人気作家西鶴。没後に江戸版や改題本も続出。 ・『西鶴置土産』…好色ゆえに没落した男たちが遺した最後のメッセージとは。 ・『万の文反古』…寺子屋のテキスト「往来物」を真似た手紙形式の短編集。 ※簡便なメールがない時代、人は書簡文に何を託そうとするのか。 ・各自の担当箇所を中心としたレポート形式の試験、変体仮名翻刻の試験。

- ◆**教科書** 丸沼『影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ』 雲英末雄・谷脇理史他編 新典社 1,404円（税込）（送料215円）
- ◆**参考書** 教科書巻末に「工具書・参考書について」が掲載されている。受講者からの事前の質問によっては、こちらから個々に指示する場合がある。
- ◆**成績評価基準** 配布資料と発表内容の充実度（45%）、質疑など授業への参加度・影印翻刻への取り組み姿勢（20%）、レポート形式の試験の達成度（35%）。変体仮名の翻刻が出来ていなくても、不合格とはしないことを明言する。

◆イギリス文学を巡る—黎明期～シェイクスピア

【イギリス文学史Ⅰ】

担当者：鈴木 ふさ子

◆**学修到達目標** 黎明期からシェイクスピアの時代までの時代背景と思潮を辿り、それぞれの時代を代表する作家について学び、その作品を鑑賞することによって、イギリス文学の基本的な知識を身につけます。また、文学とその時代のイギリス文化と社会との関わりについて理解を深め、最終的にはイギリス文学の魅力を知ってもらうことを目標としています。

◆**授業方法** 基本的には下記授業計画に沿って、テキストを中心に各時代の背景と思潮を学びます。その後、代表的作家と作品をジャンル別（詩・散文・劇）に概観していきます。講義で重点的に扱う作家と作品についてはプリントを適宜配布し、映像なども利用して補足説明を行い、作品の抜粋部分を原文で鑑賞します。なお、鑑賞した作品についてコメントを求める場合もあります。

◆**準備学修** 第一日目の初めはイギリス文学史を学ぶ前の準備運動となるので、イギリス文学の特徴や代表的な作品には何があるのかを考えてきて下さい。下記シラバスに沿って授業で扱うテキストの章は熟読し、全体的な流れをつかんだ上で、各時代の特徴を把握し、その時代の代表的作家にはどのような人物がいるのかジャンル別に頭に入れてきて下さい。不明な用語は『英米文学事典』にあたるなどして調べておくようにしましょう。

◆**履修条件** 平成28年度東京スクーリング（7月期）「イギリス文学史Ⅰ」との積み重ね不可

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	●ガイダンス（イギリス文学への誘い）、プロローグ イギリス文学の黎明期（詩概説、ベオウルフなど） ●第1章チョーサーの時代（時代背景と思潮、詩概説、チョーサーについて）
2日目	●第1章チョーサーの時代（劇概説、道徳劇・散文概説、トマス・マロリー、アーサー王伝説） ●第2章（シェイクスピアの時代 時代背景と思潮、詩概説、スペンサー『妖精女王』・ソネットについて、シドニー、シェイクスピアの『ソネット集』の作品をいくつか読む、モア、ペイコンについて）
3日目	●第2章（シェイクスピアの時代 劇概説、シェイクスピアの初期悲劇） ●これまでの総まとめ ●試験

◆**教科書** 丸沼『はじめて学ぶイギリス文学史』 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料350円）
当日資料配付

◆**参考書** 丸沼『英語文学事典』 ミネルヴァ書房 4,860円（税込）（送料460円）
丸沼『たのしく読めるイギリス文学』 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料350円）
丸沼『映画で英詩入門』 平凡社 1,404円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 全出席を前提に、以下のような割合で成績の評価をします。無遅刻・無欠席を前提に、授業に対する取り組み・積極性・発表（20%）・コメント（10%）・試験（70%）

◆「前段階」性から見た英語の文法・語法

【英語学特殊講義】

オープン受講：不可 担当者：佐藤 健児

◆**学修到達目標** We will be stopping at Nagoya...に見るような will be -ing の意味、条件文の帰結節における be going to の容認可否性などについて、進行形の「前段階」性の立場から統一的に説明できるようになること、それを本講義の目標とします。

◆**授業方法** 授業計画に挙げたテーマについて、ハンドアウトと『英文法解説』をもとに講じます。一方的な授業にならないよう、受講者のみなさんにも文献の一部を読んでもらいます。

◆**準備学修** 『英文法解説』の§145.～157.を熟読しておくこと。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	「自然の成り行き」を表す will be -ing について学びます。
2日目	進行形の「前段階」性について学びます。
3日目	条件文の帰結節における be going to について学びます。 試験。

◆**教科書** 丸沼『英文法解説 一改訂三版一』 江川泰一郎著 金子書房 1,836円（税込）（送料350円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 試験（100%）。ただし、全ての授業に出席することを前提に評価します。

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語学を基礎から学びましょう

〔英語学演習 D〕

担当者：真野 一雄

- ◆**学修到達目標** 英語という言葉がどういう仕組みになっているのか、文のレベルで、英文学専攻の学生として必要な知識を修得し、説明できるようになることを目的とします。
- ◆**授業方法** テキストの解説、補足説明を行い、用例を正しく認識し、理解を深めていきます。必要に応じて担当講師が用意する練習問題を行います。
- ◆**準備学修** 重要語、用例については特に注意して、テキストを読み、理解できるところ、できないところを自覚しておいてください。
- ◆**履修条件** 平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」との積み重ね不可
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	第4章 統語論 機能的構文論
2 日目	第5章 語彙意味論 第6章 認知意味論
3 日目	第7章 語用論 試験+その解説

- ◆**教科書** 丸沼『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版 1,944 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 通材『英語学概説 N30700』通信教育教材（教材コード 000400）3,100 円（送料込）
〈この本は市販の安藤貞雄・澤田治美編『英語学入門』開拓社と同じです〉
- ◆**成績評価基準** 受講状況（10%）、試験（90%）で評価の予定。6回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

◆W. Faulkner の短篇からの作風

〔英米文学演習 E〕

担当者：佐藤 秀一

- ◆**学修到達目標** 20 世紀世界文学界の巨匠 W. Faulkner の短篇を取り上げ、そのコンテクストはさることながら、さまざまな実験的手法を考察し、それぞれの作品の魅力を味わうことができるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は、演習形態で、受講生には個々にあるいはグループワーク等で予め分担された箇所を和訳、あるいは要約し手法、描写、内容等において疑問や問題点、感動したことといった自分の想いを発表してもらう。
- ◆**準備学修** W. Faulkner の作家活動のプロフィール、また、作品の社会的背景、手法等を見ておいて欲しい。三日間の短期間で集中的に行われる講座なので進む度合いも早いですのでテキストの予習は入念に行って下さい。そしてそれぞれの作品について自分の意見、考えをもって授業に参加してください。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1 日目	ガイダンス、(授業の進め方、成績評価、グループワーク等) アメリカ南部文学、南部とは何か、南北戦争の意味、南部文明の特質 <i>A Rose for Emily</i> 解釈、発表、ディスカッション
2 日目	<i>A Rose for Emily</i> 解釈、発表、ディスカッション <i>That Evening Sun</i> <i>Dry September</i>
3 日目	<i>Dry September</i> 解釈、発表、ディスカッション <i>Red Leaves</i>

- ◆**教科書** 丸沼『*A Rose for Emily and Other Stories* by W. Faulkner』大橋健三郎註 英宝社
1,620 円（税込）（送料 215 円）
- ◆**参考書** 授業内で随時紹介します。
- ◆**成績評価基準** 授業への参加（予習、発表、受講への積極的姿勢等） 40%、試験 60%

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆近世哲学以降の展開

〔哲学概論〕

担当者：齋藤 隆

◆学修到達目標 デカルトとF. ベーコンに始まる近世哲学の二大潮流を概観し、それらがカントによって批判的に総合され、ヘーゲルに至る展開を理解する。

◆授業方法 テキストと印刷物を用いて、講義中心に授業をすすめる。質問は随時受けつけるので、遠慮なく発言してもらいたい。

◆準備学修 プラトンとアリストテレスの基本的理解、キリスト教についての一般的な理解を心がけていただきたい。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	哲学とはなにか プラトンとアリストテレス、キリスト教、教父哲学とスコラ哲学（以上を簡単に概観する）、デカルトと合理論哲学の展開（1）
2日目	デカルトと合理論哲学の展開（2）、F. ベーコンと英国経験論哲学の展開、カント哲学
3日目	カントからヘーゲルへ、ヘーゲル哲学批判

◆教科書 教材『哲学 B10700』 通信教育教材（教材コード000404）3,350円（送料込）※学修指導書付き

◆参考書 事前資料送付 印刷物を事前に送付する。

◆成績評価基準 最終日に行う筆記試験の成績を中心に評価する。

◆禅の思想—栄西と道元—

〔日本思想史Ⅰ〕

担当者：島田 健太郎

◆学修到達目標 禅の思想は中世以降の日本文化に少なからぬ影響を及ぼしています。今回は鎌倉時代の栄西と道元を取り上げ、彼らの思想がどのようなものであったかを考えていきます。これらを通して、当時の禅の思想がどのようなものであったか理解するとともに、時間や存在といった哲学的問題に対する理解を深めることをも目標とします。

◆授業方法 プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。授業中の質問は大歓迎です。また適宜質問票を配り、そこで出された皆さんの質問・疑問を授業に反映していこうと考えています。

◆準備学修 授業で扱うであろう神や神社、仏教や神道の専門用語の意味を事前に調べておくことで授業がききやすくなります。また授業時には自分が参照できるもの（簡単な辞典や辞書など）を持参しておくことで便利です。さらに授業後、授業内容を復習しながら、用語のチェックや問題点・疑問点をまとめておくとうよいと思います。

◆授業計画〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	・栄西と臨済禅 臨済禅について一院政期の思潮—大日能忍—栄西の生涯—『興禅護国論』
2日目	・道元と曹洞禅（1） 曹洞禅について—道元の生涯—道元の思想（坐禅、修証一等、典座教訓、存在論と時間論）
3日目	・道元と曹洞禅（2） 存在論と時間論 ・円爾弁円の思想

◆教科書 当日資料配付 教科書は使用しません、当日プリントを配布します。

◆参考書 授業中、適宜指示します。

◆成績評価基準 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して総合的に評価します。

◆文化記号論入門

〔哲学特殊講義〕

担当者：江川 晃

◆**学修到達目標** 新聞、テレビ、広告、ロゴマーク、アート、写真、ファッション、モバイル、ゲーム、バーチャル・リアリティ、サイバースペース…。さまざまなメディアや文化を通してつくりだされる世界の意味とは何か？ 私たちの身のまわりにみられる意味のメカニズムを解き明かし、メディアから自由になるための批判力を養うことができる。

◆**授業方法** まず記号論について概略する。次に、記号論の歴史に言及し、ソシュールとパースの記号論について説明する。次に、具体的な文化やメディアを取り上げ、リアルタイムな事件等を用いて、文化現象を記号論的に読む。パワポによるビジュアル教材も多く取り入れる。

◆**準備学修** 配布プリントを事前によく読んでおいてください。授業終了後に課題を出します。つぎの授業はそれに対するコメントからはじめます。アクティブな授業にしましょう。ご協力を！

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	ガイダンス：記号論（SEMIOTICS）とは何か 「ダヴィンチ・コード」の記号論（「聖杯」とは一体何であったのか） 「ロゴマークは思想である」 記号について考えよう 記号論の歴史（ルーツは医学にある）
2日目	ソシュールの記号論メディアの神話作用（1枚の写真の裏には神話が隠されている） 衣服の記号論モード（流行）は「ことば」（記号）です 記号現象として広告・宣伝 パースの記号論 情報記号論とは何か
3日目	バーチャルリアリティの記号論 シネマ "MATRIX" とは何か "What is the real ?" ホフマイヤーの生命記号論 試験

◆**教科書** **事前資料送付** **当日資料配付** すべてプリント配布

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 課題（50%）、試験（50%）

◆**学修到達目標** いわゆる西洋史とよばれる分野において卒業論文を作成することを目的とする学生が、自ら選んだテーマおよび時代について、問題を設定し、先行研究を収集し、史料を調査し、論じることを、すなわち大学生として自ら研究を進めることができるように、基礎的な方法を身につけることを目標とする。

◆**授業方法** 「興味を持っていること」を具体的に論じるための準備作業として何が必要なのか、教員の専門領域における実例などを交えながら、順を追って講義する。また、参加者には図書館内の参考図書を用いた調査、「文献カード作成」実習、簡単な個人テーマ報告も行っていた。

◆**準備学修** 卒業論文への第一歩として、自分が何を論じたいのかをはっきりさせなければならない。そこで、各自が現在興味を持っているテーマ、地域、時代（現時点では必ずしも具体的である必要はない）について、またそのテーマに興味を持つきっかけとなった書籍や論文その他について A4 の用紙一枚程度にまとめて事前に提出していただく。

◆**履修条件** 積み重ね履修を禁じるものではないが、入門講座という性質上、同一教員による当授業を複数回履修することによる教育効果は高くない。よって既修者に対しては、報告・討論やグループワークにおいて主導的な役割を果たしているか否かが成績評価における重要な基準のひとつとなっていることを予め理解しておいていただきたい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	導入：「西洋史学」とは何をする学問か／1. 問題意識と暫定テーマの選定／2. 研究対象の場について考える：ヨーロッパの環境／3. 関心の所在を説明してみる（受講者による報告・質疑応答）／4. 「やりたいこと」と「できること」：史料上の制約と方法論による克服、いくつかの事例から
2日目	5. 叙述の作法その1（研究史）：論文の作法は論文から学ぶ／6. 作業道具としての辞書、歴史地図、統計、概説書／7. 先行研究を集める：芋づる式／8. 先行研究を集める：網羅的調査（図書館内での実習）／9. オンライン調査とその限界、注意すべき点／補：文書館調査の実際
3日目	10. 書籍カードを作る（受講者による実習）／11. 図書館の利用方法（状況が許せば実習形式）／12. 叙述の作法その2（脚注と史料および参照文献リスト）：「科学」であるための検証可能性の確保／13. 章節立て：作業の意味と実際／まとめ：調査計画の作成

◆**教科書** 使用しない

◆**参考書** 事前提出レジュメ作成を案内する際、および講義時にお知らせする

◆**成績評価基準** 事前提出のレジュメ（内容だけでなく形式も）、授業内の質疑応答、実習、授業内レポートによって総合的に評価する。

◆戦国時代の大名権力と国際情勢

〔日本史特講Ⅰ〕

担当者：小川 雄

◆**学修到達目標** 日本の戦国時代には、大名権力の全国展開とともに、新しい秩序が形成され、さらに周辺地域（東アジア・東ユーラシア）への対応も変容していきました。授業では、戦国時代から江戸時代にかけて成立した秩序のあり方を確認しながら、日本だけではなく、国際情勢も含めた歴史理解を学習することを目標とします。

◆**授業方法** 当日配布するプリントを中心に授業を進めていきますが、区切りごとに質問も受け付けます。また、受講人数によっては、博物館・資料館などの展示を見学することがあります。その場合は、筆記試験の他に見学レポート（600字程度）を出してもらいます。

◆**準備学修** 理解の下地をつくるうえで、事前に指定した参考書や手持ちの参考書を読んでおいてください。また、プリントに掲載した書籍を受講後に読んでおくと、復習に役立ちます。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	足利将軍家と戦国大名 ※戦国時代における大名権力の動向を確認しながら、足利将軍家を中心とする秩序が16世紀の後半まで継続していた状況を学びます。
2日目	豊臣大名・徳川大名と東ユーラシア世界 ※豊臣氏・徳川氏に取り込まれた戦国大名・国衆の動向や、日本周縁における国際情勢の変容を学びます。
3日目	鎖国と海禁 ※16・17世紀の対外関係を確認し、「鎖国」「海禁」と称される状況が成立した意味を学びます。 筆記試験

◆**教科書** 〔当日資料配付〕プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『一揆と戦国大名』久留島典子 講談社学術文庫 2009年 1,296円（税込）（送料215円）
丸沼『紫禁城の栄光』岡田英弘・神田信夫・松村潤 講談社学術文庫 2006年 1,220円（税込）（送料215円）

◆**成績評価基準** 3日目の筆記試験（100%）※全日出席を前提とします。

◆アジアと日本—アジア主義を考える—

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕

担当者：高綱 博文

◆**学修到達目標** テキスト・中島岳志『アジア主義—その先の近代へ』を講読しながら、近代におけるアジアと日本の関係を考えながら、今後日本はアジアにおいてどのように生きていくべきかを模索する。

◆**授業方法** 授業開始の1ヶ月ほど前に資料を送付しますので、担当したテキスト個所についてレジュメ（内容要約・コメント等）を作成する。また関係する映像資料の視聴により理解を深めます。

◆**準備学修** 予めテキストを学習し講読の準備を行う。また研究発表のために参考文献や史料を調べて準備する。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	アジア主義とは何か（講義） 明治期のアジア主義（報告・討論） アジア主義者・宮崎滔天と孫文に関する映像視聴
2日目	大正期のアジア主義（報告・討論） アジア主義者・北一輝に関する映像視聴
3日目	昭和期のアジア主義（報告・討論） アジア主義者・大川周明に関する映像視聴

◆**教科書** 丸沼『アジア主義—その先の近代へ』中島岳志 潮出版社 2,052円（税込）（送料300円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 3日間の出席を前提として授業への取り組み（発表・討論等）により総合的に評価します

◆オープンマクロ経済学

〔国際経済論〕

担当者：陸 亦群

◆**学修到達目標** オープンマクロに重点を置き、国際収支表の基本構造と国際収支の基礎理論、開放経済体系下の経済政策の有り様、ならびに為替相場決定メカニズムや国際通貨制度等について学び、現実な国際経済問題を理解する土台を作り上げること为目标とする。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心にパワポイントを使用して授業を進める。必要に応じて講義関連資料および国際経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。

◆**準備学修** 国際経済論は応用経済学分野の科目であることから、経済学概論、経済原論（経済学原論）、経済学の何れかの科目を履修済みの上、本講義を受講することをお勧めする。事前に経済学の基礎理論を予習し、講義終了後に教材内容に付き合わせてノートを整理し復習すること。

◆**履修条件** 平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「国際経済論」の受講が望ましく、平成 29 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「国際経済論」との積み重ねは不可

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	オリエンテーション（国際経済論とは） 国際収支表構造、国際収支均衡と IS バランスアプローチ 外国貿易の乗数効果と弾力性問題
2 日目	財市場の均衡と貨幣市場の均衡 マンデル＝フレミングモデル 開放経済体系と経済政策の役割
3 日目	為替相場変動の市場へのインパクトと外国為替相場決定メカニズム グローバル化下の資本移動とリスクマネジメント 講義のまとめ

◆**教科書** **教材**『国際経済論 R31100』 通信教育教材（教材コード 000281）2,000 円（送料込）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 筆記試験 80%，講義態度（出席）20%。基礎理論を身に付けているかを判定する。

◆身近な税金から学ぼう

〔租税論〕

担当者：鶴藤 俊英

◆**学修到達目標** 身近にある実際の税金を学び、あるべき租税の制度について考えてみましょう。税金は、国民の会費とも言われています。将来の日本の姿を見つめながら、本当に必要な税金についての理解を深めます。

◆**授業方法** 原則として、教科書を中心に進めます。身近な話題として、時事を報道する新聞に掲載された問題にも言及します。必要に応じてプリントを配布します。

◆**準備学修** 納税は国民の義務ですが、日本という国（国民生活）の維持管理の財源です。自身の生涯設計にも不可欠な要素です。講義時間内は考えてもらうことに主眼をおいているので、事前に教科書には目を通しておいください。

◆**授業計画**〔1 日目：450 分、2 日目：450 分、3 日目：450 分〕

1 日目	財政の現状と税金、税と社会保障の改革、租税基礎理論、財政民主主義
2 日目	所得課税理論（所得税、法人税）
3 日目	消費課税理論、資産課税理論

◆**教科書** **教材**『よくわかる税法入門最新版』 三木義一編著 有斐閣 2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 最終日の試験、毎日行うリアクションペーパー（レポート）

◆中小企業の構造と課題

〔中小企業論〕

担当者：小林 世治

- ◆**学修到達目標** 中小企業を、経済社会の身近で重要なアクターとして捉え、その発展について考えること。そして、日本の中小企業が抱えている課題を歴史的・構造的に理解し、解決の手がかりや新たな可能性にも目配りができるようになること、が目標である。
- ◆**授業方法** 単元（午前2コマ、午後3コマ）ごとに、前半はパワーポイント等を使って概要を説明し、後半は受講生との双方向な質疑応答や、受講生どうしのディスカッションを行う。
- ◆**準備学修** 指定テキストをしっかりと読んで、わからない用語等を調べ、内容を理解しておく。できれば最新のデータに当たり確認すること。疑問点や異なる意見をメモし、授業中の質疑やディスカッションに備えてほしい。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕
- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 【キーワード】二重構造論、経営資源の格差、中堅企業論、問題型と貢献型、開廃業率、内発的発展論
中小企業の定義と日本経済に占める地位・役割を概観します。とくに大企業との比較および関係、そして地域経済との強い結びつきに注目します。（教科書：序・1・2・3・9章） |
| 2日目 | 【キーワード】山脈型社会的分業構造、脱下請け、事業承継の諸類型、産業集積、クラスター政策、ネットワーク概念
日本の下請システムを中心に、モノづくり中小企業の今後を考えます。集積やネットワークの強みを生かして、国際化や事業承継の課題にいかに取り組むか？（教科書：5・8・6・7章） |
| 3日目 | 【キーワード】中小企業基本法、小規模企業振興基本法、地域産業政策、生計確立型と事業機会型
グローバル化と地域崩壊が進む今日、中小企業の再生・発展が求められています。現在の中小企業政策では、とくに創業・革新に焦点が当たっていますが・・・。（教科書：11・12・13・14章） |
- ◆**教科書** 丸沼『中小企業・ベンチャー企業論（新版）』植田浩史ほか著 有斐閣 2,592円（税込）（送料300円）
[当日資料配付] 適宜、資料を配布します
- ◆**参考書** 丸沼『地域振興と中小企業』吉田敬一・井内尚樹編著 ミネルヴァ書房 3,024円（税込）（送料350円）
- ◆**成績評価基準** 平常点（発表・課題など）40%、最終日試験 60%

◆教育思想のルーツを理解しよう

〔教育原論／教育の思想〕

担当者：北野 秋男

- ◆**学修到達目標** 現代の教育問題を考える上で、教育思想の歴史的展開を学ぶことは重要である。教育の様々な問題を思想的に学びながら「教育とは何か」を自覚的に問いたいと考える。特に、教育の目的論（人間の内面形成）と教授学思想（一斉教授と個別教授）の展開を中心としながら、国民教育論、新教育理論、脱学校論なども取り上げる予定である。
- ◆**授業方法** テキストの主要課題について理解を深めながら、教育思想を理解したい。討論も行う。その他には、「ビデオ」も鑑賞し、学力問題、フリー・スクールなどの現代的な問題にも理解を深めることとする。授業内で簡単なレポートの作成も行う。最後には、学習内容に関する最終試験を行う。
- ◆**準備学修** テキストを丁寧に読むこと。その際に、各章のポイントが何であるかを理解しておくこと。前半の教育目的論の歴史的展開に関しては、人間の内面形成に留意すること。後半の、教授理論の歴史的展開に関しては、一斉教授と個別教授に留意すること。
- ◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕
- | | |
|-----|---|
| 1日目 | ガイダンス、全体の授業構成、
教育目的論の原理と歴史的展開（ロック、ルソー、ペスタロッチ、ヘルバルト）
*ビデオ&討論「フリー・スクールについて」（予定） |
| 2日目 | 教育目的論の歴史的展開（デューイ、ニール）
教授理論の原理と歴史的展開（コメニウス、ペスタロッチ）
*資料&討論「教育の市場化・民営化について」（予定） |
| 3日目 | 教授理論の歴史的展開（ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ）
現代思想の展開（アリエス、イリイチ）最終試験 |
- ◆**教科書** 丸沼『教育思想のルーツを求めて』関川悦雄・北野秋男 啓明出版 1,882円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 平常点（20%）、授業内の課題（30%）、最終試験（50%）で総合的に判断します。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆英語科教育法を修得するにあたって

〔英語科教育法Ⅰ〕

担当者：佐藤 恵一

◆**学修到達目標** 英語科教育法を受講する学生の出発点として英語教育に関わる中等教育の教育課程の法的位置づけや英語教師に求められる法的条件などを確認する。また英語教育の在り方を規定する学習指導要領、更には中等教育の前提にある早期英語教育の是非についても考えたい。

◆**授業方法** テキストを輪読し、その中で問題となるそれぞれの課題についてグループで討論し意見をまとめ発表を行う。発表後にそれぞれが考えを再考し更に熟考し、レポートとして各自提出をする。

◆**準備学修** 上記のポイント（中等教育の法的位置づけ・英語教師に求められる条件（法的含め）・学習指導要領・早期英語教育等）を様々な文献から事前に確認しておくことが望ましい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	オリエンテーション 中等教育における英語教育 必修教科としての英語 外国語としての英語（特に世界における英語及び第2言語としての英語）
2日目	英語教師の資質を高めるために 英語科教員の英語力 英語科教員の知識とは
3日目	学習指導要領及び小学校英語教育とは 学習指導要領とその内容 （特に変遷を中心に） 初等教育の英語をどう考え教えるか

◆**教科書** **通材**『英語科教育法Ⅰ T20900』 通信教育教材（教材コード000257）1,050円（送料込）
通材『英語科教育法Ⅱ T21000』 通信教育教材（教材コード000490）3,300円（送料込）
 〈この本は市販のJACET教育問題研究会編『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』三修社と同じです。〉

◆**参考書** **丸沼**『グローバル時代の英語教育―新しい英語科教育法― 成美堂 2,700円（税込）（送料300円）
 学習指導要領（文部科学省）

◆**成績評価基準** 授業への意欲やグループへの積極的な参加・発表及び課題レポートなどにて評価します。

◆地図から地域を読む 〔地誌学／地誌学概論／地理学概論（地誌を含む）〕

オープン受講：不可 担当者：羽田 麻美

◆**学修到達目標** 本授業を通じ、中学・高等学校で地誌学分野を取り扱う際に必要な知識と考え方を得ることを目標とします。地誌分野を教える際に必要な基本的概念を学び、地図を用いて地域を読み解く力をつけることを目指します。

◆**授業方法** 授業はパワーポイントと配布資料を用いておこないます。また、3日間の授業の半分は、地図を用いた読図実習をおこない、授業内で課題を提出してもらいます。 ※3日間とも色鉛筆（5色程度）を必ず持参すること。

◆**準備学修** 毎回の授業の復習をおこなって、翌日の授業に臨むこと。授業内容に不明な点があった際は、授業時間内に必ず質問をして下さい。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	地誌学とは、地理学的な地域の見方、国内外の地誌研究の事例紹介 ※地誌学の概念をはじめに学びます。その上で、国内外の地誌研究の事例を紹介し、地域の見方を学びます。
2日目	地図とは、地図の読み方、地理学における地図の活用 ※地域の特徴を理解するための一つの材料として、地理学における地図の活用法を学びます。地図を読むための基礎的知識として、地図の種類、地図記号などを理解します。
3日目	地図から地域を読み解く ※国土地理院が発行している地形図を使って、地図から地域の自然環境や人々の暮らし、それらの歴史の変遷を読み解きます。

◆**教科書** **当日資料配付** 当日プリント配付

◆**参考書** 『建設技術者のための地形図読図入門1～4』 鈴木隆介 古今書院
 〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
丸沼『大学テキスト 地図読解入門』 籠瀬良明・水嶋一雄 古今書院 1,944円（税込）（送料300円）
丸沼『地図で読み解く 日本の地域変貌』 平岡昭利 海青社 3,291円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 授業内におこなう課題（40%）、平常点（10%）、試験（50%）。全ての授業に出席することを前提として、総合的に評価します。課題未提出者は、単位取得が不可能です。

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22171999 日大通子」
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆博物館のもつ情報とその発信方法を学ぶ【博物館情報・メディア論】

担当者：品川 欣也

◆**学修到達目標** 授業では「博物館のもつ情報やその活用方法を探る」をテーマとして、来館者と運営者の双方の視点から現況の博物館や美術館のもつさまざまな情報の内容とその活用方法を確認し、今後の博物館や美術館における情報の管理とその発信のあり方を探ります。

◆**授業方法** 実際に博物館・美術館で配布されている案内やホームページなどで公開・発信されている情報をもとにして、①博物館における情報・メディアの意義とその理論、②博物館における情報公開と発信、③博物館と知的財産の3項目について考えて、学習目標の理解を深めます。

また公開・発信されている情報を体験するために都内の博物館・美術館の見学（2日目午後）とその検討会（3日目午前）を予定しています。

◆**準備学修** 指定の教科書を熟読し、身近にある博物館や美術館を訪ね、博物館のもつ情報とその発信方法について意識を高めること。

国内外の国公・私立博物館や美術館などのうち2館のホームページを比較して、実際にどのような情報が公開されているのか1200字程度に整理しまとめてレポート（自由書式）を提出すること。ホームページを比較する1館には必ず東京国立博物館・国立西洋美術館・国立科学博物館・上野動物園のいずれかを含めること。

◆**授業計画**〔1日目：450分、2日目：450分、3日目：450分〕

1日目	終日、教科書に沿って①博物館における情報・メディアの意義（情報・メディアの意義、メディアとしての博物館、ICT社会のなかの博物館、情報教育の意義とその重要性）とその理論（博物館資料のドキュメンテーション、博物館資料のデータベース化、デジタルアーカイブの現状と課題、博物館メディアの役割と学習活用）について授業を進めます。
2日目	午前は教科書に沿って②博物館における情報公開と発信（情報発信の意義、情報管理と情報公開、情報機器・情報技術の進歩とインターネットの活用）について授業を進めます。午後は博物館・美術館の見学を通して公開・発信されている情報を実際に確認して質疑応答を行います。
3日目	午前は前日の見学を踏まえて検討会を行います。午後は教科書に沿って③博物館と知的財産（博物館と知的財産の保護、個人情報の保護、著作物や個人情報の利用手続き）について授業を進めます。

◆**教科書** 丸沼『博物館学Ⅲ—博物館情報・メディア論 博物館経営論』大堀哲・水嶋英治編著 学文社
2,884円（税込）（送料300円）

〔当日資料配付〕当日資料配布

◆**参考書** 丸沼『博物館情報・メディア論』西岡貞一・篠田謙一 一般財団法人放送大学教育振興会
3,348円（税込）（送料300円）

丸沼『博物館情報・メディア論』日本メディア学会編 株式会社ぎょうせい
2,571円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 事前課題レポート（20%）、小レポート（10%）、発表（20%）、平常点（50%）。毎回の出席を前提として評価します。

Ⅳ 講座の申込方法

1 受講手続の流れ

ここでは、受講手続の流れをまとめています。まず、この流れを把握し、受講手続を行ってください。
 なお、受講講座の選定にあたっては、『手引』のほかに『学修要覧』を参照してください。

項 目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。
・受講講座 ・科目の単位修得方式決定	・受講講座・科目の単位修得方式を決定する。 各修得方法の詳しい内容は『学修要覧』の「単位修得方式」のページを参照。



履修登録	・単位修得を希望する科目の履修登録をする。 以下の2通りのいずれかで登録してください。 ①ポータルサイト ②「履修届」用紙（本誌巻末付録）
------	--



スクーリング 併用試験方式 希望者のみ	レポート提出	・レポートを提出する。 スクーリング併用試験方式で受講する科目でレポート未提出のものは表紙記載の締切日までに教務課必着で提出する。 ※期限を超過した場合、いかなる理由があっても併用の申請を受け付けることはできません。
---------------------------	--------	--



受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座・科目を「ポータルサイト」から申込み手続を行う。又は、『手引』巻末の「受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ※表紙記載の締切日に注意してください。
--------------	--



スクーリング受講許可講座の確認	・ポータルサイト上の『スクーリング・メディア授業情報一覧』にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認してください。 ※「受講届」提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知」を送付しますので、そちらで確認してください。
振込用紙の受け取り	・受講許可者に、スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 ※発送予定日から、5日経過しても振込用紙が届かない場合は、会計課に連絡してください。
許可講座の辞退 【許可講座の取消を行う場合のみ】	・受講を許可された講座（全講座・一部の講座とも）を受講しない場合、表紙記載の締切日までに辞退手続をする。詳しくは「許可講座を辞退する」のページを参照。
受講料の納入	・表紙記載の締切日までに受講料を振り込む。 ※受講料未納者は受講できません。
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。



授業開始	・各スクーリング会場やポータルサイトで、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。
------	--



スクーリング結果確認	・教務課から送付される通知又は「ポータルサイト」で、受講した講座の結果を確認する（ポータルサイトから申込された場合は、通知は届きません）。 ・発送日程は表紙記載。
------------	--

2 履修登録をする

履修登録上の注意事項	
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。	


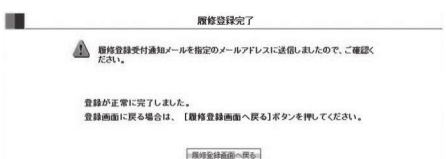
① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に


1	履修登録には、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、送付先アドレスを事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: http://www.dld.nihon-u.ac.jp ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	


4	履修登録する科目を確認し、 登録実行 ボタンをクリックしてください。	 <p>履修登録確認画面のスクリーンショット。学生番号、登録年度、登録年度の登録合計単位数が表示されている。追加科目の表には、授業コード、科目名、単位の情報が示されている。下部には「登録実行」ボタンが強調されている。</p>
5	履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	 <p>履修登録完了画面のスクリーンショット。登録が正常に完了した旨のメッセージと、登録画面に戻るためのボタンが表示されている。</p>

●履修登録確認

1	履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。	 <p>履修登録確認表画面のスクリーンショット。学生番号、登録年度、登録年度の登録合計単位数が表示されている。追加科目の表には、区分、履修年度、授業コード、科目名、担当者、単位数、備考の情報が示されている。</p>

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、 登録確認 ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。	 <p>履修登録画面のスクリーンショット。学生番号、登録年度、登録年度の登録合計単位数が表示されている。追加科目の表には、選択、授業コード、科目名、単位の情報が示されている。下部には「取消」ボタンが強調されている。</p>

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 履修登録年度 平成 29 年度

(2) 提出年月日 平成 29 年 4 月 1 日

履修届

フリガナ ニチダイ ハナコ

学生番号 12131000 氏名 日大 花子 電話番号 090-0000-0000 (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	B10700	哲学	4	14			
2	C10100	英語 I	2	15			
3	C10200	英語 II	2	16			
4	H10100	保健体育講義 I	1	17			
5	L30100	行政学	4	18			
6	K20100	憲法	4	19			
7	K20200	民法 I	4	20			
8	K20300	刑法 I	4	21			
9	J10150	体育実技 I	1	22			
10	B11700	政治学	4	23			
11	T10100	現代教職論	2	24			
12				25			
13							

記入例 0123456789

合計 28 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。教職生および 2 学年以上の教職コース登録者は年間 60 単位まで登録できます。

(3) (4) (5)

日本大学通信教育部

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

(1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、前期生は「平成 29 年度」、後期生は「平成 28 年度」と記入してください。

(2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

(3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し（ポータルサイトにも掲載）、科目コード（6 ケタ）記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

(4) 単位

各科目の所定単位を記入してください。

(5) 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入（例：3 学年から履修登録できる科目を 2 学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「博物館実習Ⅱ」、「博物館実習Ⅲ」、「教育実習」、「教育実習事前・事後指導」、「教育実践指導」及び「教職実践演習」は登録する必要がありません。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することはできません。
- ・スクーリング等で所定単位が 4 単位の科目で、2 単位分修得している科目は登録できません。履修登録済みと同様の扱いとなります。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・単位修得済み科目の記入
単位修得済み科目の登録はできません。
もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び 2 学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。したがって、科目修得試験やスクーリング等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、試験やスクーリングの申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書は送付されません。配本申請または教材購入を別途行う必要があります。
- ・履修済みの科目の変更、取消しは学修を行っていない（リポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は上限に達していない場合、Web 履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。

3 講座を申し込む

申し込み上の注意事項



「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

① 「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード=自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。 履修登録を行っていない科目は表示されません。123 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL： http://www.dld.nihon-u.ac.jp）の「在学生 ログイン」をクリックしてください。					
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング 申請・取消」をクリックしてください。					
【ポータルサイト申込期間】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>スクーリング名</th> <th>ポータルサイトによる申込期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期スクーリング</td> <td>2017年6月8日（木） 10：00～ 2017年6月21日（水） 24：00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※申込開始日にならないと、夏期スクーリングの講座は表示されません。</p>			スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間	夏期スクーリング	2017年6月8日（木） 10：00～ 2017年6月21日（水） 24：00
スクーリング名	ポータルサイトによる申込期間					
夏期スクーリング	2017年6月8日（木） 10：00～ 2017年6月21日（水） 24：00					

3	「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、 申請 ボタンをクリックしてください。	
4	併用を希望しない場合、 申請実行 をクリックしてください。併用を希望する場合、「受講希望方式」の「併用」のチェックボックスを選択し、 申請実行 をクリックしてください。	

●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の1の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。 ※申込期間終了後は、「スクーリング申請・取消」の「申請済みスクーリング一覧」に表示されなくなるので注意してください。	
3	申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。	
2	「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、 取消 ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。	

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

ア 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

イ 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

ウ 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

エ 併用方式希望欄

スクーリング併用試験方式による受講希望の有無を意思表示する欄です。スクーリング併用試験方式による受講を希望する場合についてのみ、次のとおり講座ごとに記入してください。

履修方法	記入方法
スクーリング併用試験方式を希望する	「○」印を記入
スクーリング併用試験方式を希望しない	無記入（空欄のまま）

※「○」印以外の記入があった場合、『併用』として取り扱うことができません。

※申込み締切後に、併用方式の受講希望を追加することはできません。

オ 学生番号・氏名・電話番号

電話番号は記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください（緊急時電話番号に優先的に連絡しますので、あらかじめご了承ください）。

(2) 注意事項（「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを、1つ選択してください。

夏期S

平成 年 月 日作成

平成 29 年度夏期スクーリング受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式希望欄
1期				
2期				
3期	ア	イ	ウ	エ
4期				
5期				
6期				

スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合はこの欄に○を明記してください。

■ 提出締切日 **平成 29 年 6 月 21 日 (水)**

■ 郵便又は窓口にて、提出してください。

■ これは、夏期スクーリングの受講届です。それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。

■ 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。

学 生 番 号	
コ リ ナ	
氏 名	オ
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科目コード	科目名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

イ

ア

エ

ウ

- ア 希望する講座として「英語 C」を選択。
- イ 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。
- ウ その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。
- エ 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。
- オ 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。
- ※ 「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
 - ・ 乱雑な記入
 - ・ 記入誤り、記入漏れ
 - ・ 記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

(3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日必着】

郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「受講資格審査結果通知」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。

4 受講講座の変更・追加（用紙で変更を行う場合）

① 受講講座変更届の作成

受講講座の変更・追加をする場合は、本紙巻末にある「スクーリング受講講座変更届」を提出してください。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング名称」、「開催期」、「講座コード」、「講座名」、「充当科目コード」及び「併用方式希望」を明記してください。また、自己の所属学部・学科（専攻）・学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様、提出締切日までに必着です。

《記入例》

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことに付いて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望
夏期 2 期				—
夏期 4 期				

(変更後の受講講座)

スクーリング 開催期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望
夏期 2 期				
夏期 3 期				○
夏期 5 期				

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	2	2	1	5	3	9	9	9
フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ							
氏 名	日 大 太 郎							
自宅電話番号	0 3 - 5 2 7 5 - 8 9 1 1							
緊急時電話番号	0 9 0 - ●●●● - ●●●●							

教務課受付印

2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座を受講できないことになります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座を受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続きを行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

④ **スクーリング併用試験方式の確認**

併用試験の許可・不許可について下表のとおり記載されていますので確認してください。

「併用手続」欄表示	許可・不許可	備 考
○	許 可	スクーリングを併用方式で受講できます
×	不許可	スクーリングの受講は可能です
—	併用申込なし	併用申込をしておりません

※受講許可後は、一切の変更ができません。

⑤ 『履修条件』を満たしていない場合、受講不許可の通知を送付します。その際、受講不可講座を別の講座に変更することはできません。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

○レポート数不足

スクーリング併用試験方式で申込みを行ったが、レポートの提出数が規定に達していない場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

○併用不可科目

スクーリング1回の合格で単位修得の科目を、スクーリング併用試験方式で申込みした場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】
- (2) 振込用紙
- (3) 362 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記）

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

7月14日（金）《事務取扱時間内必着》

③ 提出先 教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

VI 受講料の納入

申込講座の辞退がない場合、受講料等を期限までに納入してください。

1 受講料：1 講座 10,000 円×受講講座数

「情報概論」のみ 13,000 円（コンピュータ等実習料を含むため）

2 振込用紙発送予定日：7月7日（金）

3 納入期限：7月24日（月） 銀行窓口 当日取扱時間まで

4 納入方法

必ず大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から振り込んでください。

「博物館実習Ⅰ」・「教職実践演習②」は受講料納入方法が他の講座とは異なります。

注 意 事 項

① 納入に際しての注意事項

- （１） 銀行（ゆうちょ銀行を除く）窓口のみの取扱いとなります。会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- （２） 自動振込機（ATM）及びネットバンキングからの納入は受け付けません。
銀行係員が勧めても使用しないでください。
- （３） 振込用紙に記載された事項を訂正したものは受け付けません。

② その他の注意事項

- （１） 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。
また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- （２） 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。
- （３） 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

MEMO

[illegible]

1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材購入方法の見分け方は、後掲の「③教材購入方法の見分け方」を参照してください。

注 意 事 項

すでに所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

① 使用教材が『通信教育教材』の場合

通材印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請または「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）に問い合わせください。

② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（170ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

- （1）代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

- （2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記あてに郵送してください。

- （3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

2 「休暇依頼状（勸奨状）」と「出席証明書」の発行

① 休暇依頼状（勸奨状）

休暇依頼状は、スクーリングに出席するために勤務を休む必要がある場合に、大学から勤務先に対して発行するものです。日本大学通信教育部長名でスクーリングの開講期間等を明記した「休暇依頼状」と、公益財団法人 私立大学通信教育協会長名で通信教育の主旨等を記載した「勸奨状」の2通を発行します。なお、発行はスクーリングの受講許可後となります。

休暇依頼状（勸奨状）希望者は、送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82 円切手貼付）を添えて、本誌「各種用紙」の「休暇依頼状（勸奨状）申込書」により庶務課あてに申し込んでください。

② 出席証明書

勤務先にスクーリングに出席したことを証明する書類が必要な場合には、大学として「スクーリング出席証明書」を発行します。ポータルサイトの「各種手続」からのダウンロード又は本誌巻末の「証明書交付願」を使用し、教務課あてに申し込んでください。「出席証明書」の発行は、講義日程が終了した後となります。窓口で申し込む場合は、返信用封筒（長形3号・82 円切手貼付）を添えてください。郵送での申し込みは、約 10 日間の日数を要します（手数料は1 通につき 300 円）。

3 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

① 学生証裏面学籍シールへの記入

- （1）「学生番号」、「氏名」、「現住所」をボールペン等の消えないペンで記入してください。
- （2）「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また、定期券が2 枚に分かれる場合は2 行に分けて記入してください。

② 購入手続き

- （1）学生証及び振込用紙の（A）領収書（銀行の捺印のあるもの）を持参で事務取扱時間内に学生課窓口に来校し、所定の用紙に記入して「在籍確認」印の押印を受けてください。
- （2）通学定期券取扱い駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。

③ 学生課窓口で記入する所定用紙について

- （1）通学定期乗車券発行控（全員必要）
- （2）滞在先届（スクーリング期間中に現住所以外から通学する場合に限り必要）
- （3）通学証明書（都営地下鉄、都電、各路線バス等を利用する場合及び水道橋キャンパスに通学する場合に必要）

④ 対象区間

自宅（又は滞在先）の最寄り駅から以下「通信教育部最寄り駅」までの最短経路を対象とします。

鉄道会社	最寄り駅（市ヶ谷キャンパス）	最寄り駅（水道橋キャンパス）
JR東日本	市ヶ谷駅	水道橋駅
都営地下鉄	市ヶ谷駅（新宿線）	水道橋駅・神保町駅（三田線）
東京メトロ	市ヶ谷駅（有楽町線・南北線）	後楽園駅（丸の内・南北線） 神保町駅（半蔵門線）

※最短経路とは所要の時間が最短，交通費が最安，乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

⑤ 禁止事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると，鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また，大学自体も通学定期券発行の指定から外され，他の学生に多大な迷惑をかけることになります。

不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用例】

① 現住所及び通学区間を偽ること。	② 他人に譲渡・貸与すること。
③ 記名人以外が使用すること。	④ その他，不正に使用すること。

⑥ その他注意事項

- （１）通学区間が変更となった場合は，学生課に届け出てください。
- （２）年度内に「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は，学生課へ届け出てください。
- （３）「在籍確認」印は，年度内に限り有効です。

4 「学割証」の発行について（長距離区間乗車時の学生割引制度）

「学割証」は，科目修得試験やスクーリングをはじめとする大学所定の行事に出席するため，片道101kmを超えて鉄道・バス等を利用する場合に限り使用することができ，運賃が2割引となります。

① 申込方法

巻末の「学割証交付願」に必要事項を記入し，学生課まで郵送又は大学窓口のいずれかで申し込んでください。

郵送の場合は，82円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

② 発行条件（以下の全項目に該当すること）

- （１）正科生であること。
- （２）科目修得試験やスクーリング等の大学所定の行事に出席することが目的であること。
- （３）JR各社の鉄道又はバスを使用すること。
JR以外の会社における学割証の適応の可否は，当該会社に各自で問い合わせてください。
- （４）乗車距離が片道101km以上であること。

③ 割引額

普通乗車券運賃の2割（特急券・指定席は割引対象外）

④ 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の10日前から最終日の5日後までの間に限り選択できます。

学割証には、交付願に記載された乗車日が「有効期間」として記載されますが、この「有効期間」とは乗車券を購入できる期間のことです。その期間でなければ、乗車券は購入できません。

⑤ 発行枚数

原則として1枚です。（1枚で往復が購入できます）

ただし、毎日通う場合等は往復乗車券購入枚数分の学割証を発行します。

⑥ 往復乗車券有効期間

片道の距離（km）	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4日間	6日間	8日間	10日間	12日間

※有効期間外になる場合には片道乗車券を2枚購入することになり、学割証も2枚必要です。

⑦ 発行所要期間

科目修得試験やスクーリングごとに定められた発行開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けしてから2日後に発行します。（即日発行はできません）

郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に係る日数を考慮して申し込んでください。

※急ぎの場合は速達で郵送し、返信用封筒も362円分の切手を貼ってください。

ただし、優先的な発行はいたしません。また、「郵送料>割引額」とならないように注意してください。

⑧ 発行開始日：7月14日（金）

⑨ 使用方法

JR各駅の窓口で、学割証及び学生証を提示することにより、「学生割引乗車券」が購入できます。

⑩ 禁止事項

学割証を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、学割証の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。

また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされ、他の学生に多大な迷惑をかけることとなるため、不正使用は絶対に行わないでください。なお、学割証を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること。	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること。
② 記名人以外が使用すること。	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること。
③ 有効期間外に使用すること。	⑥ その他、不正に使用すること。

⑪ よくある質問

Q 1. 複数のスクーリングで学割証を利用する場合は、巻末の「学割証交付願」も複数必要ですか？

A 1. 複数必要です。返信用封筒も複数必要な場合があるので、学生課に問い合わせてください。

Q 2. スクーリングに毎日（8月2日～4日の3日間）通学しますが、乗車日はどう記入すれば良いですか？

A 2. 乗車日欄に行8月2日，帰8月4日と記入し，必要枚数欄に3枚，理由欄に「毎日通学します。」と記載してください。

1 講座の受講

- ① スクーリングは全日程への出席が成績評価の前提となります。遅刻、欠席のないように準備してください。
- ② スクーリング受講の際は「学生証」及び「振込用紙（銀行領収印の押印されているもの）」を携帯してください。

2 試験の受験

試験は最終日に実施されます。特に大学が指定する科目や担当講師から特別の指示のあった科目の試験は、教室・時間を別に定めて実施します。試験の実施に関する指示は掲示、又は授業中に告知します。なお、スクーリング試験を受験できなかったり、不合格になった場合でも、追・再試験は実施しません。その他注意事項を次に挙げます。参照してください。

「スクーリング試験」受験上の注意

- ❶ 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の試験監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- ❷ 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- ❸ 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切ること。また、時計・電卓としての使用も禁止する。
- ❹ 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。
- ❺ 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- ❻ 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- ❼ 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。
- ❽ 途中退室は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退室すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- ❾ 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- ❿ 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

3 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、スクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はホームページの新着情報に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3ヶ月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	9月中旬
--------	------

① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」又は「未受講」で発表します。

「未受講」の場合は、成績評価に一切算入しません。

※受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合、開講単位（1単位又は2単位）のスクーリング単位を修得したことになります。「講座内容（シラバス）」に記載されている単位数が、それぞれの科目（講座）のスクーリング単位数です。

スクーリング併用試験方式で受講が許可されている場合、スクーリングの合格及び提出されたりレポートが全て合格した時点で科目の所定単位の修得が認められますが、スクーリング単位はあくまで「講座内容（シラバス）」に記載された単位数での修得となります。そのため併用試験方式による受講であっても、単位数欄は、所定単位ではなく、スクーリング単位が表示（記載）されます。

クールビズについて

地球温暖化対策の取組として、日本大学通信教育部ではクールビズを推進しています。

これにより、教室内は冷房の設定温度が高めになりますので、各自、服装の調節や水分補給等に心がけ、体調管理に留意してください。

ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、教職員も軽装（ノー上着、ノーネクタイ、半袖ワイシャツ等）とさせていただきますのでご了承ください。

- 1 館内の冷房の温度を 28℃に設定します。
- 2 学生ホール、廊下及び事務室の照明を一部消灯します。

1 受講にあたっての諸注意

① 学生証の携帯

「学生証」は学生としての身分を証明するものであり、常に携帯する必要があります。また、スクーリングの受講、「通学定期券」購入等の際にも必要になります。

② 健康保険証の携帯

スクーリング受講中は、万一の病気や事故に備えて、「健康保険証」（又は「保険証」に代わる「資格証明書」）を必ず携帯してください。

③ 掲示板の閲覧

スクーリング期間中は、実施校舎の掲示板に重要な事項について掲示します。授業、卒業論文指導の日程、各種行事等についての変更、注意事項を伝達する場合は、スクーリング実施校舎に掲示します。来校の際は必ず確認してください。

④ 貴重品等の管理及び紛失に関する注意

衣類、カバン、学生証、教材及び貴重品等各自の所持品を身辺から手放さないように注意してください。大学の施設内であっても、校舎内には学外者の往来も多数あり、係員の監視が十分に行き届かない場合があります。盗難や紛失には十分注意してください。

なお、盗難や紛失があった場合には、速やかに学生課まで申し出てください。

⑤ 紛失及び落とし物の拾得

校舎内で所持品を紛失、あるいは他人の落とし物を拾得した場合には、速やかに学生課まで届け出てください。届けられたものは学生課で保管します。

⑥ 自動車・オートバイ等の車両による通学の禁止

スクーリング実施校舎周辺は、駐車・駐輪できる場所がありません。また、無断で駐車・駐輪すると違反になるばかりでなく、近隣の方の迷惑になるので、公共の交通機関を利用してください。なお、自転車による通学も禁止です。

⑦ インフルエンザ等感染症予防について

大学では、様々な地域・年齢層の学生が出入りしており、スクーリング等でのインフルエンザ等の集団感染が危惧されます。

学生の皆さんは、日常生活での手洗いの励行、うがい等の予防策を徹底し、互いに感染を予防する気構え、行動が必要です。万が一感染してしまった場合、感染症の種類によっては出校停止となる場合もありますので、速やかに学生課へ連絡し、状況に応じて病院での受診や自宅療養をとる等の対策を講じてください。

⑧ その他の注意事項

- (1) 授業中の教室の出入り及び授業中の廊下の往来は静粛にすること。
- (2) 所定以外の場所には立ち入らないこと。
- (3) 所定場所以外での喫煙（教室内喫煙、歩行喫煙及び吸い殻の投げ捨て等）は禁止。
- (4) 授業中及び試験中は携帯電話等の電源を必ず切ること。
なお、試験中は時計としても使用不可。
- (5) 体調が悪い場合は、保健室（開室時間や場所は掲示板で確認）へ申し出ること。

2 スクーリング期間中の滞在先届

スクーリングを受講するためにホテル等の宿泊施設や知人宅等に滞在する場合は、本紙「各種用紙」の「滞在先届」又は学生課窓口に設置してある「滞在先届」に記入し、受講初日までに学生課に提出してください。

※不測の事故発生時の対応に必要なため、必ず提出してください。

※郵送では受付しません。

※通学定期券購入の際にも必要です。

3 「千代田区生活環境条例」について

千代田区では、歩きタバコや吸いガラ・空き缶などのポイ捨てを禁止する「生活環境条例」が施行されています。

JR 市ヶ谷、JR 水道橋及びスクーリング実施校舎周辺は、「路上禁煙地区」及び「環境美化地区」に指定されています。スクーリング受講生は、条例を遵守してください。

4 緊急時の避難行動の指示について

学事日程に従いスクーリングを開講しておりますが、授業中に起きる不測の事態に備え、身の安全が確保できるよう、以下のとおりの対応について行動方針を示しますので、熟読の上、ご理解ご協力をお願いいたします。

① 学生の服装について

突発的な災害に備え、学生は普段から身を守る服装を心がける。

※例えば、帽子、長袖、安全な靴、タオルやマスク、学生証（身分証明書）の携帯など。また日頃から自分で準備しておくの良い物（懐中電灯、自宅までの帰宅経路の地図、携帯ラジオ等）を携帯していることが望ましい。

② 避難について

(1) 地震発生時

- ア 地震が発生し、教室内で強い揺れを感じた場合は、机の下に隠れ、身を守る姿勢を取る。
- イ 教室外の場合は、その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。釣り下がっている照明・機械等の下からは退避する。

(2) 避難時

- ア 強い揺れが収まった場合、担当教員の指示に従い非常口などからあわてず整然とすみやかに避難場所に避難する。
- イ 救援を必要とする者がいる場合、状況により救護活動を行う。
- ウ 緊急一斉放送が入った場合にはその指示に従う。
※緊急放送例：「揺れが収まりました。身の回りの安全を確認し落ち着いて行動してください。」
—あわてて出口、階段に殺到しないように心掛けること。—

(3) 避難場所

避難場所では、担当教員又は職員が学生の安否確認を行うので、確認しやすい安全な場所で待機をしていること。

(4) あわてて帰宅をしない

強い地震の後には大きな余震が予測されるため、周囲の状況（何が起きたのか）、被害情報、余震情報、交通機関の運行情報等によって判断し、帰宅が困難な場合には避難場所で待機する。状況によっては一晩待つこともあり得る。

また、必要に応じて千代田区指定の帰宅困難者支援場所に移動する。

通信教育部の在学学生で既に修得した科目の受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項 目	手 続 内 容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
↓	
受講希望の講座を申し込む 【申込期限：6月21日（水）】	・受講を希望する講座を『本誌』巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ・表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届 ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
↓	
受講資格審査	各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行います。
↓	
許可通知書兼納金票の受け取り 【発送予定日：7月7日（金）】	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 ・発送予定日から、5日経過しても「受講許可通知書兼納金票」が届かない場合は、教務課に連絡してください。
↓	
受講料の納入 【納入期限：7月24日（月）】	・納入方法は下記のとおりです。 ①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替または普通為替で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
↓	
使用教材の入手	・シラバスを参照し、許可された講座の教材を入手する。
↓	
授業開始	・各スクーリング会場で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

- ・履修届
- ・夏期スクーリング受講届
- ・「博物館実習Ⅰ」受講届
- ・オープン受講届 通信教育部（在学生用）
- ・オープン受講届 社会人等（卒業生用）
- ・スクーリング受講講座変更届
- ・夏期スクーリング受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控
- ・学割証交付願
- ・証明書交付願
- ・滞在先届
- ・休暇依頼状（勸奨状）申込書

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

注意事項①

「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

見本 表

定額小為替証書

01234-567890

指定受取人
おなまえ

300円

※この証書をお受取人へ送られる際は、必ず指定先のお受取人のおなまえをご記入ください。
上記の金額をこの証書の発行の日から6か月以内にゆうちょ銀行の本支店等でお受け取りください。

払渡日付印

上記の金額を受け取りました。

おところ

おなまえ

発行日付印

裏面の注意書をごらんください。

定額小為替払渡票

01234-567890

300円

この証書は機械で処理しますので、折り曲げたり、汚したりしないでください。

注意事項②

これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

注意事項③

為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

見本 裏

ご 注 意

- この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人にお受取人におなまえをお支払いすることとし、これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社）が責任を負いません。
- この証書は、他の銀行等の他当行の定める金融機関内でのみ取り出すことができます。
- 当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行等の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同一座の預金へご入金等をすることができます。なお、証書の発行の日から一定期間経過後は、このお取扱いができません場合がありますのでご注意ください。
- 為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄におとところ・おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。なお、おなまえを記入し、押印を押しください。
- 代理の方が為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄に「〇〇〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとところ・おなまえを記入し、押印を押しください。
- ゆうちょ銀行または郵便局では、お受取人にお支払いする際、お受取人ご本人であることを確認させていただきます。運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすることや、お受取人と代理の方の両方の書類のご提示をお願いすることがあります。
- 発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申出により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間のまににしておきます。証書の再交付を請求する権利及び為替金を受け取る権利がなくなります。

（代理人）おなまえ

上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。

（委任者）おとところ 干

おなまえ

注意事項④

この欄には何も記入しないでください。

注意事項⑤

右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

定額小為替金受領証書

見本 表 01234-567890

300円

料金 100円

発行日付印

発行日付印

（お客さま控）

（お客さま控）



履修登録年度	平成	年度
--------	----	----

履 修 届

提出年月日	平成 年 月 日
-------	-------------------------

学生番号						フリガナ 氏名		電話番号	— — (必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
------	--	--	--	--	--	------------	--	------	------------------------------

	科目コード					科目名	単位
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							

記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

合計 単位 ← 年間 48 単位まで登録できます。
教職生および2学年以上の教職コース登録者は
年間 60 単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

内をすべて記入してください。

夏期S

平成 年 月 日作成

平成 29 年度夏期スクーリング受講届

開講期	講座コード	講座名	充当科目コード	併用方式 希望欄
1 期				
2 期				
3 期				
4 期				
5 期				
6 期				



スクーリング併用試験方式での単位修得を希望する場合は
この欄に○を明記してください。

- 提出締切日 〔平成 29 年 6 月 21 日（水）〕 窓口提出：事務取扱時間内
郵送提出：必着
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、夏期スクーリングの受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。
必ず、履修登録を行ってください。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

平成 29 年度「博物館実習Ⅰ」受講届

下記のとおり、「博物館実習Ⅰ（学内実習）」【8月2日（水）～4日（金）】の受講を申し込みます。

学部・学科・学年	学部		学科 専攻（ ）	年
学 生 番 号				
氏 名				
連絡先電話番号				
メールアドレス				
博物館実習Ⅲ（館務実習）実習館の受入状況	実習館の受入状況	決定 申込中 未定 <small>※決定者は実習館・実習期間も記入のこと</small> <small>※未決定者は現在の状況や、今後の予定（構想）等を備考欄に記入のこと</small>		
	実習館名			
	実習期間	月 日 ～ 月 日		
必要単位修得後 （いずれかに☑）	<input type="checkbox"/> 卒業希望（ 年 月） <input type="checkbox"/> 退学予定			
備 考				

受講届提出締切 平成 29 年 6 月 21 日（水）必着

【注意】

- ・「博物館実習Ⅰ」の受講手続は、ポータルサイトからは申込できません。
本紙で申し込みをしてください。
- ・別途、履修登録が必要です。

履修登録	ポータルサイト	履修届（用紙）
締 切 日	6 月 21 日（水）24 時（厳守）	郵送：6 月 21 日（水）必着 窓口：6 月 21 日（水）事務取扱時間内必着

- ・その他、受講条件及び諸注意事項は、「夏期スクーリングの手引」3 ページを参照してください。

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部 学科 専攻（ ）		
学 年	年	学生番号	
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別			開催地	
講座名	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
受講希望理由				

学生証コピー貼付欄

【提出書類】

- ☐ スクーリングオープン受講届
- ☐ 学生証コピー

事務局使用欄

スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻（ ）	学 外
住所等	〒 - Tel: -		
フリガナ			
氏 名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別	開催地	
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

- ☐ スクーリングオープン受講届
- ☐ 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成 29 年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目	併用方式 希望

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	
フリガナ	
氏 名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

併せて提出するもの	
全講座辞退	⇒振込用紙
一部講座辞退	⇒振込用紙
返信用封筒（長形3号，362円切手貼付）	

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中

平成29年度夏期スクーリング受講申込辞退願

- 学 生 番 号 _____
- 氏 名（フリガナ） _____
- 連絡先電話番号 _____
- 辞 退 内 容 ☐全講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
☐一部講座辞退
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，辞退講座のみを
 以下へ記入

期	講座コード	講座名
1期		
2期		
3期		
4期		
5期		
6期		

- 辞退理由（詳述）

※ 提出期限【教務課必着】7 / 14（金） ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「平成29年度夏期スクーリング」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので，各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合，362円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無償）

平成 年 月 日

日本大学通信教育部 御中
(提出先：研究事務課)

教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号（携帯電話可）	- -

No	教材コード	教 材 名	配 本 単位数
1			単位
2			単位
3			単位
4			単位
5			単位
6			単位
7			単位
8			単位
9			単位
10			単位
合 計			単位

ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。

※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。

※消えないボールペンを使用し、記入してください。

※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。

※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリング手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。

※2冊組教材はセットコードを記入してください。

※スクーリング等で指定する丸印表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。
所定の「教材配本申請書」で申請してください。
一度提出した書類の追加・変更はできません。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「配本申請」からも申請できます。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。
教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（購入）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「教材購入」からも用紙を作成・出力できます。

2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。

教材購入用紙 (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。
 詳細は、「使用教材の購入」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

平成 29 年度 夏期スクーリング			
申 込 日	平成 29 年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換 ②定額小為替・普通為替 ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒 ー
	氏 名	
	電 話 番 号	()

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
 ※不足する場合は複写の上、使用してください

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法で通信販売も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 260 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代＋送料（実費）＋手数料（250 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒 101-0061

東京都千代田区三崎町 2-8-12

（電 話）03-3261-4540

（F A X）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日は10：00～19：00）

日本大学通信教育部 御中
(提出先：会計課)

教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号						氏 名	フリガナ
連絡先電話番号						- -	

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
		科目	円	

※ボールペンで記入してください。

※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』で確認し、必ず記入してください。

「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。

※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。

※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」または「教材購入」で入手します。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1 購入手続

① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課あてに送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償ありませんので、必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替」又は「普通為替」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講許可通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



通学定期乗車券発行控

平成 年 月 日

学 科		学 年	学 生 番 号
大 学 院			

フリガナ		性 別	年 齢
氏 名		男・女	才

現 住 所	
電 話	()

通学区間	会社線名： 駅～ 駅 経由
	会社線名： 駅～ 駅 経由

※記入後，学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

平成29年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は，平成29年度 以下のスクーリングを受講する予定です。

つきましては，当該スクーリングを受講しなくなった場合には，学生課に申し出た上，通学定期券の使用を中止いたします。

なお，万一，不正使用した場合は，学則に基づく処分を受けることを誓約いたします。

また，本件について，大学から呼び出しされた場合は，その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

				平成 年 月 日 申請			
学部		学科（専攻）		学生番号			
氏 名				年齢		歳	
現住所 〒 -							
TEL ()							
申請事由（該当箇所には○を記入してください）							
東京スクーリング（ 月期）				卒業論文指導（ 月 日）			
夏期スクーリング（第 期）				総合面接試問			
地方スクーリング（ 月期）				開講地 ()		科目修得試験（第 回）	
昼間・夜間スクーリング（ 曜日 時限）				その他（ ）			
乗車区間		自	線 駅		至	線 駅	
乗車日		行	平成 年 月 日		帰	平成 年 月 日	
必要枚数		枚（1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること）					
		※ 理由					
利用交通機関		鉄道・バス・その他（ ）			受取方法		窓口・郵送

【注意事項】

- ・鉄道会社等の規定により、科目履修生は学割対象外です。
- ・大学主催行事以外（旅行等個人的事由）には使用できません。
- ・乗車区間が101kmを超える場合に限り発行します。
- ・郵送で受取希望の場合は、返信用封筒（あて名明記、82円切手貼付）を同封してください。
- ・1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ・この交付願では通学定期券の購入はできません。
- ・乗車日欄に記載の日程が、「有効期間」として学割証に記載され、乗車券を購入できる期間となりますので、購入日等を踏まえて記入してください。

送付先：〒102-8005
東京都千代田区九段南4-8-28
日本大学通信教育部 教務課 学籍係

- 併せて提出するもの
- 発行手数料(為替又は現金書留)
 - 学生証のコピー
 - 返信用封筒(切手貼付・住所・氏名明記)

証明書交付願

平成 年 月 日 申請

所属	学部	専攻部門	学 生 番 号				フリガナ				
正科生							氏名				
科 目 履 修 生	科目履修生番号						大正 昭和 平成	年	月	日生	
昭和 平成	年	月	学年	入 学 編入学 再入学	昭和 平成	年	月	卒業・修了 退学・在学中	本籍地	都道府県	
現住所		〒 電話番号 ()									
成 績 証 明 書 (単位数・成績を表示)			300円	通	※ 2 学年修了証明書			300円	通		
単 位 照 合 票 (在学生のみ発行)			300円	通	※資格試験用修了証明書						
※ 卒 業 証 明 書			300円	通	資格 試験名	300円			通		
※ 卒 業 見 込 証 明 書 (平成 年 月)			300円	通	※スクーリング出席証明書						
※ 在 学 証 明 書			300円	通	年度	種別	開講地	300円	通		
※ 退 学 証 明 書			300円	通	人 物 考 査 書			300円	通		
注)教員免許状申請用学力に関する証明書				別表第 1	※ 大学院受験用調査書			300円	通		
証明方法 新法・旧法				別表第 4	◎用途(具体的に)必ず記入する						
教科		種類		300円							通
教科		種類		300円							通
注)教員免許状取得見込証明書				別表第 1							
証明方法 新法・旧法				別表第 4	厳封 要・不要(希望に○をしてください)						
教科		種類		300円	通	合 計 通 円					
受領方法				登校 (月 日) ・ 郵送 { 返信用封筒を添付 (切手貼付)すること }							

(◎裏面の注意事項を参照)

※裏面「注意事項」を確認してください。

注 意 事 項

- ① 郵送での申し込みによる証明書発行までの日数は、返送するまでに約1週間を要します。又、手数料は、現金書留又は為替にて納入してください。
- ② 郵送での請求の場合、学生証のコピーを同封してください（学生証のコピーが同封されていない場合は、本人確認をしてから受理することとなりますので、証明書発行に時間がかかる場合があります）。
また、窓口での手続の場合は、申請時及び受取時に学生証を提示してください。
- ③ 窓口で申し込む場合は、申込時に発行日を確認してください（原則は申込から3日後の発行）。
- ④ 「英文証明書」・「学生証再発行」の場合には、この交付願ではなく、所定の「交付願」が必要となりますので、教務課あてに郵送にて用紙の請求をしてください。
- ⑤ 「単位照合票」は在学生にのみ発行します。
- ⑥ ※印の証明書は科目履修生には発行しておりません。
- ⑦ 「卒業見込証明書」を申請する場合、修得単位数等の申請条件がありますので、『学修要覧』で確認してください。また、卒業見込年月を忘れずに記入するようにしてください。卒業見込年月は、卒業手続をし、卒業を希望する年月となります。

注：文理学部の文学専攻(英文学)及び史学専攻の申請者は、この他にも卒業論文指導に対する条件があります。文学専攻(英文学)及び史学専攻の学生で、この証明書を申請する場合には、下表の記入が必要となります。

卒業論文指導の初回の専門指導を受けた記録		
専門指導教員名	指導方法（○を付ける）	指導年月日
	郵送 面接	平成 年 月 日

ただし、次の申請期間は、上記取扱いによらずとも交付が可能です。

〔3月卒業の場合〕 4月1日から 6月9日までの申請期間

〔9月卒業の場合〕 10月1日から 12月9日までの申請期間

- ⑧ 「人物考査書」は、教員採用試験受験の際、教育委員会から請求があった場合のみ発行します。申請の際、教務課担当者を確認してください。
- ⑨ 大学院受験用「調査書」を申請する場合、各大学の所定の用紙を添付してください。
- ⑩ 「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合は、以下の点に注意して申請してください。
 - ・未修得科目についての履修計画を記載した用紙（様式任意）を添付してください（第○回科目修得試験○限受験予定・結果待ち、○○スクーリング受講予定・受講中、レポート○冊分提出予定・結果待ち等を記載）。
 - ・出身大学等での修得単位を基にする場合には、出身大学発行の当該教科に関する「学力に関する証明書」のコピーを添付してください。（中学校・高等学校で当該証明書を申請する場合には、各学校種の学力に関する証明書が必要となります）。
 - ・別表第4による他教科申請の場合には、既に所持している各学校種の免許状のコピーを添付してください。
 - ・取得見込年月日は、前期生の場合は3月31日、後期生の場合は9月30日となりますが、後期生で3月31日付けでの取得見込年月日記載を希望する学生は、その旨を明記してください。ただし、その場合は、年度授業料納付後の10月1日以降に発行可能となります。
 - ・履修計画が不十分の場合には、確認の連絡をすることがありますので、提出した履修計画は必ずコピーを取るなどして、自身でも計画に間違いがないか、無理がないか等を確認してください。
- ⑪ 「教員免許状申請用学力に関する証明書」を申請する場合、教科（国語・社会など）、種類（中1・高1など）を明記してください（1教科であっても2種類の場合は2通扱いとなります）。
- ⑫ 証明書を厳封する必要がある場合には、厳封「要」に○印を付してください。
- ⑬ 郵送で証明書を受領する場合は、「返信用切手」を貼付した「返信用封筒」（自己の郵便番号、住所、氏名を明記）を添付してください。返送料（普通郵便）は下表を目安にしてください。

なお、封筒（切手貼付）の添付がない場合は、教務課で保管することになりますので、注意してください。

◇ 普通郵便

・厳封する場合

	2通まで	3～5通	6～10通	11～20通
厳封あり	82円〔定形〕	92円〔定形〕	140円〔定形外〕	205円〔定形外〕

・厳封しない場合

	4通まで	5～10通	11～20通
厳封なし	82円〔定形〕	92円〔定形〕	140円〔定形外〕

注：「教員免許状申請用学力に関する証明書」又は「教員免許状取得見込証明書」を申請する場合、証明方法欄の新法又は旧法のいずれかに必ず○印を付し、別表第1（初めての申請）又は別表第4（他教科申請）の区別も必ず○印を付してください。証明内容を誤って記入した場合、証明書の交付が受けられなかったり、異なる内容の証明により免許状が交付されない場合がありますので、留意してください。

スクーリング期間中に、大学登録
住所以外から通学する学生のみ。

学 部	学科(専攻)	学 生 番 号							氏 名
									フリガナ
スクーリング期間中滞在先住所(宿泊施設名、知人宅名等もご記入ください。)									
〒 -									
電 話 ()									
最 寄 駅 [駅]									
受講期間 第1期・第2期・第3期・第4期・第5期・第6期 (○で囲む)									
通学区間									
⇔ 水道橋・神保町・後樂園 (いずれかに○)									
現 住 所(大学登録住所)									
〒 -									
電 話 ()									

- ① 本屆は、スクーリング開講期間中に、大学登録住所以外から通学する場合に限り、提出が必要です。
- ② 記入後、コピーしたものを添えて、学生課窓口に提出してください。
- ③ 本屆によって得られた情報は、受講者が事故に遭遇した際など、緊急時に大学が各種対応をするために利用します。

日本大学通信教育部 学生課

受講するスクーリングの授業初日まで（窓口事務取扱時間内必着）

休暇依頼状（勸奨状）申込書

スクーリング受講のため、休暇依頼状（勸奨状）の発行をお願いいたします。

平成 年 月 日 申請

申 込 者	学 部		学科（専攻）	
	学 生 番 号		学 年	
	氏 名			
	日中連絡先 電 話 番 号			
	勤 務 先 正 式 名 称			
	所 属 部 署			
受 講 す る スクーリング	種 別		開 催 地	
	受 講 期 間			
提 出 先	勤 務 先 正 式 名 称			
	役 職 名			
	役 職 者 氏 名			

【注意事項】

- *スクーリング受講許可後に発行します。
- *勤務先に対してのみ発行します。
- *休暇依頼状に記載する受講期間は、スクーリング開講期間となります。
- *送付先を明記した返信用封筒（長形3号・82円切手貼付）を必ず同封してください。
- *複数のスクーリングで発行を希望する場合には、この用紙をコピーして使用してください。

庶務課受付印

② 校舎案内

市ヶ谷キャンパス

【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

水道橋キャンパス

【所在地】〒101-8375 東京都千代田区三崎町 2-3-1



JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線 水道橋駅東口から 徒歩3分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ャ ッ ク 項 目	参 照
◆受講届の記入	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	Ⅳ-1 受講手続の流れ 表紙 (㊤履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	Ⅳ-3 講座を申し込む ◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	Ⅱ-3 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講期、開講地、開講曜日は間違っていないですか	◆各スクーリングの 開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
◆併用 ※希望者のみ	
<input type="checkbox"/> スクーリング併用試験方式希望の場合は、受講届の「併用方式希望」欄に『○』を記入していますか	Ⅳ-3 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 併用希望科目のレポートは、必要通数分を期限内に提出していますか	Ⅳ-1 受講手続の流れ 表紙 (㊤レポート提出締切日)
◆受講届の提出	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は必着)	表紙 (㊠受講届提出締切日) Ⅳ-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか (ポータルサイトからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	Ⅳ-2 講座を申し込む
◆受講料の納入	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	V-1 受講資格審査結果通知を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	Ⅵ 受講料の納入



各種連絡先

○スクーリングの手續等に関する事項 教 務 課 03-5275-8911	○各種学修相談に関する事項 学修支援センター 03-5275-8857
○受講料の振込に関する事項 会 計 課 03-5275-8925	○通学定期・学割・滞在先届に関する事項 学 生 課 03-5275-8921
○教材（教科書）に関する事項 研究事務課 03-5275-8890	○休暇依頼状（勸奨状）に関する事項 庶 務 課 03-5275-8901

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 関 正晴 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部